東芝デジタル複合機 / デジタル複写機

設定管理ガイド

●このたびは東芝デジタル複合機 / デジタル複写機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機 / デジタル複写機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機操作パネルの［設定/登録］ボタンや［カウンタ］ボタンから行う操作や設定について説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

e-STUDIO456 Seriesでは、スキャン機能およびプリント機能はオプションです。お使いの機体によっては、すでにオプションが装着されている場合があります。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

⚠警告　「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷[*1]を負う可能性があること」を示しています。

⚠注意　「誤った取り扱いをすると人が傷害[*2]を負う可能性、または物的損害[*3]のみが発生する可能性があること」を示しています。

注 意　操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補 足　操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

📖　関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

＊1　重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
＊3　物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

□ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO5540C/6540C/6550C	e-STUDIO6550C Series
e-STUDIO2540C/3540C/4540C	e-STUDIO4540C Series
e-STUDIO256/356/456/506	e-STUDIO456 Series
e-STUDIO656/856	e-STUDIO856 Series
e-STUDIO2050C	e-STUDIO2550C Series
e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055C	e-STUDIO5055C Series
Loops LP30	Loops LP30
Loops LP301	Loops LP301
e-STUDIO5560C/6560C/6570C	e-STUDIO6570C Series
e-STUDIO257/357/457/507	e-STUDIO507 Series
e-STUDIO657/857	e-STUDIO857 Series

□ オプション機器について

使用可能なオプション機器は、お使いの機種の**かんたん操作ガイド**—「本機のオプション」をご覧ください。

□ 本文中の操作パネルとタッチパネル画面について

- 本書に掲載している操作パネルとタッチパネル画面は、e-STUDIO2550C Seriesを例にしています。
  その他の機種の操作パネルとタッチパネル画面は、操作パネルの形状とボタンの配置、タッチパネル画面のサイズが機種によって異なりますが、各部の名称や機能は共通です。
- タッチパネル画面はオプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

□ 本書の表記について

本書では、東芝デジタル複合機 / デジタル複写機を総称して「複合機」と表記します。

□ 商標について

- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows 7の正式名称は、Microsoft Windows 7 Operating Systemです。
- Windows 8の正式名称は、Microsoft Windows 8 Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Windows Server 2012の正式名称は、Microsoft Windows Server 2012 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、iPhone、iPod touch、およびTrueTypeは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴ、iPadはApple Inc.の商標です。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の商標です。
- その他、本書および本ソフトウェアに掲載または表示されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

目次

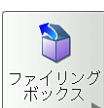
第1章　設定項目（ユーザ設定）

第2章　設定項目（管理者設定）

第3章　カウンタの管理

第4章　付録

1

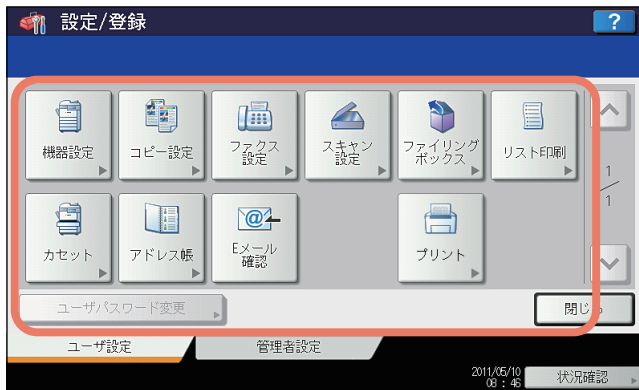
設定項目（ユーザ設定）

ユーザ設定メニューに入る

以下の手順で、ユーザ設定メニューを表示します。

1 操作パネルの［設定/登録］ボタンを押して、設定/登録メニューに入ります。

2 ［ユーザ設定］タブを押します。

ユーザ設定メニューが表示されます。

3 必要なユーザ設定操作を続けて行います。

ユーザ設定画面には、以下のボタンがあります。詳細は各参照先をご覧ください。

P.9「機器設定」
P.12「コピー設定」
P.14「ファクス設定」
P.15「スキャン設定」
P.17「ファイリングボックス」
P.18「リスト印刷」
P.19「カセット」
P.21「アドレス帳」
P.45「Eメール確認」
P.46「プリント」
P.47「ユーザパスワード変更」

注 意

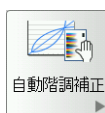
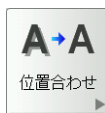
- 表示されるボタンは、機種によって異なります。
- ［ユーザパスワード変更］は、内部認証を行っている場合のみ使用できます。
- ユーザ管理を行っている場合、管理者権限を持たないユーザで本機にログインすると、［管理者設定］タブは使用できません。
- ［ファイリングボックス］は、ハードディスクが装着されているカラー機のみ表示されます。

機器設定

機器の初期設定を変更します。

補 足

機器設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

このメニューでは、以下の操作を行います。

P.9 「言語切替」
P.10 「白黒画面反転」
P.10 「明るさ調整」
P.10 「簡易階調補正」
P.10 「自動階調補正」
P.11 「位置合わせ」

注 意

表示されるボタンは、機種によって異なります。

■ 言語切替

タッチパネルの表示言語を変更します。表示したい言語を選択して［OK］を押すと、タッチパネルの表示が、選択した言語に切り替わります。

補 足

表示言語を追加する場合は、以下のページを参照してください。
P.68 「言語設定」

■ 白黒画面反転

通常の表示ではタッチパネルが明る過ぎると感じられる場合や、より鮮明に表示したい場合に、タッチパネルの表示を反転できます。
反転表示にする場合は［反転］を、通常表示にする場合は［通常］を押します。

白黒反転した画面

■ 明るさ調整

タッチパネルのコントラストを調整します。

[−] または [+] を押して、希望の明るさに調節します。

補 足

［リセット］を押すと、明るさ調整の値を工場出荷維持の状態に戻します。

■ 簡易階調補正

本機の画像の階調を自動補正します。濃淡や色合いが思うように再現されない場合に使います。
画面の指示に従って操作してください。

補 足

- このメニューは一部の機種のみ表示されます。
- より精細に画像の濃淡や色合いを調整したい場合は、「自動階調補正」をお使いください。

■ 自動階調補正

本機の画像の階調を自動補正します。濃淡や色合いが思うように再現されない場合に使います。「簡易階調補正」よりも精細な調整が可能です。
自動階調補正の手順は、管理者設定メニューから行った場合と同じです。
以下のページを参照してください。
📖 P.63 「自動階調補正」

注 意

ユーザ設定メニューの「自動階調補正」は、管理者設定メニューの「表示レベル」で、「自動階調補正」の設定を［ユーザ］に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。
📖 P.62 「表示レベル」

■ 位置合わせ

色ズレが発生したときに、位置を補正します。
このボタンは、一部の機種のみ表示されます。

位置合わせの手順は、管理者設定メニューから行った場合と同じです。
以下のページを参照してください。
P.65 「位置合わせ」

注 意

ユーザ設定メニューの「位置合わせ」は、管理者設定メニューの「表示レベル」で、「位置合わせ」の設定を［ユーザ］に設定したときに表示されます。
表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。
P.62 「表示レベル」

コピー設定

コピー操作時の初期設定を変更します。

補 足

- 設定画面のページ数や設定項目は、機種によって異なります。
- コピー設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
  📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」
- コピー機能の詳細は、**コピーガイド**を参照してください。

設定画面は複数のページで構成されています。[∧] または [∨] を押すとページが切り替わります。

項目名	機能説明
濃度	モノクロ機の設定項目です。コピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。 • **自動**：原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。 • **手動**：濃度を手動で設定します。
濃度調整（カラー）	カラー機の設定項目です。カラーコピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。 • **自動**：原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。 • **手動**：濃度を手動で設定します。
濃度調整（ブラック）	カラー機の設定項目です。白黒コピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。 • **自動**：原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。 • **手動**：濃度を手動で設定します。
カラーモード	カラー機の設定項目です。コピー時に初期設定として適用するカラーモードのボタンを押します。ブラック無制限（📖 P.154）が有効になっている場合は、［ブラック］のみ選択することができます。
両面時の画像の向き	「両面時の画像の向き」の機能を使用するかを選択します。 • **有効**：この機能を使用します。 • **無効**：この機能を使用しません。
手差し用紙	手差し給紙の初期設定として適用する用紙タイプのボタンを押します。また、用紙の裏面にコピーする場合は、用紙タイプのボタンを押してから、「うら印刷」で［印刷］を押します。 表示される用紙タイプは、機種によって異なります。用紙タイプの詳細については、**コピーガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。
原稿モード	モノクロ機の設定項目です。コピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。
カラー原稿モード	カラー機の設定項目です。カラーコピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。
ブラック原稿モード	カラー機の設定項目です。ブラックコピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。
インサータ挿入裏表紙の反転	［ON］にすると、裏表紙挿入でインサータから挿入した用紙を、裏返して排紙します。表裏が異なる用紙を表紙、裏表紙として挿入したい場合などに、裏表紙を反転させて排紙することができます。
タブ幅設定	カセットまたは手差しトレイにセットしたタブ紙のタブ幅およびコピーイメージをタブ上に移動させるためのシフト幅を設定します。
オートカラー時の 原稿モード	カラー機の設定項目です。オートカラーコピー時に初期設定として適用する原稿モードボタンを押します。
白紙ページ 除去判定レベル	コピー操作時にスキャンした原稿が白紙ページと判定された場合に、白紙ページを自動的に削除するための判断基準を設定します。 [+] を押しスライドバーを右に設定すると、スキャンした原稿は白紙と判定されやすくなります。 機能の詳細は、**コピーガイド 第4章「応用機能」**を参照してください。
オートカラー判定レベル	カラー機の設定項目です。オートカラーコピー時に、スキャンした原稿がカラー原稿か白黒原稿かを判定するための判断基準を設定します。 [カラー] を押しスライドバーを右に設定すると、カラー原稿と判定されやすくなります。 [白黒] を押しスライドバーを左に設定すると、白黒原稿と判定されやすくなります。
2IN1/4IN1	2IN1/4IN1コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。 • **縦書き**：2IN1/4IN1コピーで右から左および上から下にページをレイアウトし印刷します。 • **横書き**：2IN1/4IN1コピーで左から右および上から下にページをレイアウトし印刷します。
ブック両面	ブック両面コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。（この設定は、自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。） • **右開き**：右側にページをめくる冊子（主に縦書きの冊子）をコピーします。 • **左開き**：左側にページをめくる冊子（主に横書きの冊子）をコピーします。

項目名	機能説明
マガジンソート	マガジンソートコピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。（この設定は、自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。） • **右開き**：マガジンソートコピーで右ページから冊子が開くように製本します。 • **左開き**：マガジンソートコピーで左ページから冊子が開くように製本します。

ファクス設定

ファクス・インターネットファクス機能の初期設定を変更します。

ファクスの送受信には、FAXユニットが必要です。FAXユニットが装着されていない場合は、「解像度」、「原稿モード」、「濃度」、「プレビュー設定」および「初期プレビュー表示設定」の設定のみ行えます。
その他の設定項目については、**FAXユニット取扱説明書 第6章「各種設定のしかた」**を参照してください。

補 足

- FAXユニットが装着されていない場合には、このメニューで設定する項目は、インターネットファクス送信に適用されます。
- お使いの機種によっては、［ファクス設定］はスキャナキットまたはプリンタ／スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。
- ファクス設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

設定画面は複数のページで構成されています。［∧］または［∨］を押すとページが切り替わります。

項目名	機能説明
解像度	原稿の精細度に応じた読み取り解像度を選択します。 • **普通**：普通の大きさの文字による原稿に適しています。 • **精細**：小さな文字や細かい図などを含む原稿に適しています。 • **高精細**：精密な図などを含む原稿に適しています。
原稿モード	原稿のタイプに応じた読み取りモードを選択します。 • **文字**：文字や線画による原稿に適しています。 • **文字/写真**：文字と写真が混在している原稿に適しています。 • **写真**：写真原稿に適しています。
濃度	原稿の読み取り濃度の初期値を設定します。 濃度を手動で設定する場合は、［◁］または［▶］を押し任意の濃度を設定します。 原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、［自動］を押します。
プレビュー設定	プレビュー機能を有効にすると、ファクス・インターネットファクスジョブを送信する前に、スキャンイメージを表示し確認することができます。 • **ON**：この機能を有効にします。 • **OFF**：この機能を無効にします。
初期プレビュー表示設定	プレビュー画面の表示方法を選択します。 ［ページ合わせ］または［幅合わせ］を選択できます。
複数宛先送信前確認	複数の宛先指定時に確認画面を表示するかを設定します。

注 意

［プレビュー設定］および［初期プレビュー表示設定］は、一部の機種のみ表示されます。

スキャン設定

スキャンジョブの初期設定を変更します。

補 足

- お使いの機種によっては、［スキャン設定］はスキャナキットまたはプリンタ／スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。
- スキャン設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.8「ユーザ設定メニューに入る」

設定画面は複数のページで構成されています。[^] または [v] を押すとページが切り替わります。

項目名	機能説明
カラーモード	初期値として適用するカラーモードのボタンを押します。
圧縮率	グレースケール、フルカラー、オートカラースキャン時に初期設定として適用する画質モードのボタンを押します。
両面モード	初期設定として適用する片面／両面モードのボタンを押します。 • **片面**：片面原稿のスキャンを初期設定にします。 • **両面(左/右とじ)**：左右綴じ両面原稿(両面が上下同じ向きの原稿)のスキャンを初期設定にします。 • **両面（上/下とじ）**：上下綴じ両面原稿（両面が上下逆向きの原稿）のスキャンを初期設定にします。
画像回転	画像回転の初期設定として適用する項目ボタンを押します。 • A→A：スキャンしたイメージを回転せずにスキャンします。 • A→A：スキャンしたイメージを90度右に回転します。 • A→A：スキャンしたイメージを180度回転します。 • A→A：スキャンしたイメージを90度左に回転します。
プレビュー設定	プレビュー機能を有効にすると、スキャンジョブを保存またはメール送信する前に、スキャンイメージを表示し確認することができます。 • **ON**：この機能を有効にします。 • **OFF**：この機能を無効にします。
初期プレビュー表示設定	プレビュー画面の表示方法を選択します。 「ページ合わせ」または「幅合わせ」を選択できます。
白紙ページ除去 判定レベル	スキャン操作時にスキャンした原稿が白紙ページと判定された場合に、白紙ページを自動的に削除するための判断基準を設定します。 [+] を押しスライドバーを右に設定すると、スキャンした原稿は白紙と判定されやすくなります。 機能の詳細は、**スキャンガイド 第3章「便利な使いかた」**を参照してください。
オートカラー判定レベル	オートカラースキャン時に、スキャンした原稿がカラー原稿か白黒原稿かを判定するための判断基準を設定します。 を押しスライドバーを右に設定すると、カラー原稿と判定されやすくなります。 を押しスライドバーを左に設定すると、白黒原稿と判定されやすくなります。
オートカラー時の モノクロページ画質	オートカラースキャン時に白黒画像として認識された原稿をスキャンするときの画質モードのボタンを押します。 ［標準］または［高画質］を選択できます。
オートカラー時 モノクロページ濃度調整	オートカラースキャン時に白黒原稿として認識された原稿をスキャンするときの濃度を設定します。 を押しスライドバーを左に設定すると、より薄くスキャンします。 を押しスライドバーを右に設定すると、より濃くスキャンします。

注 意

［プレビュー設定］および［初期プレビュー表示設定］は、一部の機種のみ表示されます。

以下の項目は、カラーモード（フルカラー /オートカラーモード、グレースケールモード、ブラックモード）ごとに設定します。

項目名	機能説明
解像度	スキャン時に初期設定として適用する解像度（dpi）のボタンを押します。
原稿モード	スキャン時の初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。（グレースケールモードには、［原稿モード］の設定はありません。）
濃度	スキャン時の濃度の初期値を設定します。 濃度を手動で設定する場合は、◐ または ◑ を押し濃度レベルを設定します。 原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、［自動］を押します。
下地調整	スキャン時の下地調整の初期値を設定します。 ◐ を押しスライドバーを左に設定すると、背景が明るくなります。 ◑ を押しスライドバーを右に設定すると、背景が暗くなります。

ファイリングボックス

スキャン操作によりファイリングボックスに保管したカラー文書を印刷する際に適用する原稿種類を設定します。

注 意

ファイリングボックス機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。

補 足

ファイリングボックス画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

項目名	機能説明
標準	通常のカラー文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
写真	写真を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
プレゼンテーション	プレゼンテーション資料を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
ラインアート	多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

リスト印刷

この機能では、以下のリストを印刷できます。

補 足

- リスト印刷画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」
- リスト印刷では、A4-Rに設定されたカセットの用紙を優先的に使用して、排紙トレイに排紙します。

項目名	機能説明
アドレス帳リスト	アドレス帳に登録されている宛先の一覧を印刷します。 • **ID番号順**：ID番号で並べ替えられたアドレス帳登録リストが印刷されます。 • **名称順**：フリガナ順に並べ替えられたアドレス帳登録リストが印刷されます。 補 足 アドレス帳登録リストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。 📖 P.164 「アドレス帳登録リスト」
グループリスト	アドレス帳にグループ登録されている宛先の一覧を印刷します。 補 足 グループ登録リストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。 📖 P.165 「グループ登録リスト」
システム設定リスト	システム設定リスト（ユーザ設定）を印刷します。 補 足 システム設定リストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。 📖 P.166 「システム設定リスト（ユーザ）」

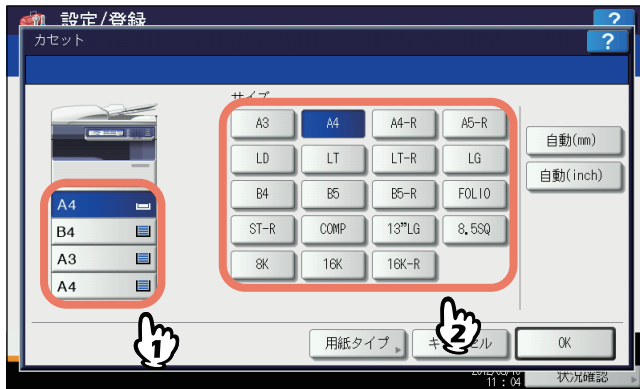
本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し［OK］を押すと各リストが印刷されます。ただし、ブラック無制限（📖 P.154）が有効な場合には、部門コードの入力画面は表示されず、各リストが印刷されます。

カセット

各カセットにセットした用紙のサイズや用紙タイプを設定します。

補 足

カセット画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

1 **カセット画面で、用紙サイズを変更したいカセットのイラスト部分を押し、設定したい用紙サイズのボタンを押します。**

用紙サイズ検知機能のある機種では、用紙サイズのボタンの代わりに［自動（mm)］または［自動（inch)］を選ぶと、カセットに入っている用紙サイズを自動的に設定できます。A3やA4サイズなどのAB系列の用紙をお使いの場合は、［自動（mm)］を、LDやLTなどのLT系列の用紙をお使いの場合は、［自動（inch)］を押してください。

注 意

- 表示されるボタンは、機種によって異なります。
- 自動検知ボタン（［自動（mm)］または［自動（inch)］）と異なる系列の用紙をカセットにセットすると、「！」マークが表示され、用紙のサイズを検知できない場合があります。この場合には、用紙の系列に合わせた自動検知ボタンに切り替えてください。

普通紙以外の用紙を設定する場合やカセットの用途を設定する場合は、［用紙タイプ］を押し、手順2に進みます。用紙タイプを設定しない場合は、［OK］を押して設定を終了してください。

2 **用紙タイプを設定したいカセットのイラスト部分を押して、設定したい用紙タイプのボタンを押したら、［OK］を押して設定を保存します。**

用紙タイプは、用紙種類と特定用途の2つに分けられます。
用紙種類は、厚紙や再生紙の場合に設定してください。
特定用途は、カセット内の用紙を特定の用途に使用する場合に設定してください。たとえば、［挿入シート］を押すと、設定したカセットの用紙をシート挿入に使用できるようになります。

注 意

表示されるボタンは、機種によって異なります。

補 足

- 用紙タイプの詳細については、**コピーガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。
- 用紙種類を「普通紙」・「再生紙」以外に設定したカセットや、特定用途を「無し」以外に設定したカセットの用紙は、自動用紙選択モードでは使用されません。
  自動用紙選択モードの詳細は、**コピーガイド 第3章「基本的なコピー機能」**を参照してください。
- 特定用途を「無し」以外に設定したカセットの用紙は、オートカセットチェンジの対象になりません。
  オートカセットチェンジの詳細は、以下のページを参照してください。
  P.102「コピー設定」

アドレス帳

このメニューでは、以下の操作を行います。

- P.21 「アドレス帳の管理」
- P.31 「グループの管理」

補 足

アドレス帳メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

■ アドレス帳の管理

アドレス帳に登録した宛先は、操作パネルの［ファクス］ボタンを押したときに表示される画面などで、宛先一覧として表示されます。ファクスやインターネットファクスを送信するときに、宛先一覧を選択して、簡単に送信先を指定できます。また、アドレス帳に登録した宛先は、スキャンのEメール送信の宛先にも使用できます。
アドレス帳には、ファクス番号、Eメールアドレス、または両方を指定した3000件（ハードディスクが装着されていない機体では400件）の宛先を登録できます。また、FAXユニットが装着されている場合は、送信方法、ECM、海外指定送信、回線指定、サブアドレス設定などの付加機能を宛先ごとに指定することができます。

注 意

- ファクスの送受信にはFAXユニットが必要です。
- お使いの機種によっては、スキャナキットまたはプリンタ／スキャナキットが装着されている場合にのみ、登録されたEメールアドレスをEメール送信やインターネットファクス送信の宛先として利用することができます。

アドレス帳メニューの［個人用］タブでは、宛先を管理するために以下の操作を行えます。

P.21 「宛先を登録する」
P.26 「宛先を編集／削除する」
P.28 「宛先を検索する」

補 足

アドレス帳のデータは、TopAccessの管理者モードからインポートまたはエクスポートすることができます。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「［管理者］タブ」**を参照してください。

□ 宛先を登録する

新しい宛先をアドレス帳に登録します。登録するには、以下の2つの方法があります。
P.22 「［設定/登録］ボタンからアドレス帳に登録する」
P.24 「ログ一覧からアドレス帳に登録する」

[設定/登録] ボタンからアドレス帳に登録する

1 アドレス帳一覧画面で、連絡先を登録する空きボタンを押して、[登録] を押します。

アドレス帳登録画面が表示されます。

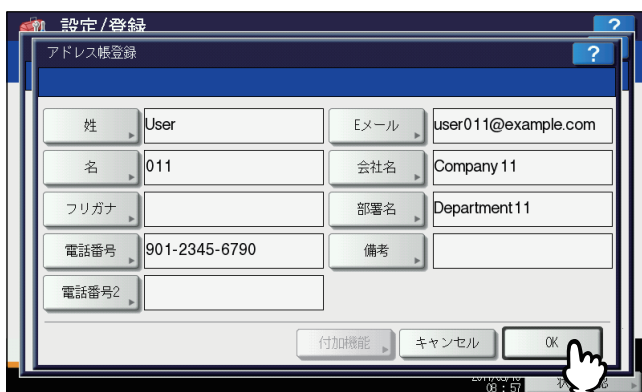
補 足

タッチパネルに宛先を登録できる空きボタンがない場合は、[v] を押して次の画面を表示します。

2 タッチパネルのボタンを押して、以下の宛先情報を入力します。

項目名	機能説明
姓	宛先の姓を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。
名	宛先の名を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。
フリガナ	宛先のフリガナを入力します。全角カタカナで64文字まで入力できます。
電話番号	宛先のファクス番号を入力します。半角数字で128文字まで入力できます。
電話番号2	宛先のサブファクス番号を入力します。(上記 [電話番号] にリダイヤルしても通信できないときに、[電話番号2] に登録があればその番号にファクスします。) 半角数字で128文字まで入力できます。
Eメール	宛先のEメールアドレスを入力します。半角数字で192文字まで入力できます。
会社名	宛先の会社名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。
部署名	宛先の部署名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。
備考	必要に応じて、宛先のキーワードを入力します。このキーワードでも宛先を検索することができます。全角半角に関係なく256文字まで入力できます。

注 意

「姓」または「名」と、「電話番号」または「Eメール」は入力必須項目です。入力されていないと登録できません。

- ［電話番号］、［電話番号2］を除く各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。
  文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  📖 P.160 「文字入力画面」
  また、［区点コード］から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
  📖 P.188 「区点コード表」
- ［電話番号］および［電話番号2］を押すと、番号入力画面が表示されます。
  番号入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  📖 P.161 「番号入力画面」

3 付加機能を設定したい場合は、［付加機能］を押します。

注 意

- FAXユニットが装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、**FAXユニット取扱説明書 第6章「各種設定のしかた」**を参照してください。

4 ［OK］を押して、宛先を登録します。

アドレス帳に宛先が登録されます。

ログ一覧からアドレス帳に登録する

送／受信履歴の画面から、相手先の電話番号やEメールアドレスなどの情報をアドレス帳に登録できます。

送信履歴で登録可能
- 直接ダイヤル（テンキー入力またはLDAP検索）による送信
- Eメールアドレスを直接入力（テンキー入力またはLDAP検索）したEメール送信

受信履歴で登録可能
- 直接ダイヤル（テンキー入力またはLDAP検索）によるポーリング受信
- Eメール受信

スキャン履歴で登録可能
- Eメールアドレスを直接入力したEメール送信

1 **タッチパネルの［状況確認］を押します。**

2 **［ログ］タブを選択し、［送信］（または［受信］、［スキャン］）を押します。**

送信ログ一覧（または受信ログ一覧、スキャンログ一覧）が表示されます。

3 **アドレス帳に登録したいファクス番号またはEメールアドレスから送信されたジョブを選択し、［アドレス帳登録］を押します。**

注 意

スキャンログ一覧からBcc送信された宛先をアドレス帳に登録するには、TopAccessのEメール設定で「BCC送信アドレス表示（ジョブログ、ジョブ状況）」を［ON］に設定する必要があります。「BCC送信アドレス表示（ジョブログ、ジョブ状況）」が［OFF］の場合、スキャンログ一覧にはEメールアドレスの代わりに［BCC宛先］と表示され、その宛先を選択しても［アドレス帳登録］を使用することはできません。「BCC送信アドレス表示（ジョブログ、ジョブ状況）」の設定を切り替える方法については、**TopAccessガイド 第8章「［管理者］タブ」**を参照してください。

4 宛先情報を編集します。

各項目の説明は、以下の操作の手順2を参照してください。
📖 P.22 「［設定/登録］ボタンからアドレス帳に登録する」

5 付加機能を設定したい場合は、［付加機能］を押します。

注 意

- FAXユニットが装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、**FAXユニット取扱説明書 第6章「各種設定のしかた」**を参照してください。

6 ［OK］を押して、宛先を登録します。

アドレス帳に宛先が登録されます。

□ 宛先を編集／削除する

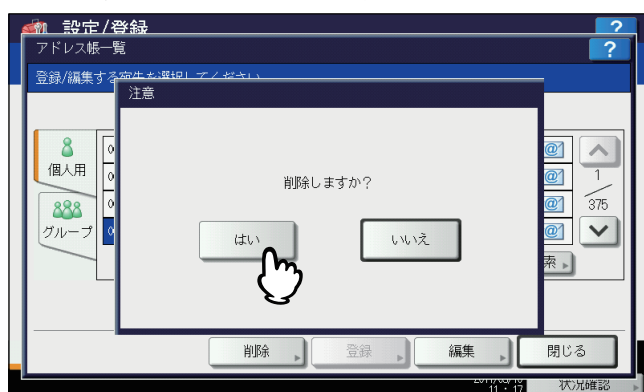
アドレス帳に登録されている宛先を編集（または削除）します。

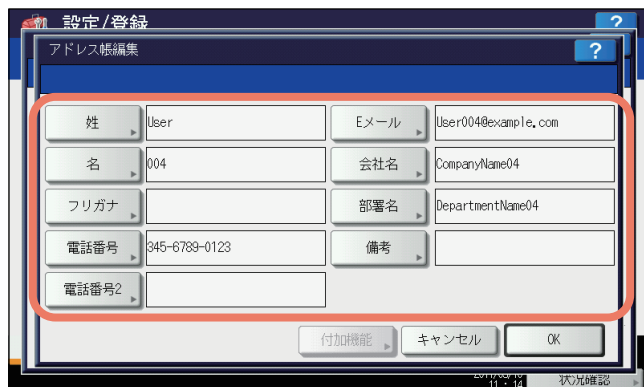
1 アドレス帳一覧画面で、編集したい宛先を押して、［編集］を押します。

アドレス帳編集画面が表示されます。

注 意

- タッチパネルに目的の宛先がない場合は、⌄ を押して次の画面を表示します。
- 検索機能を使って、目的の宛先を探すこともできます。宛先を検索する方法は、以下のページを参照してください。
  📖 P.28「宛先を検索する」

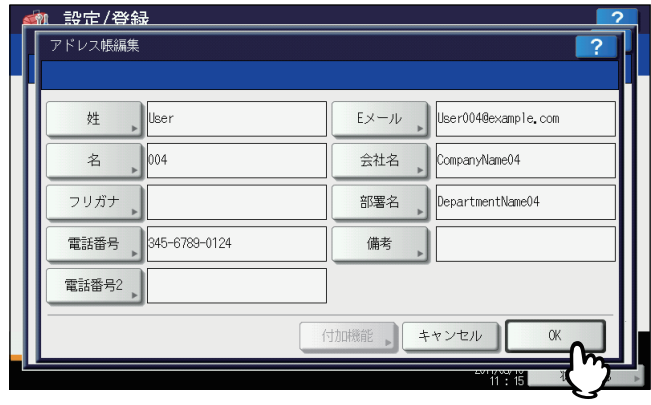
宛先を削除したい場合は、削除したい宛先を押して、［削除］を押します。
注意画面に「削除しますか？」と表示されます。

［はい］を押して、宛先を削除します。

2 宛先情報を編集します。

各項目の説明は、以下の操作の手順2を参照してください。
📖 P.22「［設定/登録］ボタンからアドレス帳に登録する」

3 **付加機能を設定したい場合は、［付加機能］を押します。**

注 意

- FAXユニットが装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、**FAXユニット取扱説明書 第6章「各種設定のしかた」**を参照してください。

4 **［OK］を押して、宛先を保存します。**

編集した宛先の情報が保存されます。

□ 宛先を検索する

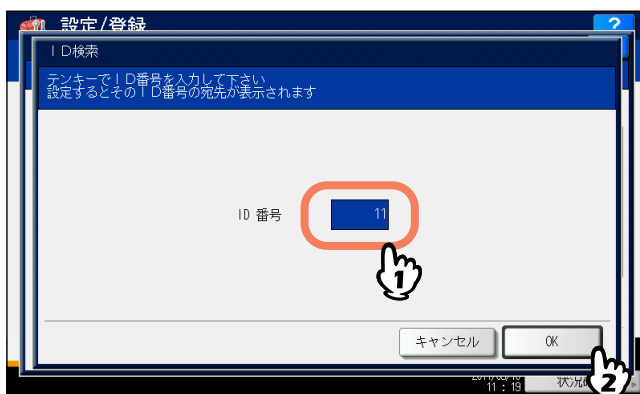
アドレス帳に登録されている宛先を検索するには、以下の2つの方法があります。目的の宛先を探すときに便利な機能です。

📖 P.28 「ID番号で宛先を検索する」
📖 P.29 「文字列を入力し宛先を検索する」

ID番号で宛先を検索する

1 **アドレス帳一覧画面で、[ID番号検索] を押します。**

ID検索画面が表示されます。

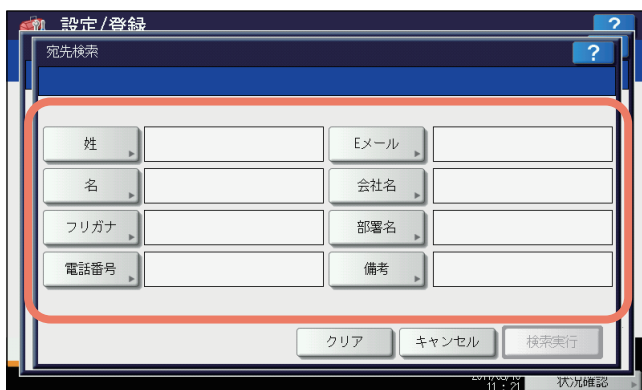
2 **テンキーからID番号を入力し、[OK] を押します。**

3 **検索条件に合致した宛先の画面に移動します。宛先を押し、[編集] を押して宛先の情報を編集します。または、[削除] を押して宛先を削除します。**

宛先の編集／削除手順については、以下のページを参照してください。

📖 P.26 「宛先を編集／削除する」

文字列を入力し宛先を検索する

1 アドレス帳一覧画面で、［宛先検索］を押します。

宛先検索画面が表示されます。

2 検索に使いたい項目のボタンを押します。

- ［電話番号］を除く各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。
  文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  P.160 「文字入力画面」
  また、［区点コード］から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
  P.188 「区点コード表」
- ［電話番号］を押すと、番号入力画面が表示されます。
  番号入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  P.161 「番号入力画面」

補 足

指定された項目欄に検索文字列を含む宛先の検索を行います。

3 検索したい文字列を入力し、［OK］を押します。

4 必要な項目の検索文字列を指定したら、［検索実行］を押します。

補 足

入力した検索文字列をクリアしたい場合は、［クリア］を押します。

5 検索された宛先が画面に表示されます。目的の宛先を押し、［OK］を押して宛先の情報を編集します。

宛先の編集手順については、以下のページを参照してください。

P.26 「宛先を編集／削除する」

補 足

検索された宛先が1ページに収まりきらない場合は、［∧］または［∨］を押してページを切り替えてください。［⩓］または［⩔］を押すと、5ページ分スキップできます。

検索条件を変更したい場合は、［検索条件変更］を押してください。手順2の画面に戻るので、再度検索条件を指定してください。

■ グループの管理

複数の宛先を含むグループを作成します。Eメール送信、ファクス、インターネットファクス送信の際に個別に宛先を指定することなく、グループに登録された複数の宛先を一括で指定できます。
アドレス帳には最大200グループ（ハードディスクが装着されていない機体では最大40グループ）、また1つのグループには最大400件（ハードディスクが装着されていない機体では最大80件）の宛先を登録できます。

注 意

- ファクス番号、Eメールアドレスはそれぞれ別の宛先としてカウントされるので、1つの連絡先にそれら両方を設定した場合は、2件の宛先を登録したことになります。
- ファクスの送受信にはFAXユニットが必要です。

アドレス帳メニューの［グループ］タブでは、グループを管理するために以下の操作を行えます。

P.31 「グループを登録する」
P.34 「グループを編集／削除する」
P.41 「グループを検索する」

□ グループを登録する

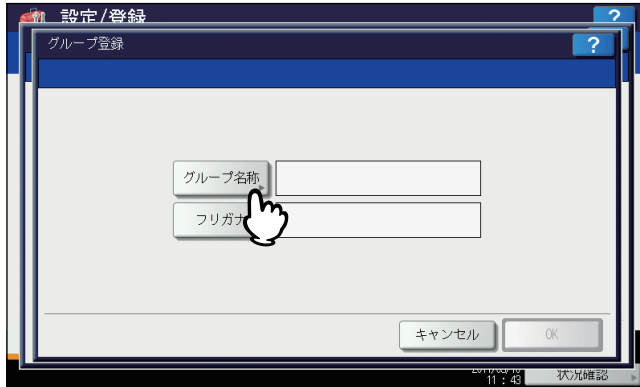
新しいグループをアドレス帳に登録します。

1 アドレス帳一覧画面で、グループを登録する空きボタンを押して、［登録］を押します。

グループ帳登録画面が表示されます。

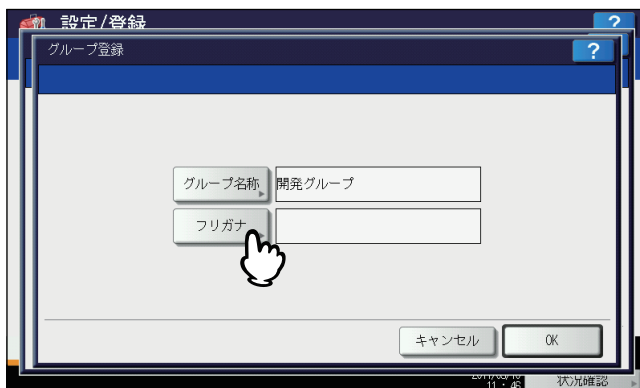
補 足

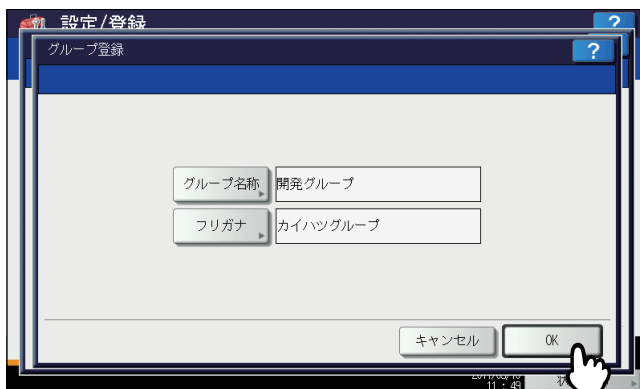
タッチパネルに空きボタンがない場合は、[∨] を押して未登録のグループボタンを表示します。

2 ［グループ名称］を押します。

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160「文字入力画面」
また、［区点コード］から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
P.188「区点コード表」

3 グループ名を入力し、［OK］を押します。

- グループ名にフリガナを入力する場合は、次の手順に進んでください。
- グループ名にフリガナを入力しない場合は、手順6に進んでください。

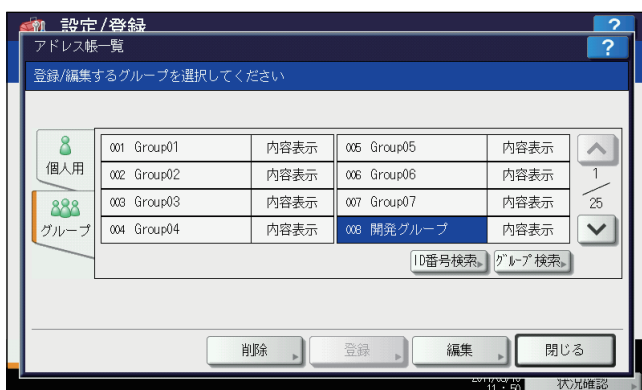
4 ［フリガナ］を押します。

文字入力画面（カタカナ入力モード）が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160「文字入力画面」

5 フリガナを入力し、［OK］を押します。

6 ［OK］を押します。

グループメンバの確認画面が表示されます。

7 グループに追加したい宛先を押して反転表示させ、［OK］を押します。

- 宛先を手動で選択し追加するには、以下のページを参照してください。
  P.37 「宛先を追加または削除する」
- ID番号で検索し宛先を追加するには、以下のページを参照してください。
  P.37 「ID番号で検索して宛先を追加または削除する」
- 文字列で検索し宛先を追加するには、以下のページを参照してください。
  P.39 「検索文字や文字列で検索して宛先を追加または削除する」

8 新しいグループが作成され、タッチパネルの画面に表示されます。

□ グループを編集／削除する

アドレス帳に登録されているグループの編集や削除を行います。また、グループへの宛先の追加や削除を行います。

注 意

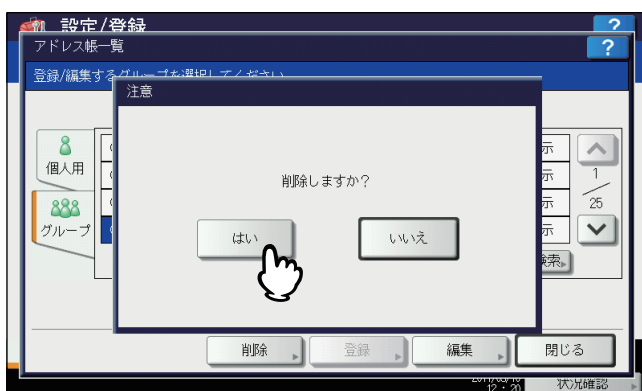
グループを削除しても、［個人用］タブの宛先のデータは削除されません。ただし、［個人用］タブで宛先のデータを削除すると、その宛先は登録されているグループからも削除されます。

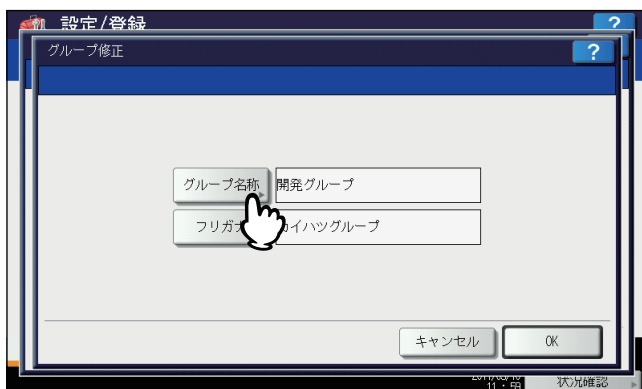
1 アドレス帳一覧画面で、編集したいグループボタンを押して、［編集］を押します。

グループ編集画面が表示されます。

補 足

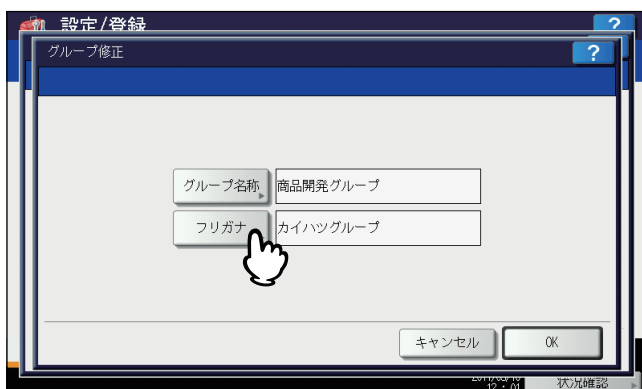
- タッチパネルに目的のグループがない場合は、▽を押して次の画面を表示します。
- 検索機能を使って目的のグループを探すこともできます。
  P.41「ID番号でグループを検索する」
  P.42「グループ名でグループを検索する」

グループを削除したい場合は、削除したいグループボタンを押して、［削除］を押します。
注意画面に「削除しますか？」と表示されます。

［はい］を押して、グループを削除します。

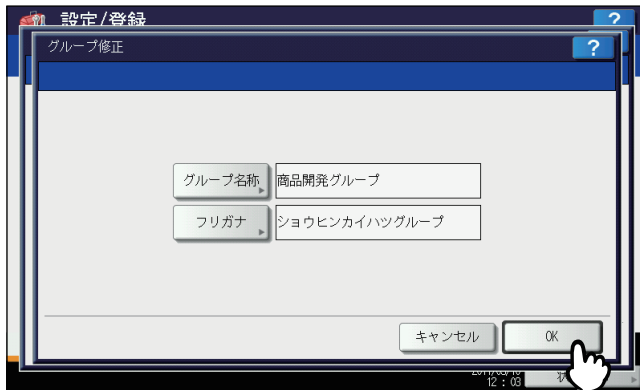
2 ［グループ名称］を押します。

- 文字入力画面が表示されます。
  文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  P.160「文字入力画面」
  また、［区点コード］から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
  P.188「区点コード表」
- グループ名を変更しない場合は、手順6に進みます。

3 グループ名を入力し、［OK］を押します。

- フリガナを変更する場合は、次の手順に進みます。
- フリガナを変更しない場合は、手順6に進みます。

4 ［フリガナ］を押します。

文字入力画面（カタカナ入力モード）が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160「文字入力画面」

5 フリガナを入力し、［OK］を押します。

6 ［OK］を押します。

グループメンバ確認画面が表示されます。

- グループの宛先を変更しない場合は、次の手順に進みます。
- グループの宛先を変更する場合は、以下のページを参照してください。
  - 手動で宛先を選択し追加や削除を行う。
    P.37「宛先を追加または削除する」
  - ID番号で宛先を検索し追加や削除を行う。
    P.37「ID番号で検索して宛先を追加または削除する」
  - 文字列で宛先を検索し追加や削除を行う。
    P.39「検索文字や文字列で検索して宛先を追加または削除する」

補 足

反転表示されている宛先が、グループに登録されている宛先です。

7 ［OK］を押します。

編集した内容が保存されます。

宛先を追加または削除する

1 **グループに追加するには反転表示されていない宛先を押し反転表示させます。グループから削除するには反転表示を解除してください。宛先の追加や削除が終了したら、［OK］を押します。**

- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加またはグループから削除する場合は、宛先の名前の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。

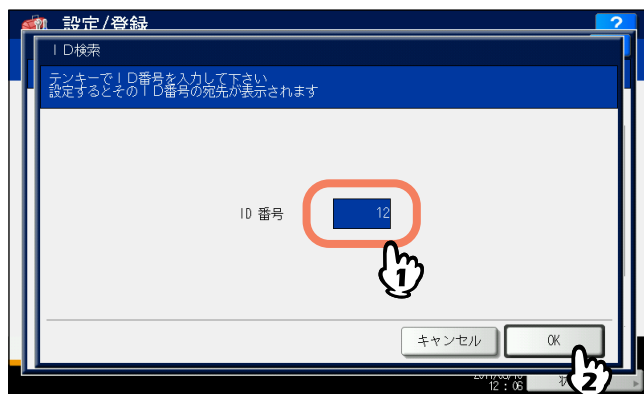
補 足

- または を押すと、違うページの宛先が表示されます。
- ［宛先クリア］を押すと、グループに登録されているすべての宛先が削除されます。

ID番号で検索して宛先を追加または削除する

1 **グループメンバ確認画面で、［ID番号検索］を押します。**

ID検索画面が表示されます。

2 テンキーでID番号を入力し、[OK]を押します。

検索された宛先がタッチパネルに表示されます。

3 グループに追加するには宛先を押し反転表示させます。グループから削除するには反転表示を解除してください。宛先の追加や削除が終了したら、[OK]を押します。

- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加またはグループから削除する場合は、宛先の名前の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。

検索文字や文字列で検索して宛先を追加または削除する

1 グループメンバ確認画面で、［宛先検索］を押します。

宛先検索画面が表示されます。

2 検索に使いたい項目のボタンを押します。

- ［電話番号］を除く各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。
  文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  P.160 「文字入力画面」
  また、［区点コード］から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
  P.188 「区点コード表」
- ［電話番号］を押すと、番号入力画面が表示されます。
  番号入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  P.161 「番号入力画面」

補 足

指定された項目欄に検索文字列を含む宛先の検索を行います。

3 検索したい文字列を入力し、［OK］を押します。

4 必要な項目の検索文字列を指定したら、［宛先検索］を押します。

補 足

入力した検索文字や文字列を消去したい場合は、［クリア］を押します。

5 検索された宛先が画面に表示されます。グループに追加したい宛先を押し反転表示させます。グループから削除したい宛先は反転表示を解除してください。宛先の追加や削除が終了したら、［OK］を押します。

- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加またはグループから削除する場合は、宛先の名前の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。

補 足

検索された宛先が1ページに収まりきらない場合は、 または を押してページを切り替えてください。
 または を押すと、5ページ分スキップできます。

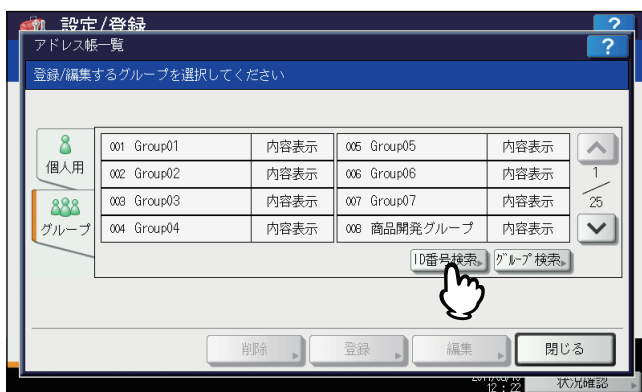
検索条件を変更したい場合は、［検索条件変更］を押してください。手順2の画面に戻るので、再度検索条件を指定してください。

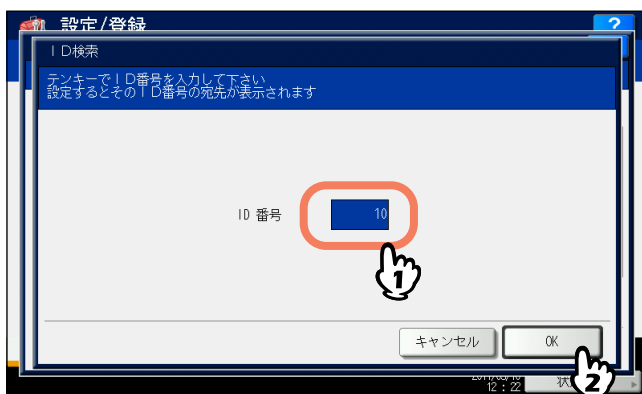
□ グループを検索する

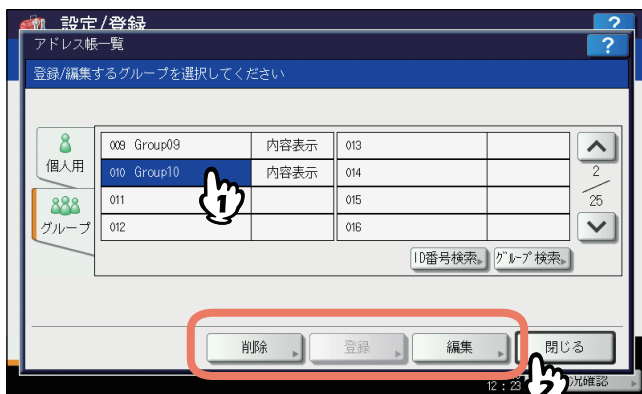
アドレス帳に登録されているグループを検索するには、以下の2つの方法があります。目的のグループを探すときに便利な機能です。

📖 P.41 「ID番号でグループを検索する」
📖 P.42 「グループ名でグループを検索する」

ID番号でグループを検索する

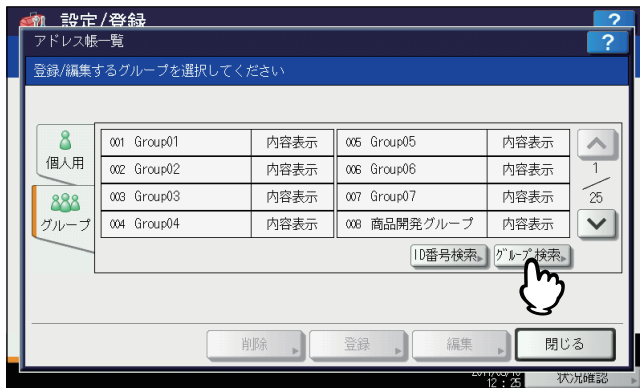
1 アドレス帳一覧画面で、［ID番号検索］を押します。

ID検索画面が表示されます。

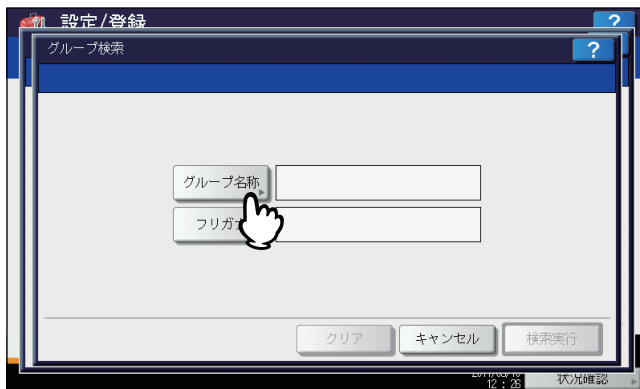
2 テンキーからID番号を入力し、［OK］を押します。

検索されたグループが表示されます。

3 目的のグループボタンを押し、編集や削除などの操作に進みます。

グループの編集／削除手順については、以下のページを参照してください。

📖 P.34 「グループを編集／削除する」

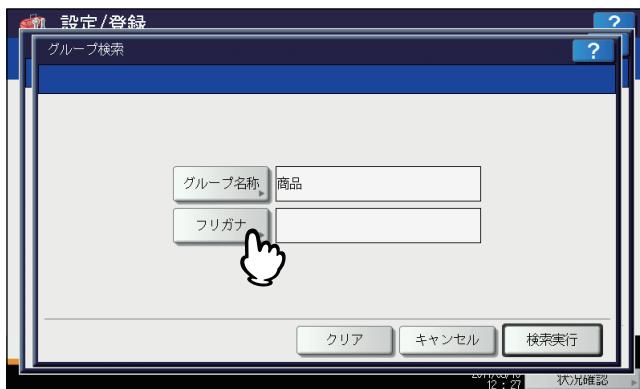
グループ名でグループを検索する

1 **アドレス帳一覧画面で、[グループ検索]を押します。**

グループ検索画面が表示されます。

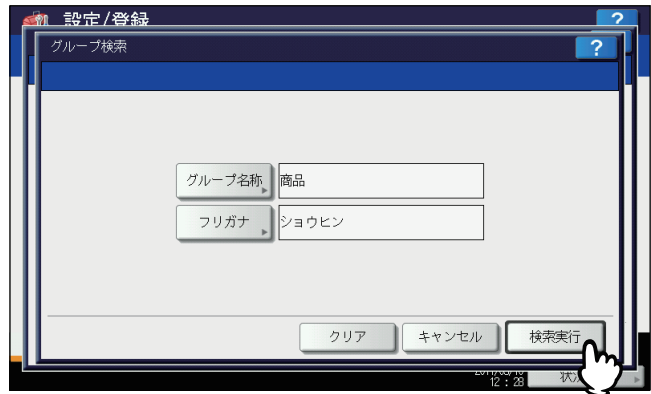
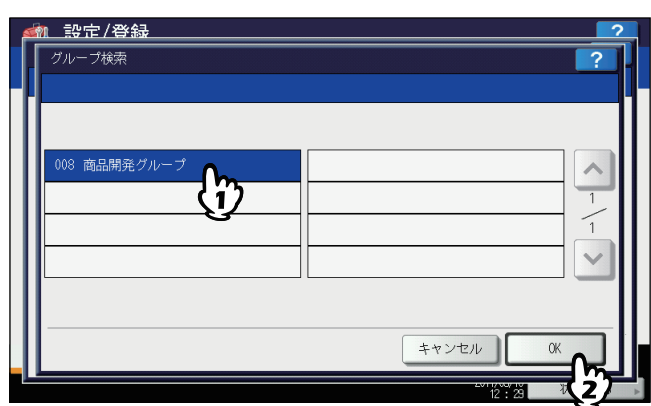
2 **[グループ名称]を押します。**

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.160「文字入力画面」
また、[区点コード]から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.188「区点コード表」

3 **検索したい文字列を入力し、[OK]を押します。**

- グループ名にフリガナが入力されている場合は、次の手順に進みます。
- グループ名にフリガナが入力されていない場合は、手順6に進みます。

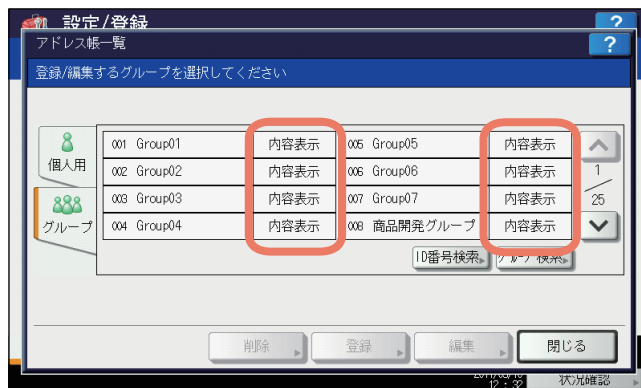
4 **[フリガナ]を押します。**

文字入力画面(カタカナ入力モード)が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.160「文字入力画面」

5 フリガナを入力し、[OK]を押します。

6 [検索実行]を押します。

7 検索されたグループが画面に表示されます。目的のグループボタンを押し、[OK]を押してグループの情報を編集します。

グループの編集／削除手順については、以下のページを参照してください。
📖 P.34「グループを編集／削除する」

□ グループメンバを確認する

グループに登録されている宛先を確認します。

1 アドレス帳一覧画面で、メンバを確認したいグループボタンの［内容表示］を押します。

グループに登録されているメンバが表示されます。

補 足

1つの宛先にファクス番号とEメールアドレスの両方を登録してある場合は、ファクス番号の後にEメールアドレスが表示されます。

Eメール確認

［Eメール確認］を押すと、POP3サーバーに接続し新着のEメール（インターネットファクス）があるかを確認します。新着のEメールがある場合は、Eメールデータを取り出して自動的に印刷します。

注 意

この操作を行うには、TopAccessからPOP3サーバーの設定を行ってください。POP3サーバーの設定については、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。

補 足

- Eメール確認画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
  P.8 「ユーザ設定メニューに入る」
- 自動的にPOP3サーバーに接続し新着のEメール（インターネットファクス）を確認することもできます。

プリント

USBダイレクト印刷時のカラーモードの初期設定を変更します。

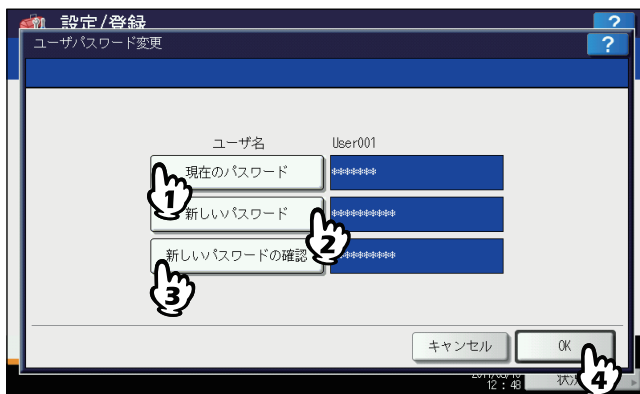
ユーザパスワード変更

本機で内部認証機能を使用している際に、ユーザは認証画面で入力した認証パスワードをこのメニューから変更できます。

補 足

- ［ユーザパスワード変更］は、内部認証機能が有効な場合のみ使用できます。
- ユーザパスワード変更画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.8「ユーザ設定メニューに入る」

1 ユーザパスワードを変更します。

1)［現在のパスワード］を押して、現在使用しているパスワードを入力します。
2)［新しいパスワード］を押して、新しいパスワードを入力します。
3)［新しいパスワードの確認］を押して、新しいパスワードを再度入力します。
4)［OK］を押して、新しいパスワードを保存します。

ユーザ設定メニュー画面に戻ります。

補 足

- 上記ボタン（［現在のパスワード］、［新しいパスワード］および［新しいパスワードの確認］）を押すと、文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160「文字入力画面」
- ［現在のパスワード］、［新しいパスワード］および［新しいパスワードの確認］ボックスに入力されたパスワードは、＊（アスタリスク）で表示されます。

2

設定項目（管理者設定）

管理者設定メニューに入る

以下の手順で、管理者設定メニューを表示します。

1 **操作パネルの［設定/登録］ボタンを押して、設定/登録メニューに入ります。**

2 **［管理者設定］タブを押します。**

- ユーザ管理をしていない場合は、管理者パスワードを入力する必要があります。
  次の手順に進んでください。
- ユーザ管理をしている場合は、管理者権限を持つユーザで本機にログインしてください。
  ［管理者設定］タブを押すと管理者設定メニューが表示されます。
  手順5に進んでください。

注 意

管理者権限を持たないユーザで本機にログインすると、［管理者設定］タブは使用できません。
各ユーザへの権限の付与は、ロール情報の設定で行います。詳細は、**TopAccessガイド 第7章「［ユーザ管理］タブ」**を参照してください。

3 **［パスワード］を押します。**

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160「文字入力画面」

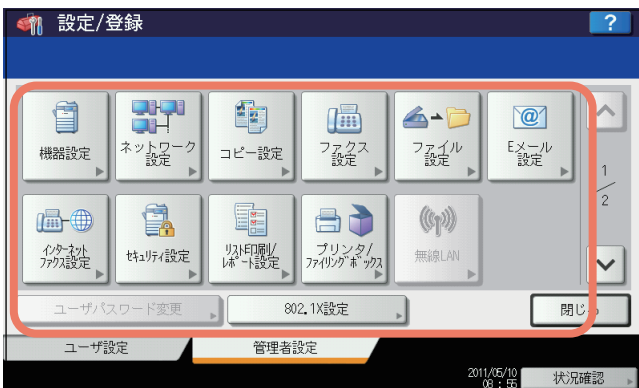
4 **管理者パスワードを入力し［OK］を押します。**

管理者設定メニューが表示されます。

補 足

- 管理者パスワードを変更したことがない場合は、工場出荷時のパスワード「123456」を入力します。
- 入力したパスワードは、＊（アスタリスク）で表示されます。

5 **必要な管理者操作を続けて行います。**

管理者設定メニュー（1/2）で、▽を押すと、管理者設定メニュー（2/2）が表示されます。

管理者設定メニュー（1/2）　　**管理者設定メニュー（2/2）**

管理者設定画面には、以下のボタンがあります。詳細は各参照先をご覧ください。

P.53 「機器設定」
P.84 「ネットワーク設定」
P.102 「コピー設定」
P.104 「ファクス設定」
P.106 「ファイル設定」
P.107 「Eメール設定」
P.109「インターネットファクス設定」
P.110 「セキュリティ設定」
P.120 「リスト印刷／レポート設定」
P.125 「プリンタ／ファイリングボックス」
P.127 「無線LAN」
P.133 「システムの初期化」
P.128 「ユーザパスワード変更」
P.129 「IEEE 802.1X認証設定」

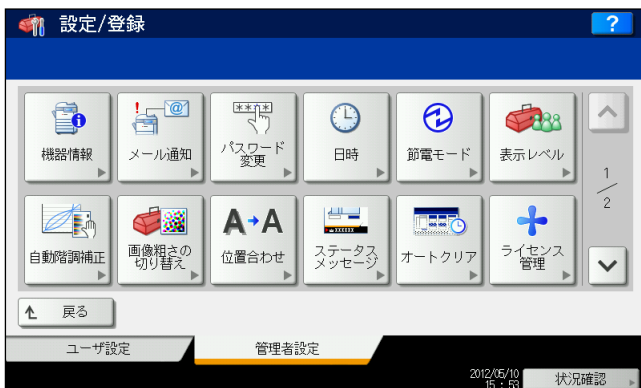
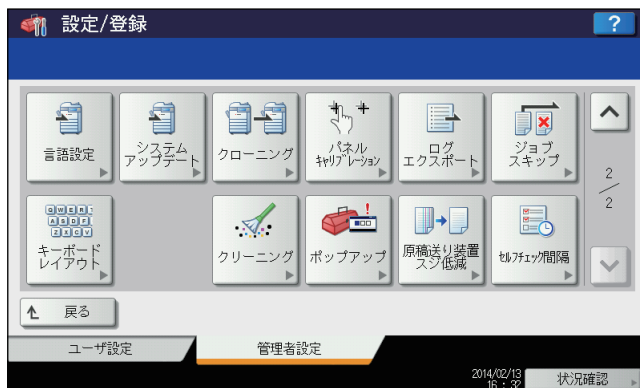
機器設定

機器の初期設定を変更します。

補 足

機器設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.51 「管理者設定メニューに入る」

機器設定メニュー（1/2）で、[∨] を押すと、機器設定メニュー（2/2）が表示されます。

機器設定メニュー（1/2）

機器設定メニュー（2/2）

このメニューでは、以下の操作を行います。

📖 P.54 「機器情報」

📖 P.55 「メール通知」

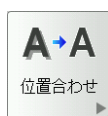
📖 P.56 「パスワード変更」

📖 P.57 「日時」

📖 P.59 「節電モード」

📖 P.62 「表示レベル」

📖 P.63 「自動階調補正」

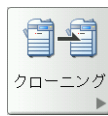
📖 P.64 「画像粗さの切り替え」

📖 P.65 「位置合わせ」

📖 P.65 「ステータスメッセージ」

📖 P.65 「オートクリア」

📖 P.65 「ライセンス管理」

📖 P.68 「言語設定」

📖 P.72 「システムアップデート」

📖 P.74 「クローニング」

📖 P.79 「パネルキャリブレーション」

📖 P.79 「ログエクスポート」

📖 P.82 「ポップアップ」

📖 P.80 「ジョブスキップ」

📖 P.82 「原稿送り装置スジ低減」

📖 P.80 「キーボードレイアウト」

📖 P.83 「セルフチェック間隔」

📖 P.82 「クリーニング」

📖 P.83 「オプション」

注 意

表示されるボタンは、機種によって異なります。

■ 機器情報

機器情報を設定します。ここで設定した情報は、TopAccessの装置ページに表示されます。

項目名	機能説明
設置場所	設置場所を入力します。半角／全角ともに64文字まで入力できます。
サービス電話番号	サービス連絡先を入力します。半角数字で32文字まで入力できます。
情報	サービス連絡先の担当者を入力します。半角／全角ともに64文字まで入力できます。
管理者メッセージ	管理者のメッセージを入力します。半角／全角ともに40文字まで入力できます。

補 足

- 上記の各ボタン（[サービス電話番号] は除く）を押すと、文字入力画面が表示されます。
  文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  📖 P.160 「文字入力画面」
- [サービス電話番号] を押すと、番号入力画面が表示されます。
  番号入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  📖 P.161 「番号入力画面」

■ メール通知

用紙切れ、サービスマンコールなど本機に特定のイベントが発生したときに、通知メッセージをEメール送信します。通知メッセージの宛先には、最大3か所のEメールアドレスを指定することができます。

補 足

メール通知を行うイベントはTopAccessから設定します。設定方法については、**TopAccessガイド 第8章「[管理者]タブ」**を参照してください。

注 意

この機能を使用するには、ご利用のネットワークにSMTPサーバーが必要です。また、インターネット通信ができるように、正しく設定されている必要があります。

1 メール通知画面で、[Eメール] を押します。

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.160 「文字入力画面」

2 通知を送るEメールアドレスを入力し、[OK] を押します。

補 足

必要に応じて3か所のEメールアドレスまで指定することができます。通知を有効にするときは、最低1か所のアドレスを入力してください。

3 通知を有効にするEメールアドレス欄の [ON] を押し、[OK] を押します。

通知を無効にする場合は、[OFF] を押します。

注 意

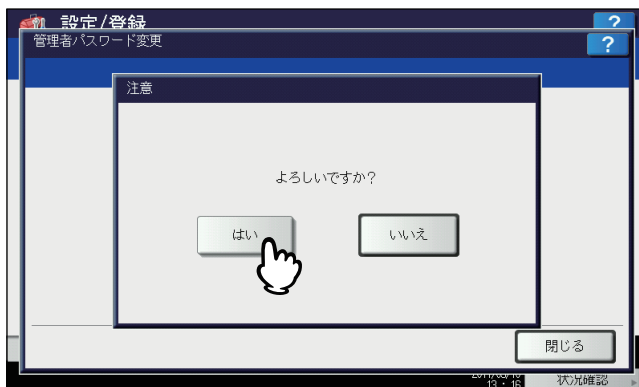
[ON] はEメールが入力されている欄のみ選択することができます。

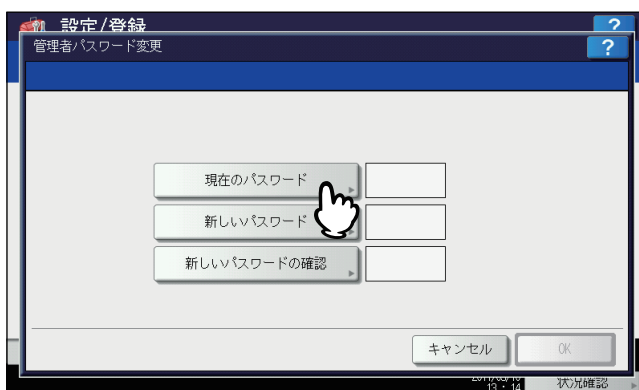
■ パスワード変更

管理者パスワードの変更を行います。また、本機担当のサービスエンジニアがサービス用パスワードを忘れてしまった場合に、このメニューからそのパスワードをリセットすることができます。

1 管理者パスワード変更画面で、[管理者パスワード]または[サービスパスワードリセット]を押します。

管理者パスワードを変更するための画面が表示されます。

[サービスパスワードリセット]を選択した場合は、注意画面に「よろしいですか?」と表示されます。

[はい]を押して、サービス用パスワードをリセットします。

2 [現在のパスワード]を押します。

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.160「文字入力画面」

3 現在使用しているパスワードを入力し、[OK]を押します。

入力したパスワードは、*(アスタリスク)で表示されます。

補 足

はじめて管理者パスワードを変更する場合は、初期設定の管理者パスワード「123456」を入力します。

4 新しいパスワードを設定し、保存します。

1）［新しいパスワード］を押し、新しいパスワードを入力します。
2）［新しいパスワードの確認］を押し、新しいパスワードを再度入力します。
3）［OK］を押します。

補 足

［新しいパスワード］および［新しいパスワードの確認］を押すと、文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.160 「文字入力画面」

注 意

管理者パスワードは、6～64文字で指定してください。入力できる文字は英数字および以下のシンボル文字です。
! # $ ( ) * + , - . / : ; = ? @ \ ^ _ ` { | } ~

■ 日時

現在の日付や時刻を入力して、本機内部時計の時刻合わせを行います。
📖 P.57 「日付や時刻を調整する」
📖 P.58 「日付フォーマットを変更する」

注 意

SNTPサービスを利用して本機の時間設定を自動的に更新している場合、手動での日付や時刻の設定は行うことはできません。SNTPサービスの設定は、TopAccessの管理者モードから行います。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「［管理者］タブ」**を参照してください。

日付や時刻を調整する

1 日時画面で、［日付/時刻］を押します。

日付／時刻画面が表示されます。

2 **矢印ボタンを使って変更したい箇所を反転表示させテンキーで値を入力したら、[OK]を押します。**

日時メニューに戻ります。

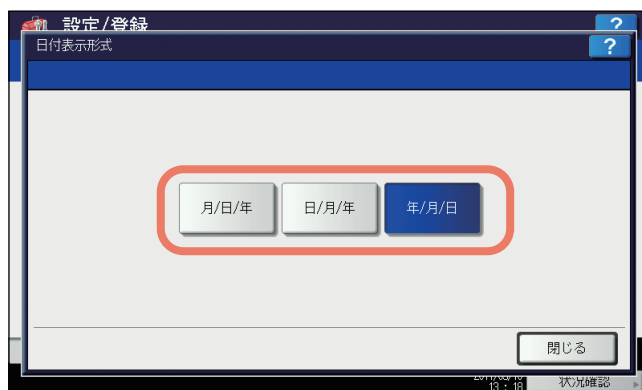
補 足

年／月／日のいずれかの値を変更すると、曜日は自動的に設定されます。

日付フォーマットを変更する

1 **日時画面で、[日付表示形式]を押します。**

日付表示形式画面が表示されます。

2 **目的の日付フォーマットボタンを押します。**

日時メニューに戻ります。

■ 節電モード

このメニューでは、以下の節電モードを設定できます。

- **ウィークリータイマー**
  P.59 「ウィークリータイマーを設定する」
  この機能を設定すると、本機を自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行させることができます。たとえば、始業時刻、終業時刻に合わせてタイマを設定すると、本機は設定時刻に自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行します。

  補 足

  ウィークリータイマー機能によってスリープモードまたはスーパースリープモードに移行した本機を復帰させるには、操作パネルの［スタート］ボタンを押します。

  注 意

  主電源スイッチをオフにした場合は、ウィークリータイマーは動作しません。

- **自動節電モード**
  P.61 「自動節電モードを設定する」
  この機能を設定すると、一定時間本機が使用されない場合に、自動的に本機を節電（低電力）モードに移行させることができます。

- **スリープモード／スーパースリープモード**
  P.61 「スリープモードまたはスーパースリープモードを設定する」
  この機能を設定すると、一定時間本機が使用されない場合に、自動的に本機をスリープモードまたはスーパースリープモードに移行させることができます。スリープモード／スーパースリープモードでは、本機の待機時に不要な部分への通電を遮断します。節電モード設定では、スーパースリープモードの消費電力が一番小さくなり、スリープモード、自動節電モードの順に待機時の消費電力が大きくなります。

  補 足

  節電モードの種類や移行手順については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

ウィークリータイマーを設定する

1 節電モード画面で、［ウィークリータイマー］を押します。

ウィークリータイマーの設定画面が表示されます。

2 画面の設定を確認し、変更する必要があれば［変更］を押します。

変更がなければ、［OK］を押して終了します。

3 ウィークリータイマーを設定します。

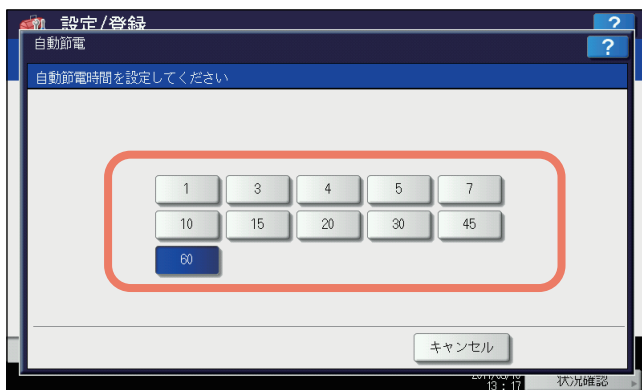
1）目的の曜日ボタンを押します。
2）［ON］を押し、スリープモードまたはスーパースリープモードから復帰する時刻をテンキーから入力します。
　時間と分の切り替えは、矢印ボタンで行ってください。
3）［OFF］を押し、スリープモードまたはスーパースリープモードに入る時刻をテンキーから入力します。
　時間と分の切り替えは、矢印ボタンで行ってください。
4）［OK］を押し、設定を保存します。

補 足

- 入力した時刻をクリアしたい場合は、操作パネルの［クリア］ボタンを押します。
- 本機を終日スリープモードまたはスーパースリープモードにする場合は、ON／OFFとも同じ時刻を入力してください。
  例）［日曜日］に［ON］：0：00、［OFF］：0：00を設定した場合
  本機は、土曜日のオフ時刻として指定された時刻に自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行し、月曜日の復帰時刻として指定された時刻までスリープモードまたはスーパースリープモードを継続します。
- 本機を終日スリープモードまたはスーパースリープモードに移行させたくない場合は、目的の曜日に以下の設定を行ってください。
  ［ON］：0：00／［OFF］：24：00
  本機は、終日ウィークリータイマー機能によるスリープモードまたはスーパースリープモードには移行しません。ただし、一定時間使用されない場合には、［スリープ/スーパースリープ］で設定された時間に従って、自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行します。

自動節電モードを設定する

1 **節電モード画面で、［自動節電］を押します。**
自動節電の設定画面が表示されます。

2 **節電モードに移行するまでの時間（分）のボタンを押します。**

自動節電の設定を保存し、前の画面に戻ります。

スリープモードまたはスーパースリープモードを設定する

1 **節電モード画面で、［スリープ/スーパースリープ］を押します。**
スリープ／スーパースリープの設定画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、設定内容を保存します。

項目名	機能説明
スリープ移行時間	スリープモード／スーパースリープモードに移行するまでの時間（分）のボタンを押します。
スーパースリープ	本機をスリープモードに移行させるか、スーパースリープモードに移行させるかを設定します。 • **有効**：スーパースリープモードに移行します。 • **無効**：スリープモードに移行します。

注 意

- 本機の動作状態によっては、設定時間どおりに移行しない場合があります。
- 以下の場合には、［スーパースリープ］を［有効］にしてもスーパースリープモードには移行しません。
  - 特定のオプション機器を装着している。（無線LANモジュール、e-BRIDGE ID Gate）
  - 特定の機能を有効にしている。（IPsec機能、FAXユニット装着時のダイヤルイン機能）
  - IEEE802.1X認証を有効にしている。
  - IPv6を有効にしていて、手動以外の方法でIPv6アドレスを設定している。
  - POP3設定を有効にしていて、かつ次のいずれかの状態になっている。
    （1）ポーリングレートが「0分」以外に設定されている。
    （2）POPサーバーアドレスが入力されている。
    （3）アカウント名が入力されている。
  - ネットワーク設定の「ETHERNET」を、［自動（-1000MB）］または［1000BASE 全二重］に設定している。（以下の機種をお使いの場合のみ）
    ・e-STUDIO456 Series
    ・e-STUDIO856 Series
    ・Loops LP30
  - 特定のネットワークプロトコルを有効にしている。（AppleTalk、IPX/SPX）
- スーパースリープモードに移行できない条件下では、「スーパースリープ」の［有効］／［無効］は使用できません。
- 本機をスーパースリープモードから復帰させるためのプロトコル設定は、TopAccess の管理者モードから行います。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「［管理者］タブ」**を参照してください。

■ 表示レベル

自動階調補正と位置合わせの各操作をユーザ設定メニューでユーザに許可するか、管理者設定メニューで管理者が操作するかを設定します。
自動階調補正と位置合わせの操作ボタン（［自動階調補正］、［位置合わせ］）は、ここでの設定に従い、管理者設定メニューのみ、または管理者設定メニューおよびユーザ設定メニューの両方に表示されます。

項目名	機能説明
自動階調補正	• **ユーザ**：管理者設定メニューおよびユーザ設定メニューに表示する場合 • **管理者**：管理者設定メニューのみに表示する場合
位置合わせ	• **ユーザ**：管理者設定メニューおよびユーザ設定メニューに表示する場合 • **管理者**：管理者設定メニューに表示する場合

■ 自動階調補正

本機の画像の階調を自動補正します。濃淡や色合いが思うように再現されない場合に使います。
ユーザー設定メニューの「簡易階調補正」よりも精細な調整が可能です。

注 意

- 自動階調補正を管理者のみでなくユーザにも許可するかどうかは、「表示レベル」で設定します。
  P.62 「表示レベル」
- 補正を行う前に、A4またはLTサイズの用紙（推奨用紙）をカセット*1にセットします。他の用紙サイズで補正の操作はできません。
- ガラス面の汚れやガラス面への異物の付着などにより、正しく補正が行われない場合があります。ガラス面の清掃を定期的に行ってください。
- 補正実行中は原稿カバーまたは自動両面原稿送り装置 *2 を持ち上げたり、前面カバーを開けたりしないでください。正しく補正されません。
- 補正実行中の割り込みコピーはできません。
- ひんぱんに色合いがずれる場合は、弊社サービスエンジニアにご相談ください。

＊1　本機に大容量給紙装置が装着されているときは、大容量給紙装置に用紙をセットしてください。大容量給紙装置が装着されていない場合には、A4またはLTがセットされている一番上のカセットに用紙をセットしてください。
＊2　お使いの機種によっては、自動両面原稿送り装置はオプションです。

補 足

自動階調補正メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.51 「管理者設定メニューに入る」

1 補正するボタンを押します。

項目名	機能説明
コピー	コピージョブの階調補正を行います。
プリンタ	印刷ジョブの階調補正を行います。
600 dpi印刷	600 dpiの印刷ジョブに適用される階調補正を行います。
1200 dpi印刷	1200 dpiの印刷ジョブに適用される階調補正を行います。

注 意

表示されるボタンは、機種によって異なります。

2 用紙タイプを選択し、[OK] を押します。

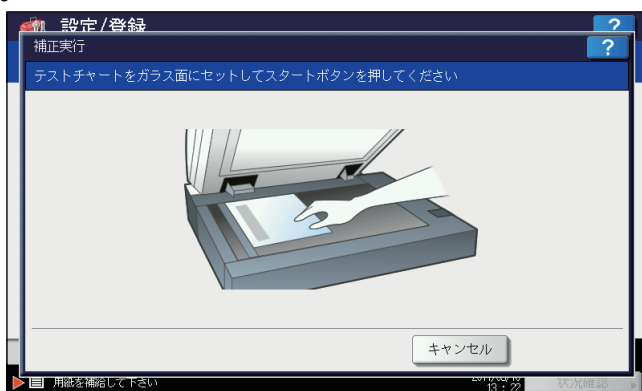
注 意

お使いの機体の設定によっては、用紙タイプを選択する画面は表示されません。この場合は次の手順に進んでください。

3 補正設定を選択します。

項目名	機能説明
初期設定に戻す	初期設定の補正レベルにセットし、前の画面に戻ります。
新規に補正する	印刷されるチャートを使って補正を行います。この場合は、次の手順に進んでください。

4 カラー機の場合、印刷されたチャートを、印刷面を下向きに黒い長方形（2個）が左側になるように、原稿スケールに沿って左奥コーナーの基準に合わせ原稿ガラス上にセットします。

モノクロ機の場合、印刷されたチャートを、印刷面を下向きにチャートの黒い方が左側になるように、原稿スケールに沿って左奥コーナーの基準に合わせ原稿ガラス上にセットします。

5 操作パネルの［スタート］ボタンを押します。

補正を開始します。「補正中です」という表示がタッチパネルから消え、補正が完了するまで本機を操作しないでください。

注 意

チャートのセットがずれていると、タッチパネルに「正しくチャートをセットしてください」と表示されます。その場合には、手順3に戻ってチャートをセットし直してください。

■ 画像粗さの切り替え

印刷時の画像の粗さを切り替えます。
この設定は600 dpiの印刷ジョブに適用されます。カラー /モノクロ別々に設定します。

項目名	機能説明
細かい	通常の線数で印刷します。
粗い	通常よりも粗い線数で印刷します。

補 足

設定を変更した場合、自動諧調補正を行うかどうかの確認画面が表示されます。必要に応じて［OK］または［キャンセル］を選択してください。

■ 位置合わせ

色ズレが発生したときに、位置を補正します。
位置合わせ画面で、［はい］を押して位置合わせ処理を開始します。
このボタンは、一部の機種のみ表示されます。

注 意

位置合わせを管理者のみでなくユーザにも許可するかどうかは、「表示レベル」で設定します。
表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。
P.62 「表示レベル」

■ ステータスメッセージ

用紙切れ、トナーニアエンプティなど本機に特定のイベントが発生したときに、タッチパネルの下部にメッセージを表示します。
各項目の［ON］または［OFF］を押し、［OK］を押します。

項目名	機能説明
トナー切れ事前通知	有効にすると、各トナーカートリッジのトナーが少なくなったときに画面左下にメッセージが表示されます。
用紙切れ通知	有効にすると、各カセットの用紙がなくなったときに画面左下にメッセージが表示されます。

■ オートクリア

本機を操作の途中で一定時間放置した場合に、操作パネルの表示をクリアし初期画面に戻る時間を設定します。
希望の時間（秒）のボタンを押します。オートクリアを無効にしたい場合は、［OFF］を押します。

注 意

オートクリアを［OFF］に設定すると、設定/登録、状況確認やテンプレート画面を含めたすべてのモードにおいて、オートクリアが無効になります。

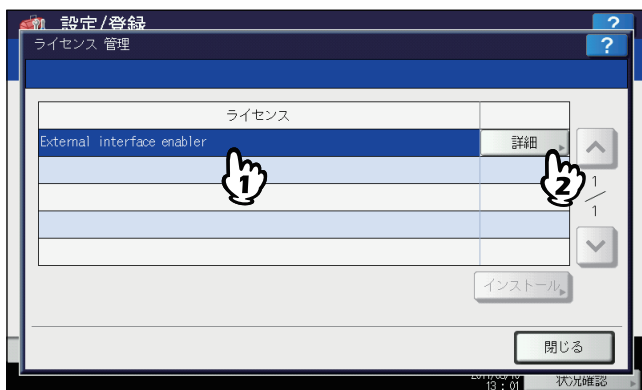
■ ライセンス管理

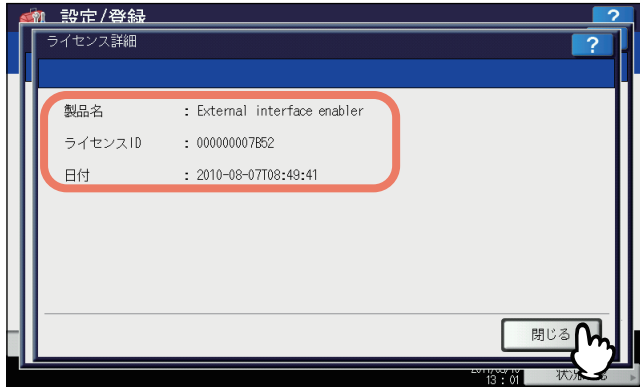
本機にインストールされている、特定のオプションのライセンスIDなどの製品情報を確認します。また、必要に応じてそれらのオプションを本機にインストールすることができます。
P.65 「製品情報を表示する」
P.66 「オプションをインストールする」

重 要

オプションのインストールは、サービスエンジニアの指示に従って行ってください。

製品情報を表示する

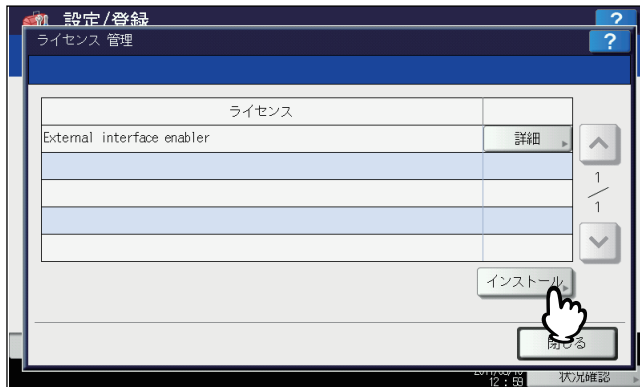
1 ライセンス管理画面で、製品情報を確認したいオプションを選択し、［詳細］を押します。

ライセンス詳細画面が表示されます。

2 製品情報を確認したら、［閉じる］を押します。

ライセンス管理画面に戻ります。

補 足

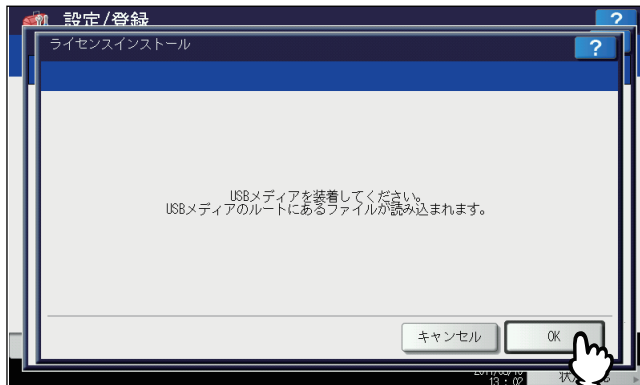
以下の情報が表示されます。
- 製品名：オプション名
- ライセンスID：オプションのライセンスID
- 日付：インストール日時

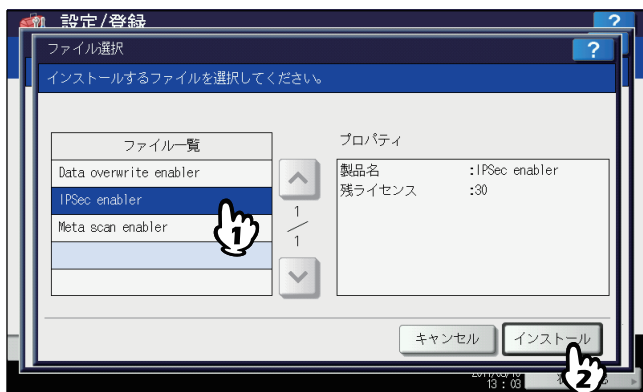
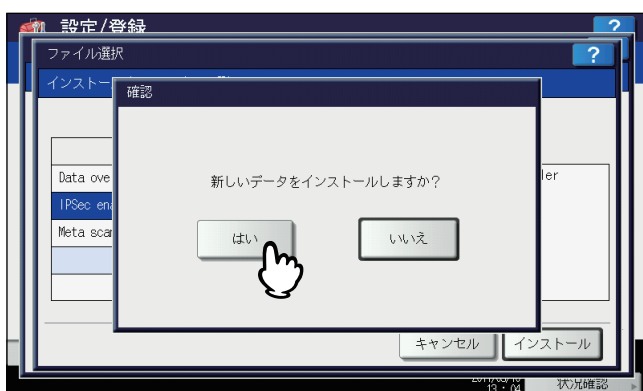
オプションをインストールする

1 ライセンス管理画面で、［インストール］を押します。

ライセンスインストール画面が表示されます。

2 USBメディアを本機のUSBポートに接続し、［OK］を押します。

ファイル選択画面が表示されます。

補 足

USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

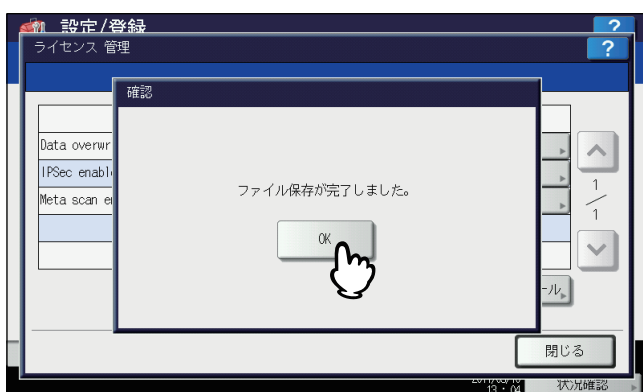
3 インストールするオプションを選択し、［インストール］を押します。

インストールの確認画面が表示されます。

4 ［はい］を押します。

インストールが開始されます。

注 意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

5 インストールが終了したら、［OK］を押します。

インストールしたオプションが、ライセンス管理画面に表示されます。

補 足

インストールに失敗すると、警告画面に「インストールに失敗しました。もう一度実行しますか？」と表示されます。この場合には、［はい］を押して、インストールを再度実行してください。

6 USBメディアを本機のUSBポートから取り外します。

補 足

設定を反映するため本機の再起動が必要になります。タッチパネルに「電源をいれ直してください」と表示されたら、操作パネルの［電源］ボタンを使って本機の電源を入れ直してください。

■ 言語設定

タッチパネルの表示言語の追加や削除を行います。また、このメニューから標準で使用する言語を切り替えることもできます。

📖 P.68「表示言語を追加する」
📖 P.70「表示言語を削除する」
📖 P.71「標準で使用する言語を設定する」

補 足

- 工場出荷時には、以下の言語パックが標準でインストールされています。

日本語　米語　英語　ドイツ語　フランス語
スペイン語　イタリア語　デンマーク語＊　フィンランド語＊　ノルウェー語＊
スウェーデン語＊　オランダ語＊　ポーランド語＊　ロシア語＊　中国語（簡体字）
中国語（繁体字）　トルコ語＊

＊　ハードディスクが装着されている機体のみ標準でインストールされています。

- 表示言語を追加する場合は、インストールしたい言語パックをあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。
- 新たに追加できる言語については、サービスエンジニアにお尋ねください。

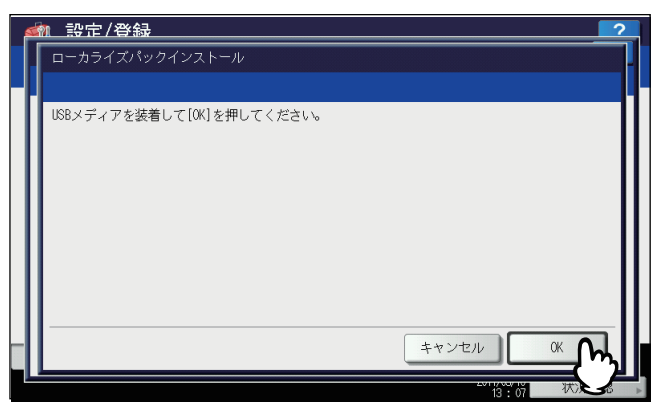
表示言語を追加する

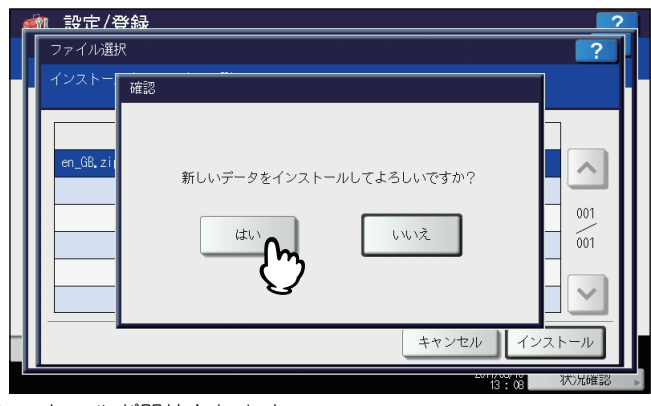
1 言語設定画面で、［インストール］を押します。

ローカライズパックインストール画面が表示されます。

2 言語パックを保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、［OK］を押します。

ファイル選択画面が表示されます。

補 足

USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

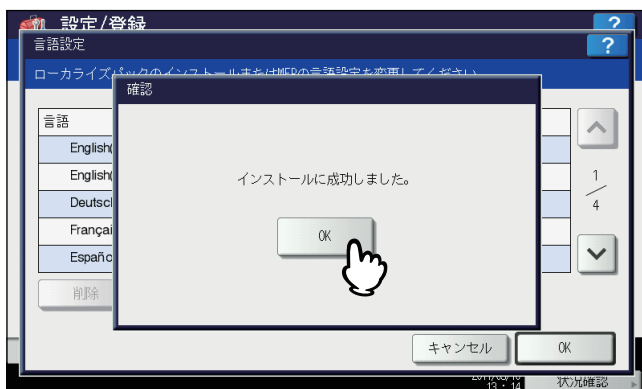
3 インストールしたい言語パックを選択し、［インストール］を押します。

インストールの確認画面が表示されます。

4 ［はい］を押します。

インストールが開始されます。

注 意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

5 インストールが終了したら、[OK]を押します。

機器設定メニュー（2/2）に戻ります。

補 足

言語パックのインストールに失敗すると、警告画面に「インストールに失敗しました」と表示されます。[閉じる］を押して、操作を再度実行してください。

6 USBメディアを本機のUSBポートから取り外します。

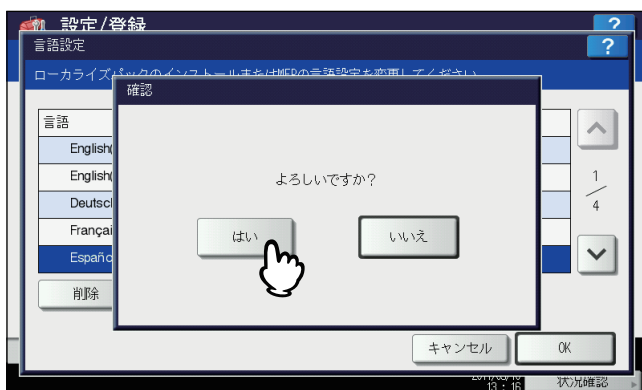
表示言語を削除する

1 言語設定画面で、削除したい言語パックを選択し、[削除］を押します。

確認画面に「よろしいですか？」と表示されます。

注 意

米語、英語および標準で使用している言語は、削除できません。

2 [はい］を押します。

削除を終了すると、言語設定画面に戻ります。

標準で使用する言語を設定する

1 言語設定画面で、標準で使用したい言語を選択し、[初期言語設定］を押します。

選択した言語の横に ✔ が表示されます。

2 ［OK］を押します。

設定を保存し、前の画面に戻ります。

■ システムアップデート

本機のシステムをアップデートするためのファイルをインストールします。

注意

ハードディスクが装着されていない機体では、インストールされているシステムソフトウェアとそのバージョンの確認はできますが、アップデートはできません。

補足

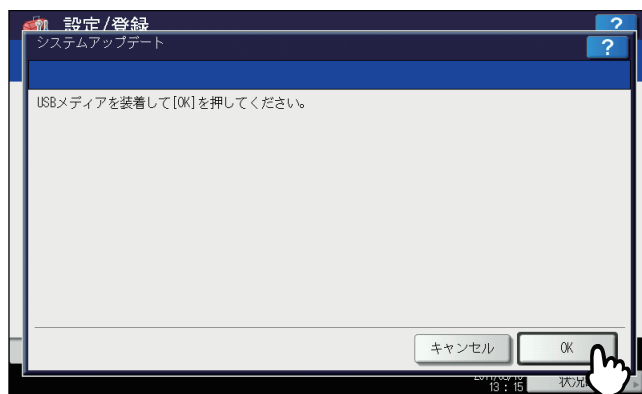
- ファイルの入手については、サービスエンジニアにお尋ねください。
- 操作を行う前に、アップデート用のファイルをあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。

1 機器設定メニュー（2/2）で［システムアップデート］を押します。

システムアップデート画面に現在インストールされているソフトウェアの一覧およびそれらのバージョンが表示されます。

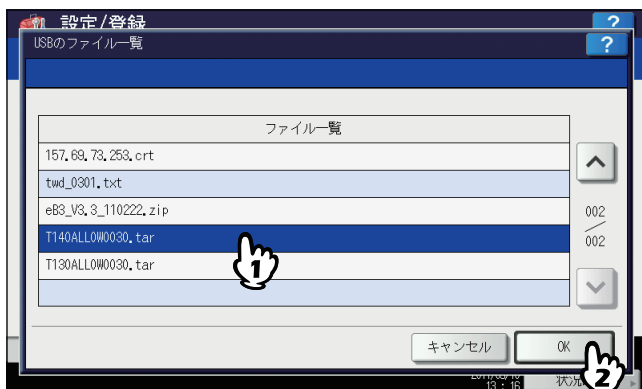
2 ［インストール］を押します。

USBメディアの装着を促すメッセージが表示されます。

3 アップデート用ファイルを保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、［OK］を押します。

USBのファイル一覧画面が表示されます。

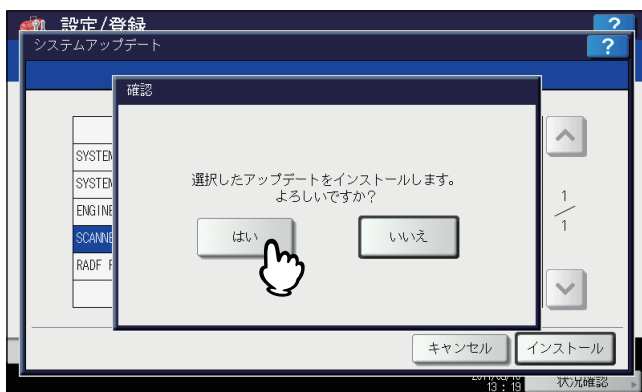
補足

USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

4 ファイルの種類を選択し、[OK] を押します。

システムアップデート画面が表示されます。

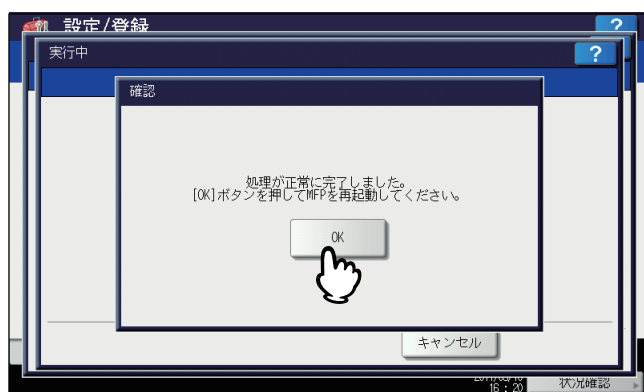
5 インストールしたいアップデート用のファイルを選択し、[インストール] を押します。

インストールの確認画面が表示されます。

6 [はい] を押します。

インストールが開始されます。

注 意

- データの転送が完了するまで絶対に USB メディアを取り外さないでください。データの転送中に USB メディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。
- 本機でジョブが処理されているときなどに [はい] を押すと、警告画面に「他のジョブまたは管理者機能を実行中のため、処理できません。」と表示されます。この場合には [閉じる] を押し、ジョブの処理が終了してから、再度実行してください。

7 **インストールが終了したら、USBメディアを本機のUSBポートから取り外し、[OK]を押して本機を再起動します。**

システムの更新処理が行われます。更新処理が完了すると、自動的に本機が再起動します。

■ クローニング

クローニング機能を使って設定データやユーザデータの複製ファイルを作成します。また、その複製ファイルを他の同一シリーズの複合機／複写機にインストールすることができます。複数の複合機／複写機に同じ設定を施したい場合などに、便利な機能です。

📖 P.74「複製データをインストールする」
📖 P.77「複製ファイルを作成する」

注 意

複製ファイルは、同一シリーズの機種に対して互換性がありますが、他シリーズの機種に対しては互換性がありません。

補 足

- 複製データをインストールする場合は、インストールしたい複製ファイルをあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。
- クローニングの詳細については、サービスエンジニアにお問い合わせください。

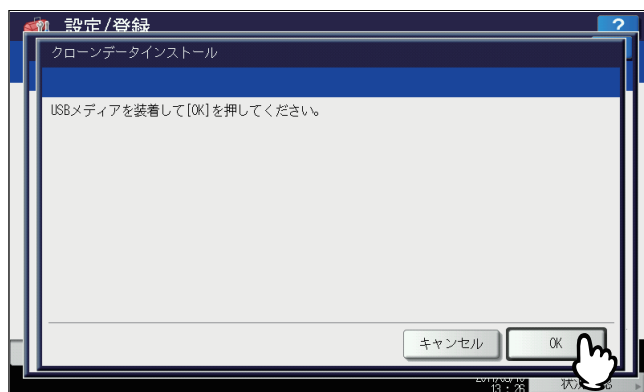
複製データをインストールする

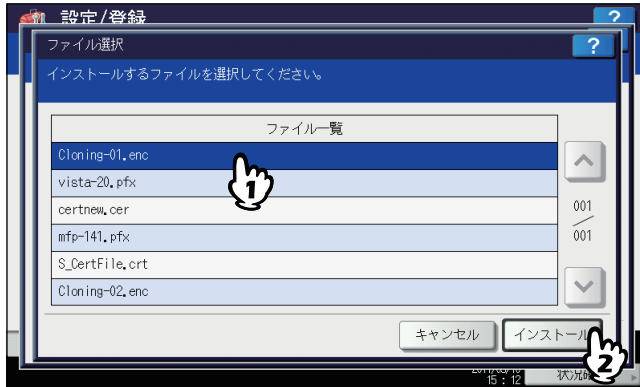
1 **クローニング画面で、[クローンデータインストール]を押します。**

クローンデータインストール画面が表示されます。

2 **複製ファイルを保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK]を押します。**

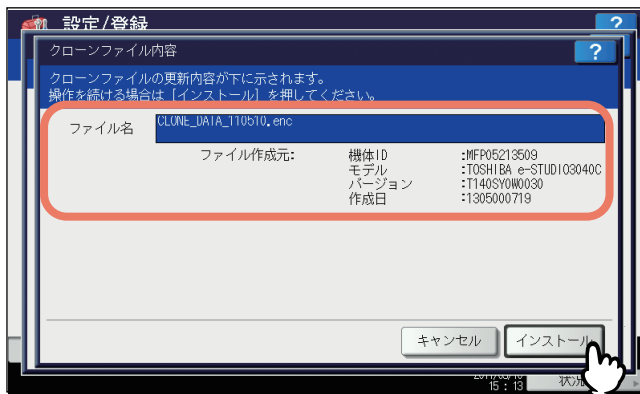
ファイル選択画面が表示されます。

補 足

USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

3 インストールしたい複製ファイルを選択し、［インストール］を押します。

クローンファイル内容画面が表示されます。

注 意

選択できるファイル数は、1操作につき1ファイルです。

4 ファイル名およびファイルの内容を確認し、［インストール］を押します。

パスワード入力画面が表示されます。

5 ［パスワード］を押します。

文字入力画面が表示されます。

文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。

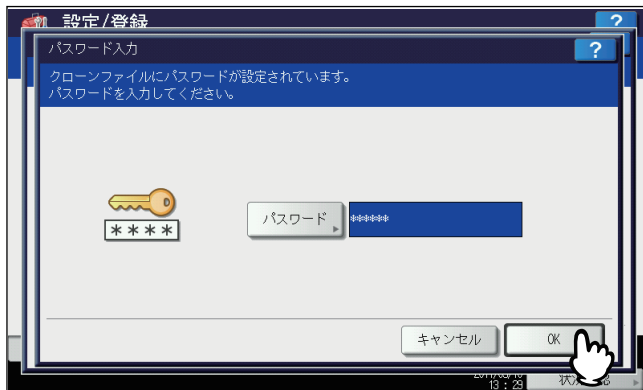
📖 P.160 「文字入力画面」

6 パスワードを入力し［OK］を押します。

パスワード入力画面に戻ります。

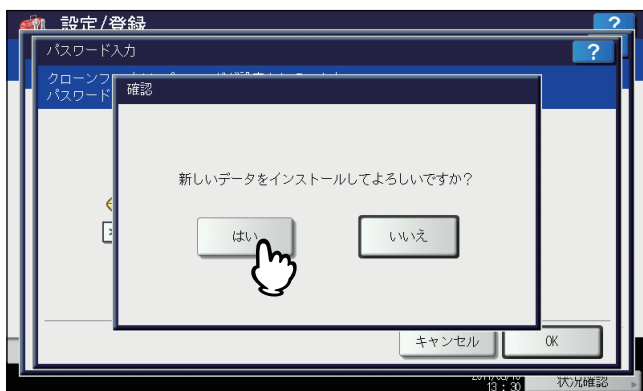
補 足

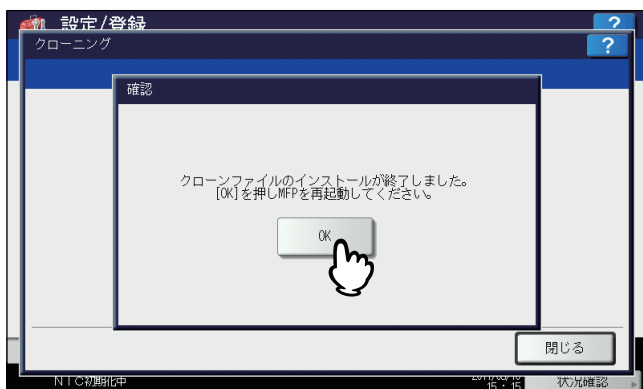
入力したパスワードは、＊（アスタリスク）で表示されます。

7 ［OK］を押します。

インストールの確認画面が表示されます。

8 ［はい］を押します。

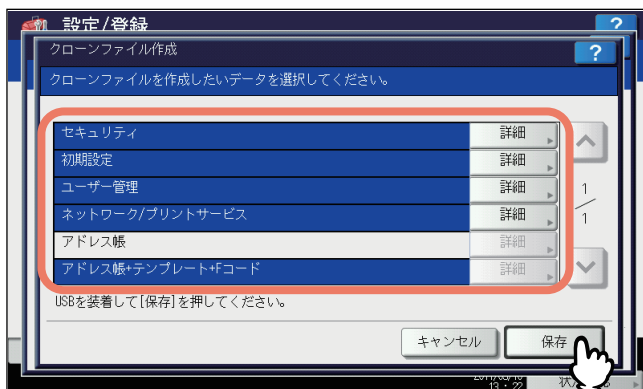
インストールが開始されます。

注 意

データの転送が完了するまで絶対にメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

9 インストールが終了したら、USBメディアを本機のUSBポートから取り外し、［OK］を押して本機を再起動します。

複製ファイルを作成する

1 **クローニング画面で、［クローンファイル作成］を押します。**

クローンファイル作成画面が表示されます。

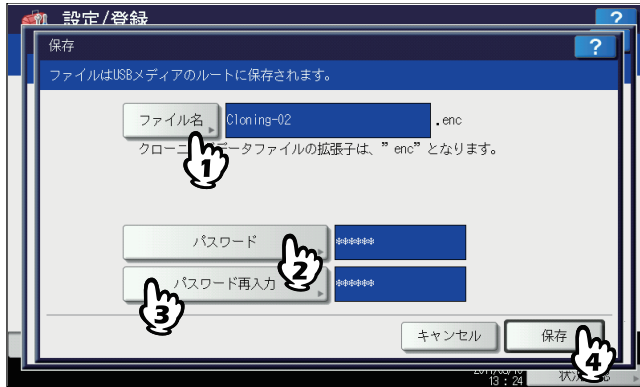
2 **USBメディアを本機のUSBポートに接続し、複製ファイルを作成するデータを選択して［保存］を押します。**

保存画面が表示されます。

補 足

- USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。
- 複製する必要のないデータは、データカテゴリのボタンを押し反転表示を解除してください。
- ［詳細］を押すと、どのデータが複製されるかを確認できます。

データカテゴリ	複製されるデータ
セキュリティ	セキュアイレース、認証
初期設定	機器設定、コピー、スキャン、ファクス、インターネットファクス、ファクス/インターネットファクス受信転送、Eメール、共有フォルダに保管、プリンタ、メール通知、ログ設定、EWB設定
ユーザー管理	ユーザ、グループ、ロール、割当、部門コード、マイメニューのテンプレート/アドレス帳
ネットワーク/プリントサービス	ネットワーク設定、プリントサービス、無線LAN、LDAPサービス
アドレス帳	アドレス帳
アドレス帳＋テンプレート＋Fコード	アドレス帳、テンプレート、Fコード

3 ファイル名を入力し、パスワードを設定したら保存します。

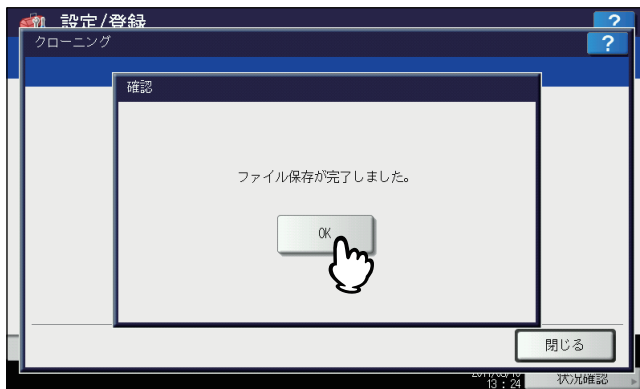
1）［ファイル名］を押し、ファイル名を入力します。
ファイル名は、128文字以内で入力してください。
2）［パスワード］を押し、パスワードを入力します。
3）［パスワード再入力］を押し、パスワードを再度入力します。
4）［保存］を押します。

複製ファイルの作成が開始されます。

補 足

［ファイル名］、［パスワード］および［パスワード再入力］を押すと、文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160 「文字入力画面」

注 意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

4 複製ファイルの作成が終了したら、［OK］を押します。

クローニング画面に戻ります。

補 足

- 複製ファイルの作成に失敗すると、警告画面に「ファイルの保存に失敗しました。」と表示されます。この場合には、［閉じる］を押して、操作を再度実行してください。
- 複製ファイルの保存中にUSBメディアのメモリの空き容量がなくなると、注意画面に「USBが容量オーバーです。交換してください。」と表示されます。この場合には、新しいUSBメディアに交換し操作を再度実行してください。

5 USBメディアを本機のUSBポートから取り外します。

■ パネルキャリブレーション

タッチパネル上のボタンが押しにくいときに、位置を補正します。
パネルキャリブレーション操作画面で、タッチパネルのメッセージに従い、ペン先で+字に触れます。

パネルキャリブレーション操作が完了すると、機器設定メニュー（2/2）に戻ります。

注 意

パネルキャリブレーションを操作中は、他の機能でのタッチパネル操作は無効となります。パネルキャリブレーションを操作中に本機の前面カバーを開けた際にトナー交換のガイダンスが表示された場合は、前面カバーを閉じてパネルキャリブレーション操作を終了してから、トナーの交換を行ってください。

■ ログエクスポート

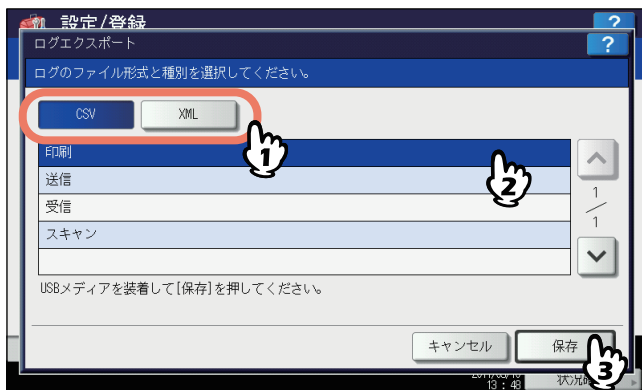
状況確認画面のログ一覧に表示される各操作のログ（印刷／送信／受信／スキャン）を、USBメディアに書き出します。

1 USBメディアを本機のUSBポートに接続します。

補 足

USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

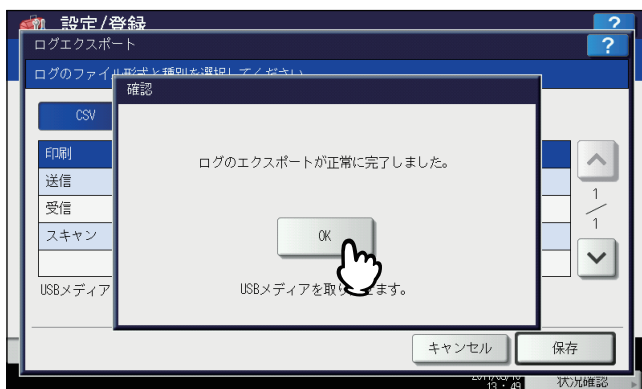
2 ログのエクスポートを開始します。

1）ログのファイル形式を、CSVとXMLから選びます。
2）エクスポートするログを選択します。
3）［保存］を押すと、エクスポートを開始します。

補 足

1操作につき選択できるログの種類は、1種類です。

注 意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

3 エクスポートが終了したら、[OK] を押します。

4 USBメディアを取り外します。

■ ジョブスキップ

コピーや印刷ができない条件が発生した場合に、原因となったジョブをスキップし、他のジョブを優先して出力することができます。

項目名	機能説明
ジョブスキップ設定	• **ON**：この機能を有効にします。 • **OFF**：この機能を無効にします。

注 意

[ジョブスキップ] は、ハードディスクが装着されている機体のみ表示されます。

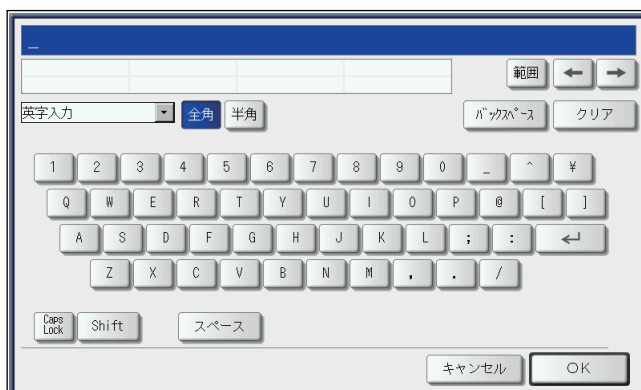
補 足

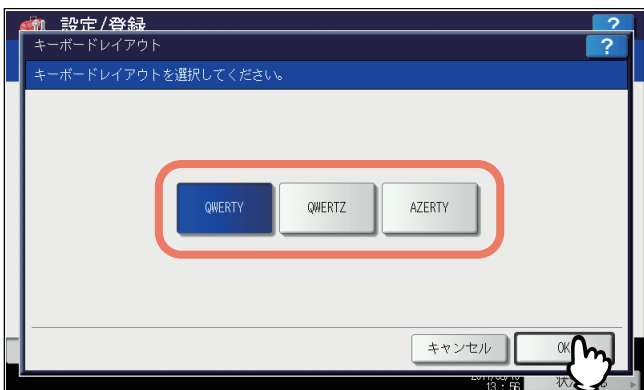
コピーや印刷が保留された原因を解除する方法については、**コピーガイド第7章「印刷状況などの確認」**および**印刷ガイド第5章「操作パネルから印刷ジョブを管理する」**を参照してください。

■ キーボードレイアウト

タッチパネルに表示される文字入力画面のキーボードレイアウトを変更します。

注 意

- タッチパネルの表示言語が日本語に設定されている場合は、パスワードやメールアドレスを入力するための「Basic」キーボードのレイアウトを変更することができます。
  英数字を入力するための下記キーボード（「英字入力」キーボード）のレイアウトは「QWERTY」配列固定です。

- タッチパネルの表示言語を切り替える方法は、以下のページを参照してください。
  P.9 「言語切替」

キーボードレイアウト画面で、使用したいキーボードレイアウトを選択し、[OK] を押します。

機器設定メニュー（2/2）に戻ります。

「Basic」キーボードのレイアウトは、以下のように切り替わります。

- [QWERTY] を選択した場合

- [QWERTZ] を選択した場合

- [AZERTY] を選択した場合

■ クリーニング

帯電チャージャとLEDプリントヘッドのクリーニングを実施します。帯電チャージャやLEDプリントヘッドが汚れると、印刷した画像の横方向にムラが出る、白いスジが入るなどの症状が現れます。
画面のガイダンスを見ながらクリーニングを実施してください。手順どおりクリーニングしたら、画面上の［終了］を押してください。
このボタンは、一部の機種のみ表示されます。

注 意

［終了］を押さないと、クリーニング時期をお知らせするカウンタがクリアされません。

■ ポップアップ

カセット抜き差し時の、用紙サイズ・用紙タイプ設定の変更の要否を確認するメッセージ、紙づまり解除後の、印刷継続を確認するメッセージ、およびカセットに入れる用紙の量について注意を促すメッセージの表示/非表示を設定します。
各項目の［有効］または［無効］を押し、［OK］を押します。

項目名	機能説明
カセット引き出し時用紙サイズ・タイプ確認	有効にすると、カセットを抜き差ししたときに、用紙サイズや用紙タイプの設定を変更するかを確認するメッセージが表示されます。
紙詰り解除後の印刷	有効にすると、紙づまりが発生したときに実行していた印刷を継続するか中止するかを確認するメッセージが表示されます。
厚紙セット	有効にすると、カセットに入れる用紙の量について注意を促すメッセージが表示されます。このメッセージは、普通紙と厚紙1（106～163 g/m^2）で入れられる用紙の量が異なるカセットの用紙タイプを「厚紙1」に設定したときと、そのカセットを開け閉めしたときに表示されます。（以下の機種をお使いの場合のみ） • e-STUDIO2550C Series

■ 原稿送り装置スジ低減

コピーまたはスキャン時に自動両面原稿送り装置を使用して原稿を読み取る際のスジの低減レベルを設定します。コピーまたはスキャン時に微細なゴミによるスジが目立つ場合に使用します。

項目名	機能説明
コピー	• なし：コピー時に低減機能を使用しません。 • 低・中・高：コピー時に低減機能を使用します。この機能を強く効かせると、スジ以外の細い線なども薄くなることがあります。
スキャン	• なし：スキャン時に低減機能を使用しません。 • 低・中・高：スキャン時に低減機能を使用します。この機能を強く効かせると、スジ以外の細い線なども薄くなることがあります。

■ セルフチェック間隔

本機が画質維持のために実行するセルフチェックの間隔を設定します。

注 意

［長め］、［より長め］に設定すると、色ズレが発生する場合があります。色ズレが発生した場合は、位置合わせを実行してください。

P.65 「位置合わせ」

■ オプション

タブ紙へのホールパンチ処理を有効にするかを設定します。
タブ紙へのホールパンチ処理を有効にする場合は、［ON］を押し、［OK］を押します。
この機能は、以下の機種をお使いの場合で、ホールパンチユニットが装着されているときのみ有効です。
e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Series

ネットワーク設定

このメニューでは、ネットワークの各種設定を行います。

補 足

ネットワーク設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.51 「管理者設定メニューに入る」

- 📖 P.84 「TCP/IPの設定（IPv4）」
- 📖 P.86 「TCP/IPの設定（IPv6）」
- 📖 P.92 「IPX/SPXの設定」
- 📖 P.93 「NetWareの設定」
- 📖 P.94 「SMBの設定」
- 📖 P.95 「AppleTalkの設定」
- 📖 P.96 「HTTPの設定」
- 📖 P.97 「Ethernetの設定」
- 📖 P.98 「LDAP、フィルタリング機能、リンクダウン検出の設定」
- 📖 P.99 「IPセキュリティの設定」
- 📖 P.100 「ネットワーク状態確認」

注 意

- ネットワーク設定では、設定変更後に［更新］を押し、ネットワークカードの初期化を行います。［更新］を押すと、数秒後にタッチパネルに「ネットワーク準備中」と表示されますが、そのメッセージが表示されるまでの時間は設定によって異なります。設定が完了すると、「ネットワーク準備中」の表示が消えます。
- 「ネットワーク準備中」と表示されている間は、［ネットワーク設定］、［セキュリティ設定］、［無線LAN］、［802.1X設定］、［初期化］、［日時］および［クローニング］の各ボタンを押せません。これらのボタン操作は、「ネットワーク準備中」の表示が消えてから行ってください。

■ TCP/IPの設定（IPv4）

TCP/IPプロトコルの設定を行います。WebベースユーティリティのTopAccessやファイリングボックス、またはネットワーク印刷、ネットワークスキャン、インターネットファクスなど、本機のネットワーク機能を利用するにはTCP/IPプロトコルを設定する必要があります。

TCP/IPの設定では、アドレス設定方法の選択、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの割り付け（手動で割り付ける場合）を設定します。

ご利用のネットワークの環境によって、TCP/IPプロトコルの設定方法は異なります。

項目名	機能説明
アドレス設定方法	• **自動**（DHCPまたはAutoIPでTCP/IPを設定する場合）： 本機に割り付けるTCP/IP設定が分からない場合は「自動」を選択します。「自動」を選択すると、ネットワークがDHCPをサポートしている場合は、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、WINSプライマリ、WINSセカンダリ、POP3サーバーアドレス、およびSMTPサーバーアドレスを取得します。ネットワークがDHCPをサポートしていない場合は、AutoIP機能を使って適当なIPアドレスを本機に割り付けます。ただし、ネットワークの途中にルーターがある場合はAutoIP機能が動作しないことがあります。 • **自動IPなし**（DHCPのみを使用してTCP/IPを設定する場合）： DHCPサーバーがあるローカルエリアネットワークに接続し、AutoIP機能を使用せずDHCPのみを使用して本機のTCP/IPを設定したい場合は、「自動IPなし」を選択します。「自動IPなし」を選択すると、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、WINSプライマリ、WINSセカンダリ、POP3サーバーアドレス、およびSMTPサーバーアドレスを取得し、AutoIPによるIPアドレスの割り付けは無効にします。 • **マニュアル**（固定IPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合）： 各デバイスに固定のIPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合は「マニュアル」を選択し、IPアドレスを指定します。必要に応じてサブネットマスク、デフォルトゲートウェイも設定してください。
IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ	［IPアドレス］を押して、テンキーで本機のIPアドレスを入力します。 必要に応じて、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイも入力します。 入力欄の移動は矢印ボタンを使います。 **注 意** この項目は［アドレス設定方法］で［マニュアル］が選択されている場合のみ有効です。

■ TCP/IPの設定（IPv6）

IPv6の設定を行います。

IPv6の設定では、IPv6プロトコルの有効／無効、アドレス設定方法の選択をすることにより、IPv6アドレスなどを設定します。

アドレス設定方法の選択によって、IPv6アドレスの取得方法は異なります。

- **［手動］を選択した場合：**
  IPv6アドレス、プレフィックスおよびデフォルトゲートウェイを手動で設定します。登録できるIPv6アドレスは、1個です。
  📖 P.87 「手動でIPv6の設定を行う」
- **［ステートレス］を選択した場合：**
  DHCPv6サーバーおよびルーターからIPv6アドレスを自動で取得します。最大9個のIPv6アドレスを登録することができます。
  📖 P.88 「自動でIPv6の設定を行う（ステートレスのネットワーク環境）」

  補 足

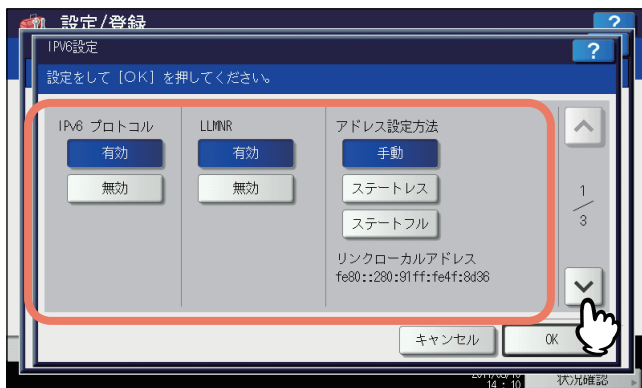
  ルーターからは最大7個のIPv6アドレスを取得できます。DHCPv6サーバーから取得できるIPv6アドレスは、1個です。また、1つのリンクローカルアドレスが、自動的に生成されます。

- **［ステートフル］を選択した場合：**
  DHCPv6サーバーからIPv6アドレスを自動で取得します。登録できるIPv6アドレスは、1個です。
  📖 P.90 「自動でIPv6の設定を行う（ステートフルのネットワーク環境）」

補 足

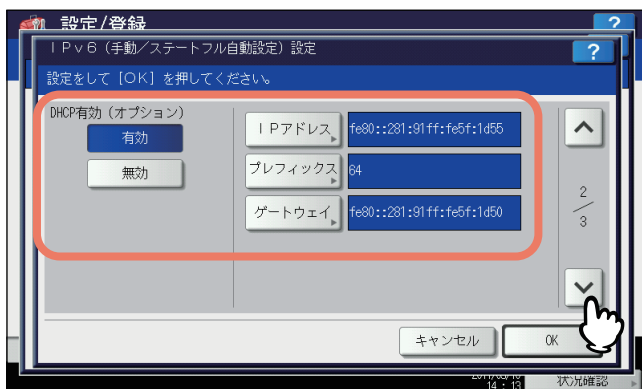
重複したIPv6アドレスがDAD（Duplicate Address Detection）機能により検知された場合は、タッチパネルに「IPv6アドレスが重複しています」と表示されます。

手動でIPv6の設定を行う

1 **IPv6設定画面で、下記項目を設定し、[∨] を押します。**

項目名	機能説明
IPv6プロトコル	• **有効**：IPv6プロトコルを使用します。 • **無効**：IPv6プロトコルを使用しません。
LLMNR	• **有効**：LLMNR（Linklocal Multicast Name Resolution）プロトコルを使用します。 • **無効**：LLMNRプロトコルを使用しません。
アドレス設定方法	IPv6アドレスの設定方法に［手動］を選択します。
リンクローカルアドレス	IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

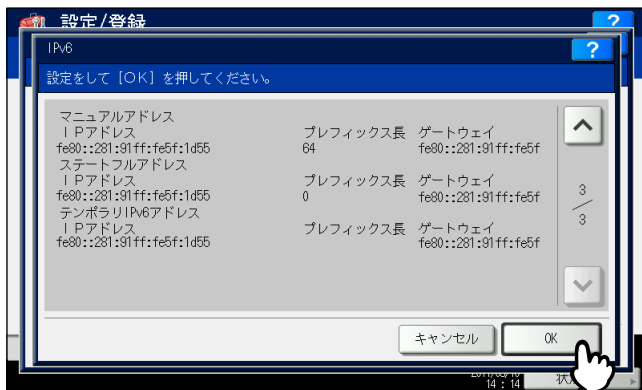
注 意

- リンクローカルアドレスは、ルーターを越えたネットワークには接続できません。
- 「LLMNR」の［有効］／［無効］は、「IPv6プロトコル」で［有効］を選択すると使用できます。

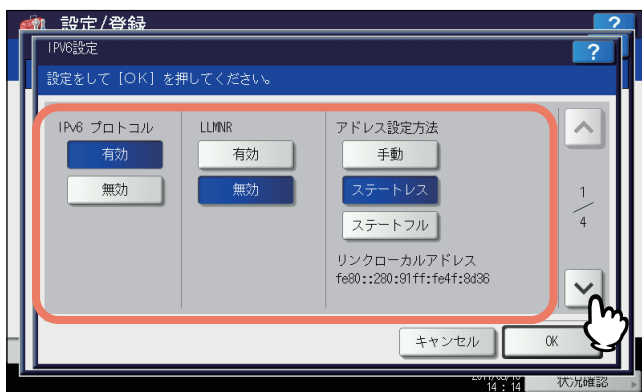
2 **下記項目を設定し、[∨] を押します。**

項目名	機能説明
DHCP有効（オプション）	DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報（DNSサーバーなどのIPv6アドレス）を使用するかどうかを選択します。 • **有効**：使用します。 • **無効**：使用しません。
IPアドレス	本機のIPv6アドレスを入力します。
プレフィックス	IPv6アドレスのプレフィックスを入力します。
ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

補 足

［IPアドレス］、［プレフィックス］および［ゲートウェイ］を押すと、文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160 「文字入力画面」

3 **設定内容を確認し、［OK］を押します。**

ネットワーク設定メニューに戻ります。

自動でIPv6の設定を行う（ステートレスのネットワーク環境）

1 **IPv6設定画面で、下記項目を設定し、**[v] **を押します。**

項目名	機能説明
IPv6プロトコル	• **有効**：IPv6プロトコルを使用します。 • **無効**：IPv6プロトコルを使用しません。
LLMNR	• **有効**：LLMNR（Linklocal Multicast Name Resolution）プロトコルを使用します。 • **無効**：LLMNRプロトコルを使用しません。
アドレス設定方法	IPv6アドレスの設定方法に［ステートレス］を選択します。
リンクローカルアドレス	IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

注 意

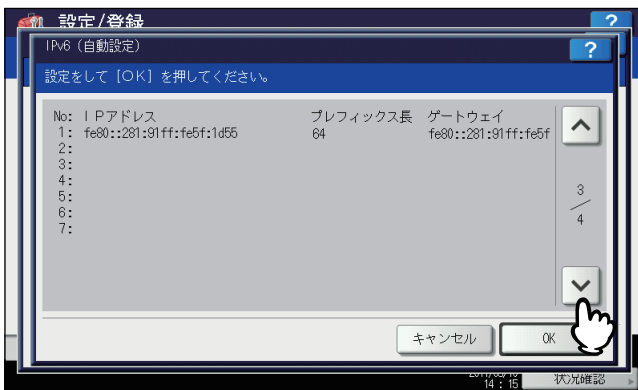
- リンクローカルアドレスは、ルーターを越えたネットワークには接続できません。
- 「LLMNR」の［有効］／［無効］は、「IPv6プロトコル」で［有効］を選択すると使用できます。

2 下記項目を設定し、[∨] を押します。

項目名	機能説明
DHCP使用（IPアドレス）	• **有効**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用します。 • **無効**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用しません。
DHCP使用（オプション）	• **有効**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報（DNSサーバーなどのIPv6アドレス）を使用します。 • **無効**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報を使用しません。
FQDNオプション	• **有効**：DNSを使用してFQDN（Fully Qualified Domain Name：完全修飾ドメイン名）を設定します。 • **無効**：DNSを使用してFQDNを設定しません。
FQDNアップデート方法	• **クライアント**：本機からDNSを更新します。 • **サーバ**：DHCPv6サーバーからDNSを更新します。

補 足

DHCP使用（IPアドレス）を有効にすると、DHCP使用（オプション）は自動的に有効に設定されます。

3 設定内容を確認し、[∨] を押します。

補 足

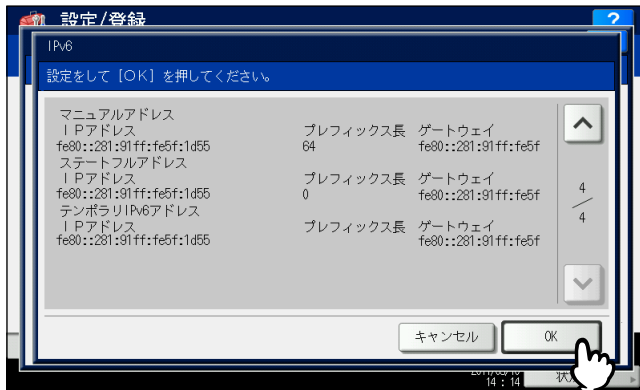
ルーターから取得したIPv6アドレスが表示されます。最大7個のIPv6アドレスを保持することができます。

注 意

本機がMフラグに「0」が設定されているRA（Router Advertisement）をルーターから受信した場合は、DHCPv6機能は動作しません。ルーターの設定でRAのMフラグの設定を 「1」に変更した場合は、DHCPv6機能を動作させるために操作パネルの［電源］ボタンを使って本機の電源を入れ直してください。

4 設定内容を確認し、［OK］を押します。

ネットワーク設定メニューに戻ります。

補 足

DHCPv6サーバーから取得したIPv6アドレスが表示されます。

自動でIPv6の設定を行う（ステートフルのネットワーク環境）

1 IPv6設定画面で、下記項目を設定し、▽ を押します。

項目名	機能説明
IPv6プロトコル	• **有効**：IPv6プロトコルを使用します。 • **無効**：IPv6プロトコルを使用しません。
LLMNR	• **有効**：LLMNR（Linklocal Multicast Name Resolution）プロトコルを使用します。 • **無効**：LLMNRプロトコルを使用しません。
アドレス設定方法	IPv6アドレスの設定方法に［ステートフル］を選択します。
リンクローカルアドレス	IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

注 意

- リンクローカルアドレスは、ルーターを越えたネットワークには接続できません。
- 「LLMNR」の［有効］／［無効］は、「IPv6プロトコル」で［有効］を選択すると使用できます。

2 下記項目を設定し、[⌄] を押します。

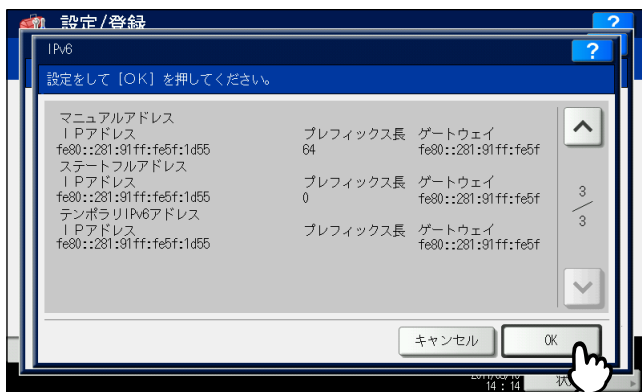
項目名	機能説明
DHCP使用（IPアドレス）	• **有効**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用します。 • **無効**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用しません。
DHCP使用（オプション）	• **有効**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報（DNSサーバーなどのIPv6アドレス）を使用します。 • **無効**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報を使用しません。
FQDNオプション	• **有効**：DNSを使用してFQDN（Fully Qualified Domain Name：完全修飾ドメイン名）を設定します。 • **無効**：DNSを使用してFQDNを設定しません。
FQDNアップデート方法	• **クライアント**：本機からDNSを更新します。 • **サーバ**：DHCPv6サーバーからDNSを更新します。

注 意

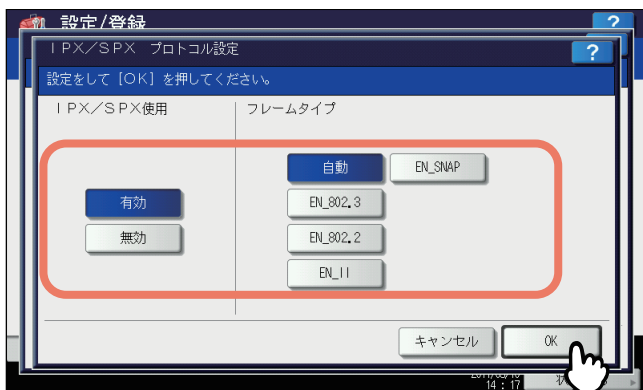
DHCP使用（IPアドレス）とDHCP使用（オプション）の両方を無効にすることはできません。

3 設定内容を確認し、［OK］を押します。

ネットワーク設定メニューに戻ります。

補 足

DHCPv6サーバーから取得したIPv6アドレスが表示されます。

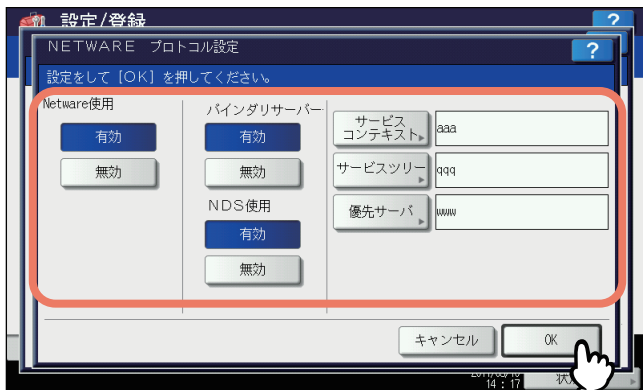
■ IPX/SPXの設定

IPX/SPXプロトコルを設定します。IPX/SPXプロトコルは、通常NetWareのファイルサーバーと通信を行う場合に設定します。

項目名	機能説明
IPX/SPX使用	• **有効**：IPX/SPXプロトコルを使用します。 • **無効**：IPX/SPXプロトコルを使用しません。
フレームタイプ	［自動］を押して、自動的に適切なフレームタイプを検出するか、特定のフレームタイプボタンを押します。使用するフレームタイプが分からない場合は、［自動］を選択します。

■ NetWareの設定

接続するNetWare構成を設定します。

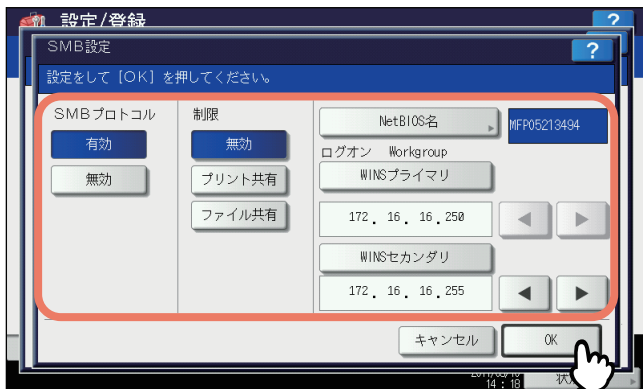
注 意

Novell印刷用のNetWareファイルサーバーを使用する場合は、必ず設定してください。

項目名	機能説明
Netware使用	• **有効**：NetWareプロトコルを使用します。 • **無効**：NetWareプロトコルを使用しません。
バインダリサーバー	• **有効**：NetWareファイルサーバーとバインダリモードの通信を可能にします。 • **無効**：NetWareファイルサーバーとバインダリモードの通信を使用しません。
NDS使用	• **有効**：NetWareファイルサーバーとNDSモードの通信を可能にします。 • **無効**：NetWareファイルサーバーとNDSモードの通信を使用しません。
サービスコンテキスト	NetWareプリントサーバーがあるNDSコンテキストを入力します。NDSモードでNetWareファイルサーバーに接続する場合は、必ず設定してください。
サービスツリー	NDSツリーを入力します。NDSモードでNetWareファイルサーバーに接続する場合は、必ず設定してください。
優先サーバ	NetWareファイルサーバー名を入力します。バインダリモードでNetWareファイルサーバーに接続する場合は、設定することをお勧めします。

補 足

- ［サービスコンテキスト］、［サービスツリー］および［優先サーバ］を押すと、文字入力画面が表示されます。文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  📖 P.160 「文字入力画面」
- バインダリモードとNDSモードは同時に有効にすることができます。

■ SMBの設定

SMBネットワークの各プロパティを設定し、Microsoft Windowsネットワークによる本機へのアクセスや、SMB印刷を有効にします。SMBを有効にすると、SMB印刷が利用可能になるほか、本機の共有フォルダを参照できるようになります。また、異なるサブネット間のファイル共有やプリンタ共有をWINSサーバーを使って解決している場合は、WINSサーバーアドレスを指定します。

項目名	機能説明
SMBプロトコル	• **有効**：SMBを使用します。 • **無効**：SMBを使用しません。 ［有効］を選択した場合は、［制限］で制限する機能を選択してください。
制限	プリンタ／ファイル共有を制限するかを設定します。下記項目のいずれか1つを選択できます。 • **無効**：プリンタ／ファイル共有を制限しません。SMB印刷と本機の共有フォルダの参照が有効になります。 • **プリント共有**：SMB印刷を無効にします。 • **ファイル共有**：本機の共有フォルダの参照を無効にします。（ハードディスクが装着されていない機体では選択できません。）
NetBIOS名	Windowsネットワーク上で表示される本機の名称を入力します。工場出荷時には、「MFP<NICシリアル番号>」がNetBIOS名として設定されています。
ログオン	本機が参加しているWindowsネットワーク環境を表示します。本機がワークグループネットワークに参加している場合は、"workgroup"を表示し、Windowsドメインネットワーク（NTドメイン、またはActive Directoryドメイン）に参加している場合は、"domain"を表示します。"workgroup"または"domain"の設定はTopAccessからのみ変更できます。変更方法の詳細は、**TopAccessガイド 第8章「［管理者］タブ」**を参照してください。
WINSプライマリ	このボタンを押して、テンキーからプライマリWINSサーバーのIPアドレスを入力します。WINS サーバーを使用して本機のNetBIOS 名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、プライマリWINSサーバーのIPアドレスを指定してください。異なるサブネットからNetBIOS経由でアクセスしたい場合に設定します。 入力欄の移動は矢印ボタンを使います。
WINSセカンダリ	このボタンを押して、テンキーからセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを入力します。WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、必要に応じてセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを指定してください。プライマリWINSサーバーが使用できない場合に、セカンダリWINSサーバーが使用されます。 入力欄の移動は矢印ボタンを使います。

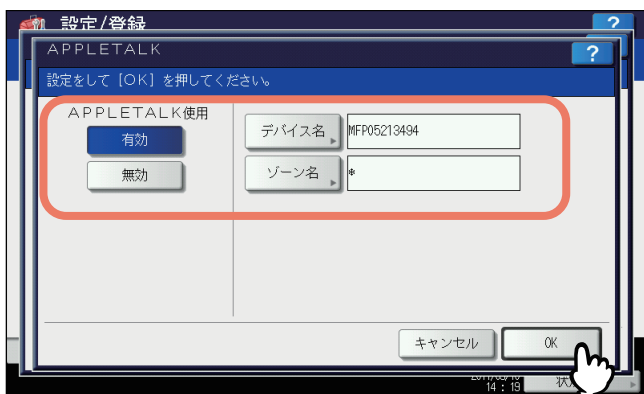
補 足

［NetBIOS名］を押すと、文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.160 「文字入力画面」

注 意

- 「SMBプロトコル」で［無効］、または［制限］で［ファイル共有］を選択した場合は、本機共有フォルダへの保管機能は無効になります。
- TopAccess（管理者モード）のSMBの設定で、「domain」を選択し、本機のSMBの設定の「ログオン」が「workgroup」の場合は、Windowsドメインネットワークへの参加が失敗しています。この場合は、Windows Serverの設定、およびTopAccessのSMBの設定が間違っていないかを確認してください。
- TopAccess（管理者モード）のSMBの設定で、「domain」を選択し、本機の電源投入後、または本機のネットワーク設定を変更し、［更新］を押した場合に、Windowsドメインネットワークへの参加を行います。
- 「NetBIOS名」には、半角英数字および「-」（ハイフン）以外の文字は使用しないでください。
- 「WINSプライマリ」および「WINSセカンダリ」には、0で始まるIPアドレス（例：0.10.10.10）、127で始まるIPアドレス（例：127.10.10.10）および224で始まるIPアドレス（例：224.10.10.10）は入力しないでください。入力した場合、WINSサーバーを参照することはできなくなります。
- 「WINSプライマリ」「WINSセカンダリ」に「0.0.0.0」を入力した場合は、WINSサーバーを使用しません。
- TCP/IPの「アドレス設定方法」で［自動］または［自動IPなし］が設定されている場合、「WINSプライマリ」および「WINSセカンダリ」の設定をDHCPサーバーから取得することができます。

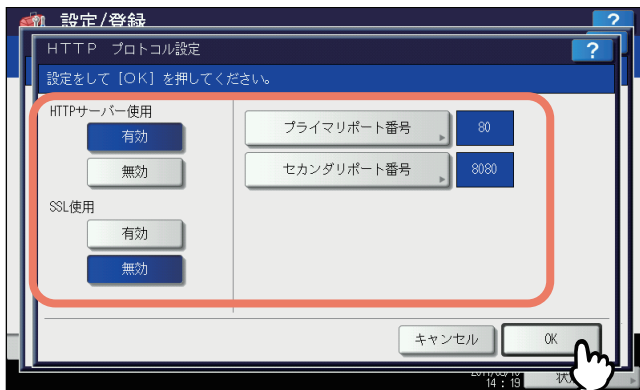
■ AppleTalkの設定

AppleTalkプロトコルは、Macintoshコンピュータからapple Talk印刷を利用する場合には、必ず有効にし、適切な設定を行ってください。

項目名	機能説明
APPLETALK使用	• **有効**：AppleTalkを使用します。 • **無効**：AppleTalkを使用しません。
デバイス名	本機のデバイス名を入力します。
ゾーン名	AppleTalkゾーン名を入力します。ゾーン名がないネットワークに設定する場合は、デフォルトゾーン「*」を入力します。

補 足

［デバイス名］および［ゾーン名］を押すと、文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160 「文字入力画面」

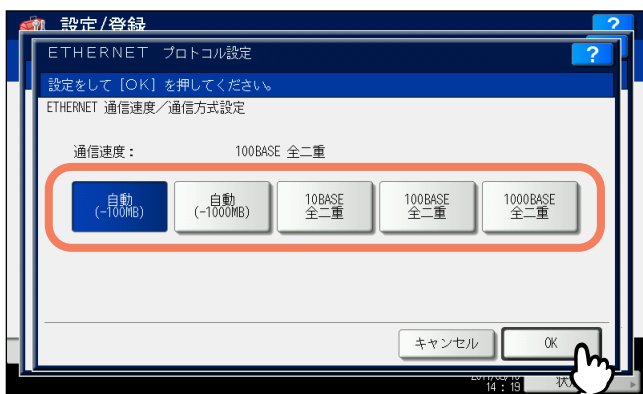
■ HTTPの設定

TopAccessやファイリングボックスなどWebベースのユーティリティを利用する場合には、HTTPネットワークサーバーサービスを有効にします。

項目名	機能説明
HTTPサーバー使用	• **有効**：HTTPネットワークサーバーサービスを使用します。 • **無効**：HTTPネットワークサーバーサービスを使用しません。 WebユーティリティのTopAccess、ファイリングボックスを使用する場合は、有効にしてください。
SSL使用	SSL（Secure Sockets Layer）を使用するかを選択します。 • **有効**：TopAccessやファイリングボックス Webユーティリティの操作により通信されるデータは暗号化されます。 • **無効**：暗号化されません。
プライマリポート番号	HTTPアクセスするときに使用するポート番号を入力します。通常「80」を使用します。
セカンダリポート番号	WebユーティリティのTopAccessとファイリングボックスにアクセスするときのポート番号を入力します。通常「8080」を使用します。

補 足

［プライマリポート番号］および［セカンダリポート番号］を押すと、番号入力画面が表示されます。
番号入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.161 「番号入力画面」

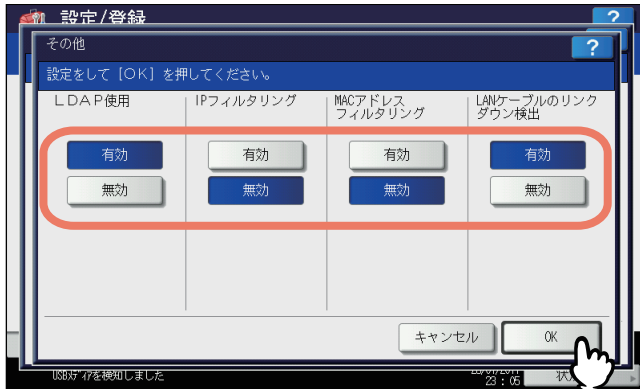
■ Ethernetの設定

Ethernetの速度を設定します。

項目名	機能説明
ETHERNET 通信速度／通信方式設定	通信速度および通信方式の組み合わせを選択します。

注 意

- 選択肢はお使いの機種によって異なります。
- 選択肢に［自動］がある機種と、［自動（-100MB）］と［自動（-1000MB）］がある機種があります。接続しているネットワークの速度が分からない場合には、特定の速度の代わりに、［自動］、または［自動（-100MB）］か［自動（-1000MB）］のどちらかのボタンをお使いの機種によって選択してください。
- 以下の機種では、［自動（-1000MB）］または［1000BASE 全二重］または［1000BASE］に設定した場合には、節電モードの設定画面で、［スーパースリープ］を［有効］にしても、スーパースリープモードには移行しません。
  - e-STUDIO456 Series
  - e-STUDIO856 Series
  - Loops LP30
- 現在本機に適用されている通信速度は、ボタン上部に表示されています。リンクが検知できなかった場合には、「リンクを検出できませんでした」と表示されます。
- 設定を行ってもネットワークの接続が不安定な場合は、一度電源をオフ／オンしてください。

■ LDAP、フィルタリング機能、リンクダウン検出の設定

LDAPディレクトリサービスを有効にすると、Eメール送信やインターネットファクス送信、ファクス送信時にLDAPサーバーから相手先を検索することができます。また、TopAccessでテンプレートを作成する際や、アドレス帳登録を行う際に、LDAPサーバーから相手先を検索することもできます。
また、このメニューでは、IPフィルタリング機能、MACアドレスフィルタリング機能およびLANケーブルのリンクダウン検出機能を使用するかを選択することができます。

項目名	機能説明
LDAP使用	• **有効**：LDAPネットワークサーバーサービスを使用します。 • **無効**：LDAPネットワークサーバーサービスを使用しません。
IPフィルタリング	• **有効**：IPフィルタリング機能を使用します。 • **無効**：IPフィルタリング機能を使用しません。
MACアドレスフィルタリング	• **有効**：MACアドレスフィルタリング機能を使用します。 • **無効**：MACアドレスフィルタリング機能を使用しません。
LANケーブルのリンクダウン検出	• **有効**：LANケーブルのリンクダウン検出機能を使用します。 • **無効**：LANケーブルのリンクダウン検出機能を使用しません。

補 足

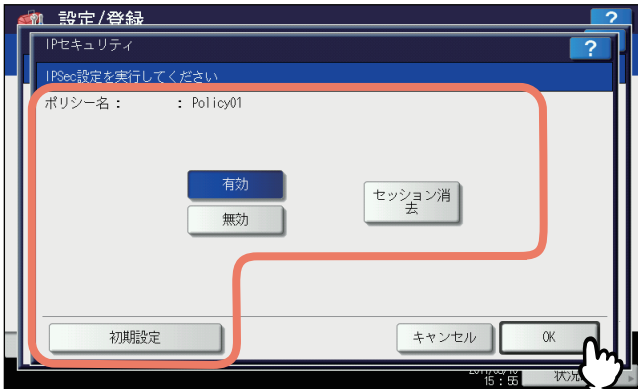
LDAPディレクトリサービスの追加は、TopAccessを使用して操作します。ディレクトリサービスの登録の詳細については、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。

注 意

- LDAPディレクトリサービスが無効になっていると、Eメール送信時のユーザ認証時に送信者アドレスをLDAPサーバーから取得できなくなります。
- 本機をネットワークに接続しないで使用する場合は、LAN ケーブルのリンクダウン検出機能を無効にしてください。

■ IPセキュリティの設定

IPsecオプションが導入されている場合、IPsec（IP Security Protocol）による暗号化通信が可能となります。
IPセキュリティの設定では、以下の操作を行えます。

- 現在適用されているポリシー名の確認
- IPsec通信の有効／無効の切り替え
- IPsecセッションのフラッシュ（リセット）

項目名	機能説明
ポリシー名	現在適用されているポリシー名が表示されます。
有効	IPsec通信を使用します。
無効	IPsec通信を使用しません。
セッション消去	IPsec通信に使用するキーの漏えいや、セキュリティの侵害が発生した場合に、このボタンを使用して、現在のセッションを手動で消去し、新しいセッションを開始させることができます。
初期設定	IPsecの設定を工場出荷時の状態に戻します。このボタンを押すと、操作の実行を確認するメッセージが表示されます。

補 足

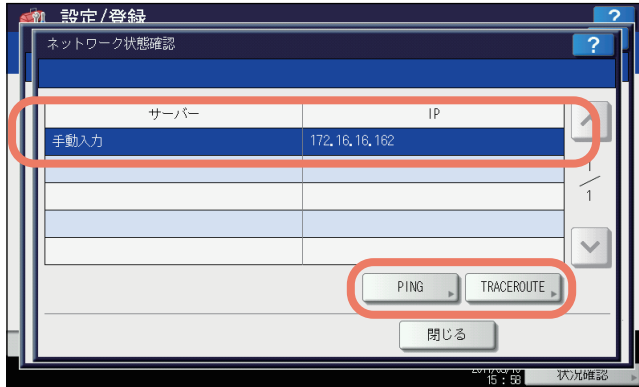
IPsecに必要なポリシーの登録などは、TopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「[管理者］タブ」**を参照してください。

注 意

［IPsec］は、IPsecオプションが導入されている場合のみ使用できます。

■ ネットワーク状態確認

ネットワーク状態確認では、Ping機能とTraceroute機能を使用できます。
Ping機能では、本機からネットワーク上の各種サーバーへの接続状態を確認することができます。また、Traceroute機能では、目的のサーバーまでのネットワーク経路を表示できます。

1 ネットワーク状態確認画面で、目的のサーバーを選択し、［PING］または［TRACEROUTE］を押します。

実行結果が表示されます。

補 足

目的のサーバーを選択する方法は、2つあります。
設定されている各種サーバーを表示一覧から選択する場合：
表示できるサーバーおよび対応プロトコルは、以下のとおりです。

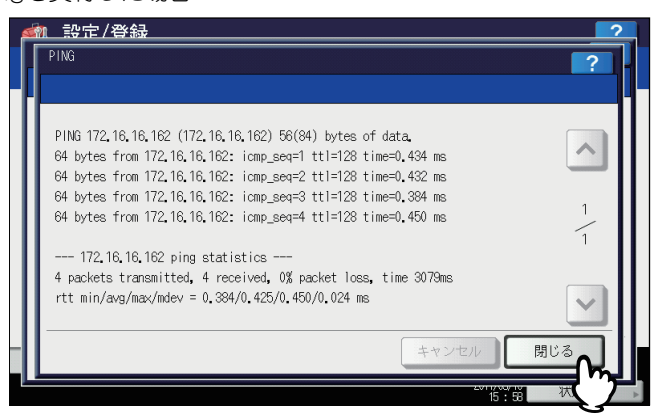
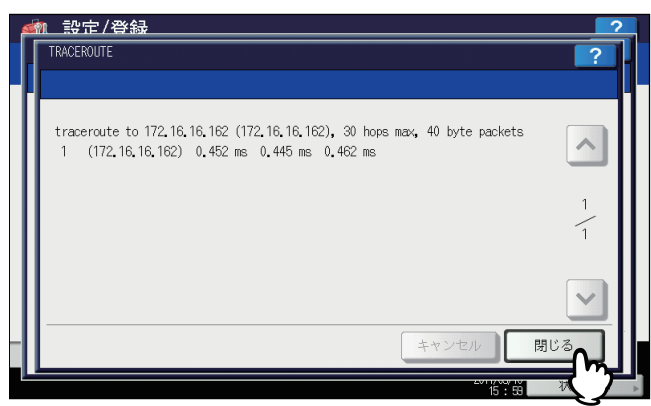
- プライマリDNSサーバー（IPv4/IPv6）
- セカンダリDNSサーバー（IPv4/IPv6）
- プライマリWINSサーバー（IPv4）
- セカンダリWINSサーバー（IPv4）
- SMTPサーバー（IPv4/IPv6）
- POP3サーバー（IPv4/IPv6）
- プライマリSNTPサーバー（IPv4/IPv6）
- セカンダリSNTPサーバー（IPv4/IPv6）
- LDAPサーバー 1
- LDAPサーバー 2
- LDAPサーバー 3
- LDAPサーバー 4
- LDAPサーバー 5
- リモートサーバー 1
- リモートサーバー 2

手動で目的のサーバーを指定する場合：
サーバー名または、IPv4アドレス、IPv6アドレスを手入力します。手動入力欄を押すと、タッチパネルに文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160 「文字入力画面」

注 意

TopAccessの「共有フォルダに保管」でリモートサーバー 1／リモートサーバー 2のネットワークパスにWINS名を入力した場合は、表示一覧からそれらのサーバーを選択してネットワーク状態確認操作を実行することはできません。この場合には、リモートサーバー 1／リモートサーバー 2のIPアドレスを手動で入力し、実行してください。

2 **実行結果を確認します。確認が終わったら［閉じる］を押します。**

Pingを実行した場合

Tracerouteを実行した場合

注 意

サーバーに到達可能なときは、実行結果のサーバーはIPアドレスで表示されますが、何らかの理由でサーバーに到達できない場合は、実行結果はホスト名で表示されます。

ネットワーク状態確認画面に戻ります。

コピー設定

最大コピー部数、自動両面モード、優先ソートモードなどのコピー操作に関する初期設定を変更します。

補 足

コピー設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.51 「管理者設定メニューに入る」

設定画面は複数のページで構成されています。[^] または [v] を押すとページが切り替わります。

コピー設定画面（1/3）

項目名	機能説明
最大コピー部数	許可する最大コピー部数［9999］*1、［999］、［99］、［9］のボタンを押します。
自動両面	自動両面原稿送り装置に原稿をセットしたときに初期値として適用される両面コピー設定を選択します。（この設定は、自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。） • **不可**：両面コピー設定を［片面→片面］に設定します。 • **片面→両面**：両面コピー設定を［片面→両面］に設定します。 • **両面→両面**：両面コピー設定を［両面→両面］に設定します。 • **ユーザ**：自動両面原稿送り装置に原稿をセットしたときに、両面コピー設定の選択画面が自動的に表示されます。
ソートモード	初期設定のソートモードを設定します。ステイプルを選択時は左上へのステイプルが初期値になります。ステイプルはフィニッシャが必要です。

＊1　お使いの機種によっては選択できません。

コピー設定画面（2/3）

項目名	機能説明
オートカセットチェンジ	コピー操作を行う際に給紙元のカセットを手動で指定した場合にも、オートカセットチェンジ機能を有効にするか設定します。 ［ON］を選択すると、コピー中に用紙がなくなった場合に、別のカセットからサイズが同一の用紙を給紙します。 注 意 「特定用途」を「無し」以外に設定したカセットの用紙は、オートカセットチェンジの対象になりません。 カセットの「特定用途」を確認または設定するときは、以下のページを参照してください。 📖 P.19 「カセット」
異方向用紙の許可＊	［ON］を選択すると、コピー中に用紙がなくなった場合に、別のカセットから向きの異なる同一サイズの用紙を給紙します。
ステイプル針無し時の印刷中断	サドルステッチ以外のステイプル処理を行っている際にステイプル針切れを起こした場合、印刷を中断するかを選択します。 • **ON**：印刷を中断します。 • **OFF**：ステイプルせずに印刷を続行します。 注 意 サドルステッチの場合、ステイプル針切れを起こすと印刷は中断されます。
オートカラーの初期値	カラー機の設定項目です。オートカラーコピー時の初期値モードを設定します。

＊　コピー中に用紙がなくなった場合の給紙動作は、以下のとおりです。
A4サイズの用紙にコピー中にオートカセットチェンジする場合の例です。

設定項目		給紙動作	
オートカセットチェンジ	異方向用紙の許可	［自動用紙選択］指定時	給紙元カセット指定時
ON	ON	A4およびA4-Rの用紙を給紙	A4およびA4-Rの用紙を給紙
ON	OFF	A4の用紙を給紙	A4の用紙を給紙
OFF	ON	－	－
OFF	OFF	－	－

コピー設定画面（3/3）

項目名	機能説明
排紙トレイ自動切替（カスケード印刷）	• **ON**：排紙トレイがいっぱいになった場合に排紙トレイを自動的に切り替えて印刷を継続します。 • **OFF**：排紙トレイがいっぱいになった場合に印刷を中断します。
ジョブ強制続行（パンチ屑フル）	• **ON**：ホールパンチユニットのパンチ屑がフルになった場合でもホールパンチ処理を行わずに印刷を継続します。 • **OFF**：ホールパンチユニットのパンチ屑がフルになった場合、印刷を中断します。
原稿外消去	• **ON**：原稿外消去機能を使用します。 • **OFF**：原稿外消去機能を使用しません。

ファクス設定

FAXユニットや回線増設ユニットが装着されていない場合は、［記録モード］の「切り捨て印刷」および「縮小印刷」の設定のみ行えます。その他のファクス設定のメニューについては、**FAXユニット取扱説明書 第6章「各種設定のしかた」**を参照してください。

補 足

- FAXユニットが装着されていない場合には、このメニューで設定する項目は、インターネットファクスによる原稿受信に適用されます。
- お使いの機種によっては、［ファクス設定］はスキャナキットまたはプリンタ／スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。
- ファクス設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
  P.51 「管理者設定メニューに入る」

■ 記録モードの切り捨て印刷と縮小印刷の設定

インターネットファクスにより受信した原稿の印刷設定を行います。
印刷には、切り捨て印刷と縮小印刷の2つの設定があります。

切り捨て印刷: ON、OFF

- ON: 原稿が印刷範囲を超えた場合、超えた長さが10mm以下であれば用紙印刷範囲を超える印刷範囲は切り捨てられます。
- OFF: 受信原稿の長さが用紙印刷範囲を超える場合は、2枚の用紙に分割して印刷されます。
  *切り捨て印刷の詳細設定については、サービスエンジニアにお尋ねください。

縮小印刷：ON、OFF

- ON: 受信原稿が記録紙より長い場合は、記録紙に収まるように縦方向に90%縮小し、記録紙に収まるよう印刷します。
- OFF: 受信原稿が記録紙の印刷範囲より長い場合は、2枚の用紙に分割して印刷されます。

1 **ファクス設定画面で、［記録モード］を押します。**

記録モード画面が表示されます。

2 「切り捨て印刷」の［ON］または［OFF］、「縮小印刷」の［ON］または［OFF］を押し、［OK］を押します。

登録した項目は、システム設定リストで確認することができます。

P.169「システム設定リスト（管理者）」

ファイル設定

本機の共有フォルダに保存されたファイルを何日保持するかを設定します。本機のハードディスク空き容量を確保するため、定期的に保存ファイルを削除したい場合に設定します。

注 意

このメニューはハードディスクが装着されていない機体では表示されません。

補 足

メンテナンス画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.51 「管理者設定メニューに入る」

1 メンテナンス画面で、保存ファイルの自動削除を有効にします。

1)［ON］を押します。
2) 保存したファイルを自動的に削除するまでの日数をテンキーから入力します。
1から99日まで入力することができます。操作パネルの［クリア］ボタンを押すと、入力した値を消して入力し直すことができます。
3)［OK］を押し、設定を保存します。

補 足

［OFF］を選択した場合は、そのまま［OK］を押し、ファイル設定を終了してください。

Eメール設定

このメニューでは、以下の項目を設定します。

補 足

お使いの機種によっては、[Eメール設定]はスキャナキットまたはプリンタ/スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。

- **Eメールメッセージのプロパティ**
  Eメール送信操作によって送信されるEメールメッセージの詳細を設定します。
  以下の設定を行うことができます。
  - 送信者アドレス
  - 送信者名
  - 件名
  - 本文
- **Eメールの分割送信サイズ**
  指定した分割サイズでEメール送信ジョブを分割して送信できます。ネットワークの通信量による通信エラーを少なくすることができます。
- **Eメールの本文送信**
  Eメールを送信する際に、メッセージ本文を送信するかどうかを設定します。

補 足

Eメール設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.51「管理者設定メニューに入る」

項目名	機能説明
送信者アドレス	本機のEメールアドレスを入力します。
送信者名	本機の名称を入力します。
件名	Eメール送信時に初期値として適用する件名を設定します。このボタンを押すと、件名画面が表示されます。 件名画面での操作については、「件名画面での操作」を参照してください。
/	:Eメールの件名に日付や時刻を付加します。 :Eメールの件名に日付や時刻を付加しません。
/	:Eメールの件名を編集可能にします。 :Eメールの件名を編集できなくします。
本文	Eメール送信時に初期値として適用する本文メッセージを入力します。
分割送信サイズ	プルダウンメニューを押して、目的の分割送信サイズを選択します。分割しない場合は、[分割無]を選択してください。
本文送信	• **有効**:本文を送信します。 • **無効**:本文を送信しません。

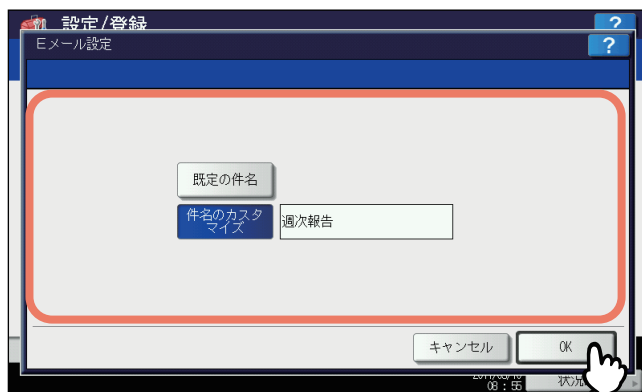
注 意

Eメール送信を有効にするには「送信者アドレス」を必ず設定してください。

補 足

［送信者アドレス］、［送信者名］、［本文］の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160 「文字入力画面」

件名画面での操作

Eメールの件名を工場出荷時の設定にするか任意の件名を設定するか選択し、［OK］を押します。
［OK］を押すと、Eメール設定画面に戻ります。

項目名	機能説明
既定の件名	Eメールの件名を工場出荷時の設定にします。
件名のカスタマイズ	任意の件名を設定します。このボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。件名を入力したら、［OK］を押して入力を確定してください。入力可能文字数は、半角/全角とも128文字です。数字の入力は、テンキーからも行えます。

インターネットファクス設定

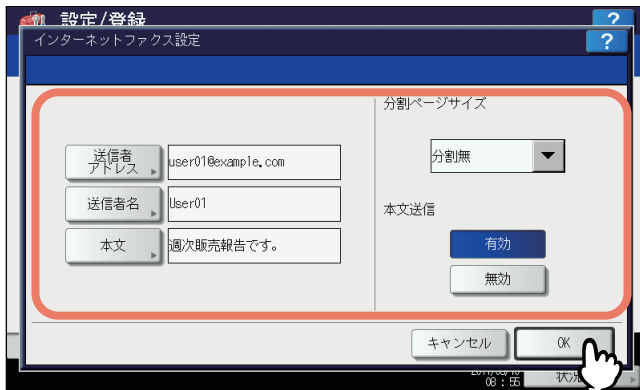
このメニューでは、以下の項目を設定します。

補 足

お使いの機種によっては、[インターネットファクス設定]はスキャナキットまたはプリンタ／スキャナキットが装着されている場合にのみ有効です。

- **インターネットファクスのプロパティ**
  インターネットファクスによって送信されるメッセージの詳細を設定します。
  以下の設定を行うことができます。
  - 送信者アドレス
  - 送信者名
  - 本文
- **インターネットファクスの分割ページサイズ**
  指定した分割ページサイズでインターネットファクスを分割して送信できます。ネットワークの通信量による通信エラーを少なくすることができます。
- **インターネットファクスの本文送信**
  インターネットファクスを送信する際に、メッセージ本文を送信するかどうかを設定します。

補 足

インターネットファクス設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.51「管理者設定メニューに入る」

項目名	機能説明
送信者アドレス	本機のEメールアドレスを入力します。
送信者名	本機の名称を入力します。
本文	本文メッセージを入力します。 注 意 日本向け東芝複合機を使用する場合、インターネットファクスの送信および受信時に本文は印刷されません。
分割ページサイズ	プルダウンメニューを押して、目的の分割ページサイズを選択します。分割しない場合は、[分割無]を選択してください。
本文送信	• **有効**：本文を送信します。 • **無効**：本文を送信しません。

注 意

インターネットファクス送信を有効にするには「送信者アドレス」を必ず設定してください。

補 足

[送信者アドレス]、[送信者名]、[本文]の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.160「文字入力画面」

セキュリティ設定

このメニューでは、以下の操作を行います。

- 📖 P.110 「証明書管理」
- 📖 P.116 「セキュアPDF」
- 📖 P.118 「インテグリティチェック」

補 足

セキュリティ画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.51 「管理者設定メニューに入る」

■ 証明書管理

デバイス証明書やCA証明書のインポートや、デバイス証明書のエクスポートを行います。
📖 P.110 「証明書をインポートする」
📖 P.113 「デバイス証明書をエクスポートする」

補 足

本機に証明書をインポートする場合は、インポートしたい証明書をあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。

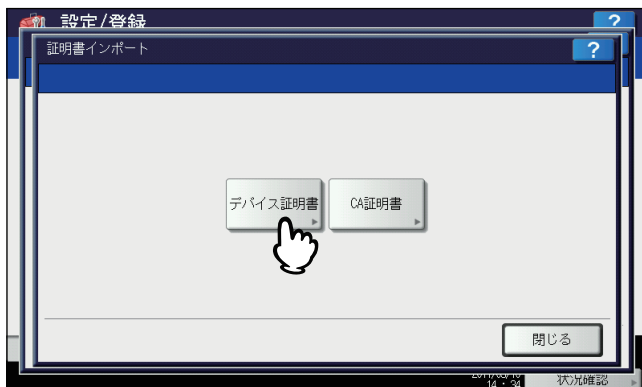
証明書をインポートする

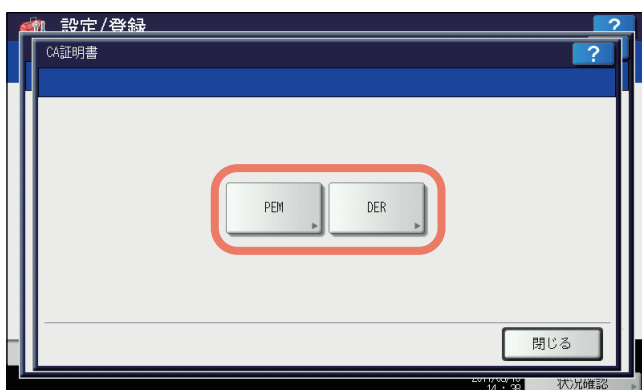
1 セキュリティ画面で、[証明書管理]を押します。

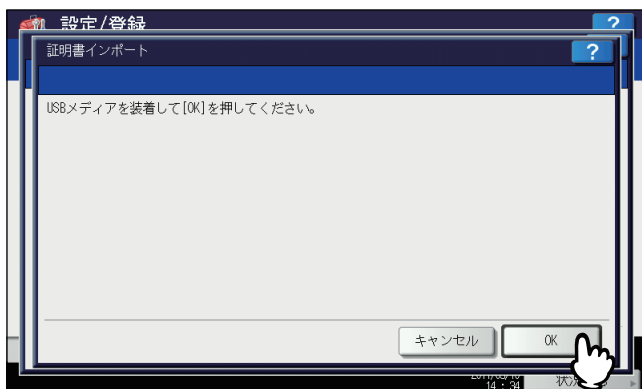
証明書管理画面が表示されます。

2 [インポート]を押します。

証明書インポート画面が表示されます。

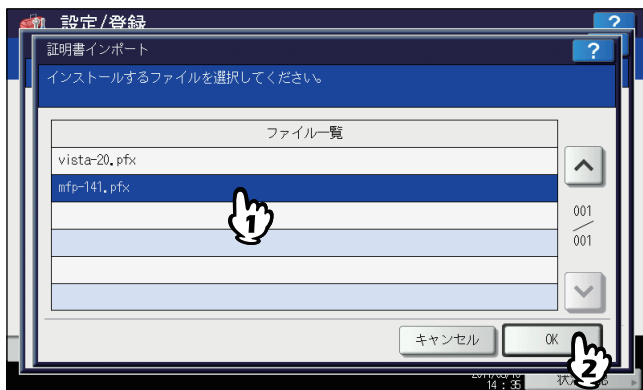
3 ［デバイス証明書］または［CA証明書］を押します。

USBメディアの装着を促すメッセージが表示されます。

［CA証明書］を選択すると、CA証明書画面表示されます。

［PEM］または［DER］からエンコード方式を指定します。

4 証明書を保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、［OK］を押します。

ファイルを選択する画面が表示されます。

補 足

USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

5 インポートしたい証明書を選択し、[OK]を押します。

- 証明書が「.pfx」または「.p12」ファイルの場合は、パスワード入力画面が表示されます。
  次の手順に進んでください。
- 証明書が上記以外のファイルの場合は、インポートが開始されます。
  手順9に進んでください。

注 意

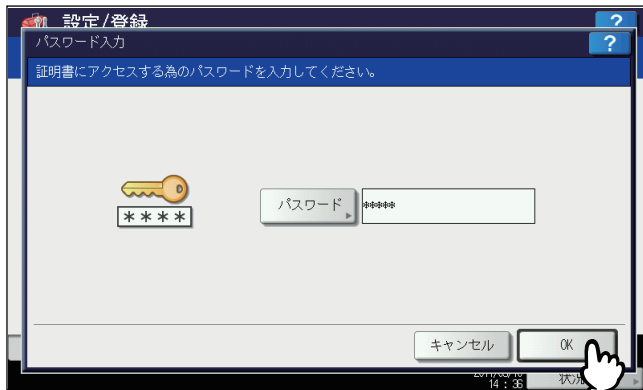
データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

6 [パスワード]を押します。

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160「文字入力画面」

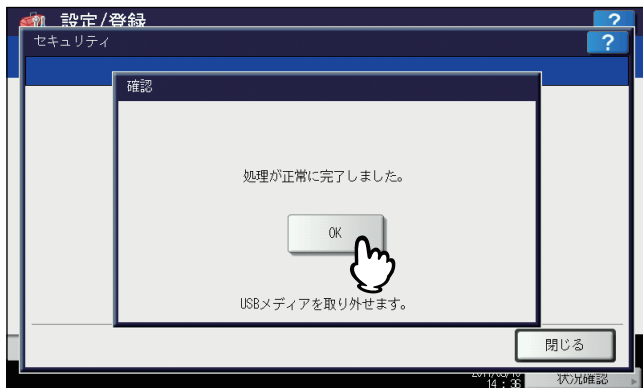
7 パスワードを入力し[OK]を押します。

- 入力したパスワードは、＊（アスタリスク）で表示されます。
- パスワード入力画面に戻ります。

8 **［OK］を押します。**

インポートが開始されます。

注 意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

9 **インポートが終了したら、［OK］を押します。**

セキュリティ画面に戻ります。

10 **USBメディアを取り外します。**

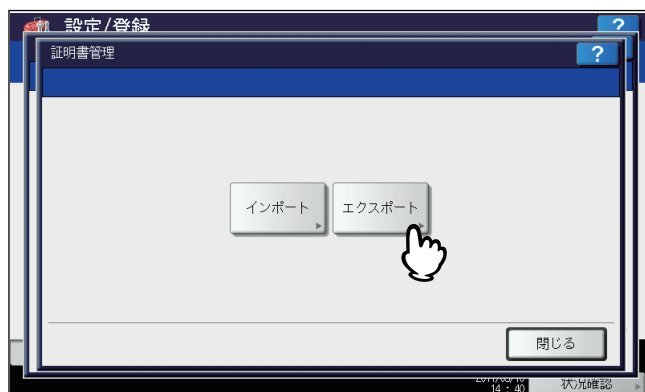
デバイス証明書をエクスポートする

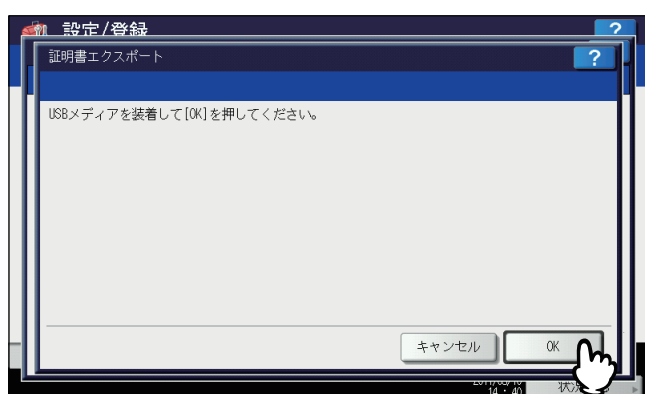
補 足

エクスポートされるファイル形式は、PEM（「.crtファイル」）です。

1 **セキュリティ画面で、［証明書管理］を押します。**

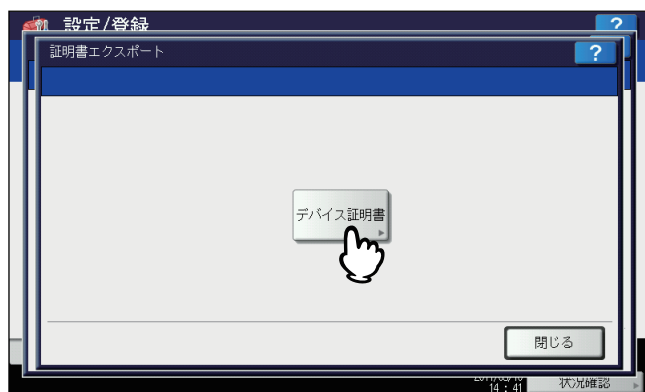
証明書管理画面が表示されます。

2 ［エクスポート］を押します。

USBメディアの装着を促すメッセージが表示されます。

3 **USBメディアを本機のUSBポートに接続し、［OK］を押します。**

証明書エクスポート画面が表示されます。

補 足

USBポートの位置については、**かんたん操作ガイド 第1章「使用前の準備」**を参照してください。

4 ［デバイス証明書］を押します。

エクスポートが開始されます。

注 意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

5 **エクスポートが終了したら、[OK] を押します。**

セキュリティ画面に戻ります。

6 **USBメディアを取り外します。**

■ セキュアPDF

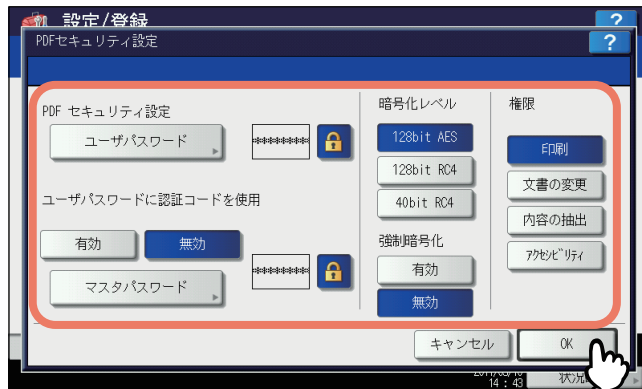
本機でスキャンしたデータを暗号化PDFとして生成する際に適用する、暗号化設定の初期値を設定します。また、暗号化PDF強制モードの有効／無効を切り替えます。

補 足

本セキュリティ設定は、共有フォルダ／USBに保管操作およびEメール送信操作に適用されます。

1 セキュリティ画面で、［セキュアPDF］を押します。

PDFセキュリティ設定画面が表示されます。

2 暗号化PDFを生成する際に適用する初期値を設定し、［OK］を押します。

項目名	機能説明
ユーザパスワード	暗号化PDFを開くために必要なパスワードを入力します。工場出荷時の状態では、ユーザパスワードは設定されていません。
ユーザパスワードに認証コードを使用	• **有効**：ユーザ認証のユーザ名をユーザパスワードに使用します。 • **無効**：ユーザ認証のユーザ名を使用せず、ここで設定するユーザパスワードを使用します。
マスタパスワード	PDFの暗号化設定を変更するために必要なパスワードを入力します。工場出荷時の状態では、マスタパスワードは設定されていません。
暗号化レベル	生成するPDFの暗号化レベルを選択します。 • **128bit AES**：Acrobat 7.0、PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。 • **128bit RC4**：Acrobat 5.0、PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。 • **40bit RC4**：Acrobat 3.0、PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。
強制暗号化	• **有効**：本機でスキャンしたデータを出力する際に、強制的に暗号化PDFのみを許可します。 • **無効**：他のファイル形式（JPEGやTIFFなど）を許可します。
権限	暗号化PDFに対する権限を選択します。 • **印刷**：印刷を許可します。 • **文書の変更**：文書の変更を許可します。 • **内容の抽出**：内容のコピーと抽出を許可します。 • **アクセシビリティ**：アクセシビリティを有効にします。

補 足

［ユーザパスワード］および［マスタパスワード］を押すと、文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 P.160 「文字入力画面」

注 意

- ユーザパスワードとマスタパスワードに同じパスワードを設定することはできません。
- ユーザパスワード、マスタパスワードともに1文字以上32文字以下で設定してください。入力したパスワードは、「＊」で表示されます。
- ユーザパスワードの表示欄横の鍵アイコンが反転表示され有効な場合（　）は、ユーザはパスワードを変更することはできません。
- マスタパスワードの表示欄横の鍵アイコンが反転表示され有効な場合（　）は、ユーザは暗号化レベルおよび権限を変更することはできません。
- 本機は、暗号化PDFのパスワードとしてASCII文字のみサポートしています。そのため、ユーザ名にASCII文字以外の文字を使用している場合、「ユーザパスワードに認証コードを使用」を有効に設定すると、不正なパスワードとなり、PDFを開けなくなります。
- ［40bitRC4］を選択した状態で、［内容の抽出］または［アクセシビリティ］の一方を選択しても、両方の設定が有効になり、また一方を取り消しても両方が無効になります。
- 強制暗号化モードを有効に設定すると、暗号化PDF以外のファイル形式（JPEGやTIFFなど）を本機から出力することは禁止されます。また、暗号化PDFを生成できない以下の共有フォルダに保管機能は、使用できなくなります。

  コピー＆ファイル　　　　ファクス＆ファイル
  インターネットファクス＆ファイル　　　　ネットワークファクス＆ファイル

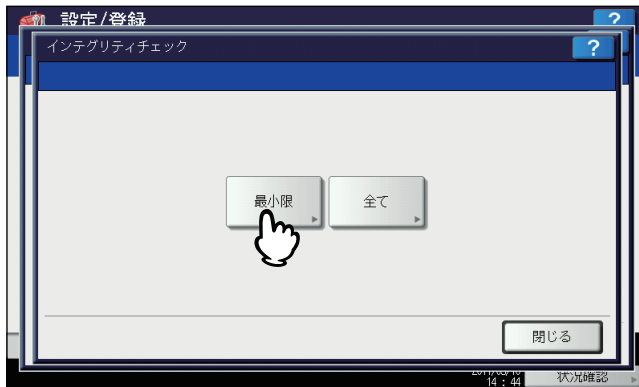
■ インテグリティチェック

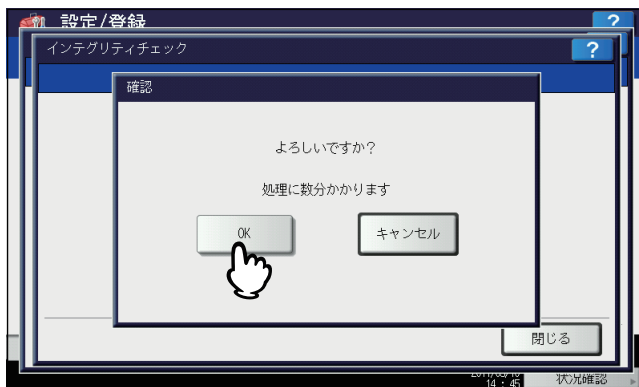
このメニューでは、以下のインテグリティチェックを行います。

- ［最小限］
  セキュリティ機能を実行する実行コード、およびセキュリティ実行コードが参照するデータをチェックします。
- ［全て］
  すべての実行コード、およびセキュリティ実行コードが参照するデータをチェックします。

1 セキュリティ画面で、［インテグリティチェック］を押します。

インテグリティチェック画面が表示されます。

2 ［最小限］または［全て］を押します。

チェック実行の確認画面が表示されます。

3 ［OK］を押します。

チェックが行われ、完了画面が表示されます。

注 意

- インテグリティチェックが完了するまでに時間がかかることがあります。
- 本機でジョブが処理されているときなどに［OK］を押すと、警告画面に「他のジョブまたは管理者機能を実行中のため、処理できません。」と表示されます。この場合には［閉じる］を押し、ジョブの処理が終了してから、再度実行してください。
- 定期的にインテグリティチェックを実施してください。データに改ざんなどのエラーが検出されると、サービスコール画面が表示されます。この場合は、弊社サービスエンジニアにご連絡ください。

4 ［OK］を押して、本機を再起動します。

本機が再起動します。

リスト印刷／レポート設定

このメニューでは、以下の操作を行います。

- P.120「レポート設定」
- P.124「リスト印刷」

補 足

リスト印刷／レポート設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.51「管理者設定メニューに入る」

■ レポート設定

このメニューでは、以下のレポートの出力設定を行います。

- **通信記録出力**
  P.120「通信記録出力を設定する」
  本機では、2種類の通信管理記録が出力できます。通信管理記録は自動的に印刷するか手動で印刷するか選択できます。「自動的に印刷する」を選択した場合、送信管理記録、受信管理記録を何回通信後に印刷するかを設定することができます。

  補 足

  管理記録は設定した通信数を超えると古いものから削除されます。TopAccess（管理者モード）からCSVファイルとしてエクスポートし、ファイルにすると新しいものから100件の管理記録を保存することができます。

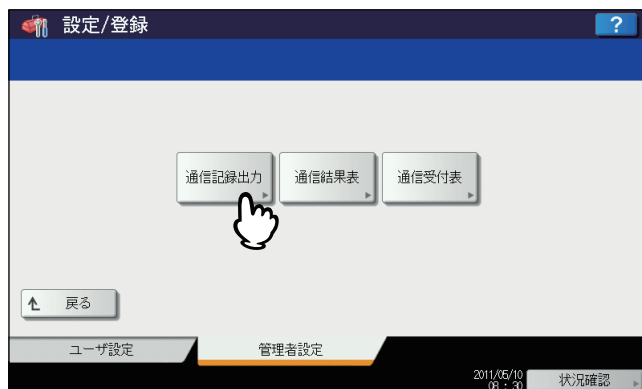
- **通信結果表**
  P.121「通信結果表を設定する」
  すべての通信終了後に、通信結果表を印刷することができます。通信タイプごとに、通信結果表を印刷する状態を選択することができます。

- **通信受付表**
  P.121「通信結果表を設定する」
  通信受付表の設定では、本機のメールボックスに原稿を受信したときに通信受付表を印刷するかどうかを設定します。この設定は、以下のメールボックス通信ごとに通信受付表を印刷するかどうかを設定できます。
  - **中継子局**：中継局として親局から中継送信を受信したとき
  - **ローカル**：本機のメールボックスに原稿を予約したとき
  - **リモート**：他のファクス機から本機のメールボックスに原稿を予約したとき

通信記録出力を設定する

1 **リスト印刷／レポート設定メニューで、［レポート出力設定］を押します。**

レポート出力設定画面が表示されます。

2 **レポート出力設定画面で、［通信記録出力］を押します。**

通信記録出力画面が表示されます。

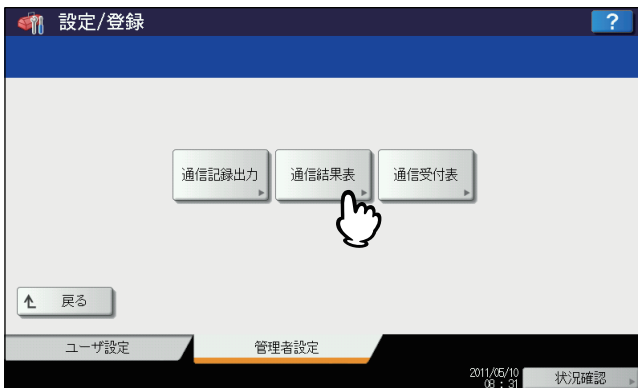
3 必要に応じて下記項目を設定し、[OK]を押します。

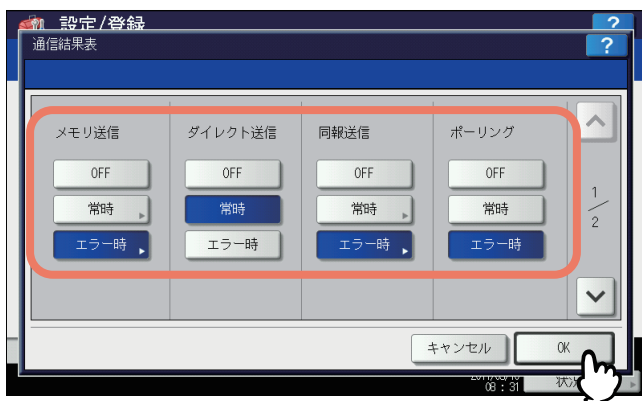
項目名	機能説明
自動印刷	送信管理記録と受信管理記録を自動的に印刷したい場合に［ON］を押します。［ON］を押すと指定回数の通信が終了すると自動的に送信管理記録、受信管理記録を印刷します。
送信管理記録	送信管理記録に印刷する送信回数を指定する回数ボタンを押します。
受信管理記録	受信管理記録に印刷する受信回数を指定する回数ボタンを押します。

通信結果表を設定する

1 リスト印刷／レポート設定メニューで、[レポート出力設定]を押します。

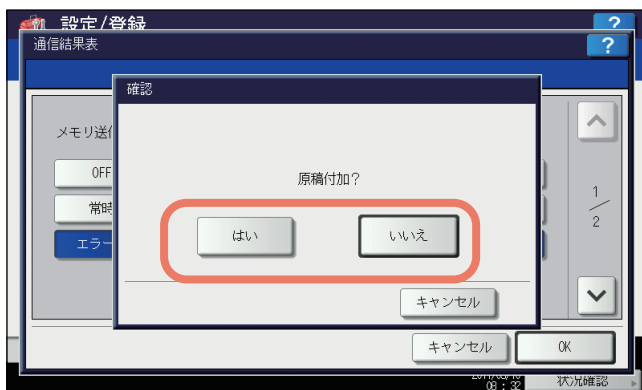
レポート出力設定画面が表示されます。

2 レポート出力設定画面で、[通信結果表]を押します。

通信結果表画面が表示されます。

3 通信ごとに結果表を印刷する状態を設定し、[OK]を押します。

項目名	機能説明
メモリ送信 ダイレクト送信 同報送信 ポーリング 中継親局結果表 中継子局 中継孫局	• **OFF**：通信結果表を印刷しません。 • **常時**：通信結果表を常に印刷します。 • **エラー時**：通信エラーが発生したときに印刷します。

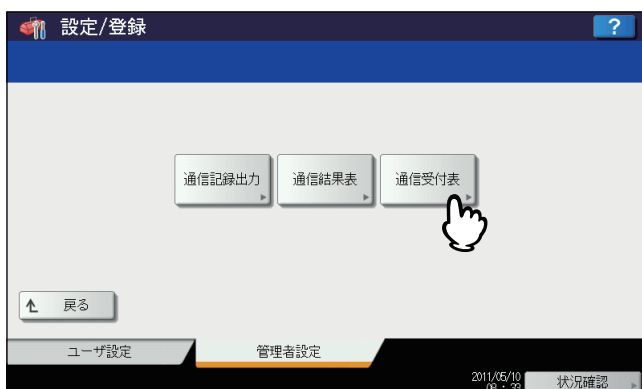
注 意

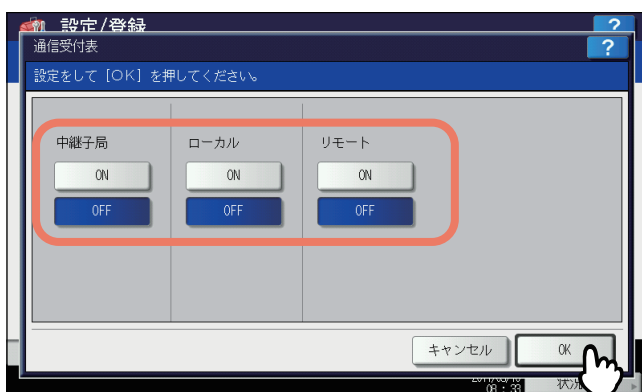
「メモリ送信」と「同報送信」以外は、FAXユニットが装着されている場合のみ設定できます。

「ダイレクト送信」「ポーリング」以外の項目で［常時］または［エラー時］を選択した場合には、タッチパネルに「原稿付加？」と表示されます。送信した原稿の最初のページを付加して通信結果表を印刷したい場合は、［はい］を押します。原稿を付加しない場合は、［いいえ］を押します。

通信受付表を設定する

1 リスト印刷／レポート設定メニューで、［レポート出力設定］を押します。

レポート出力設定画面が表示されます。

2 レポート出力設定画面で、［通信受付表］を押します。

通信受付表画面が表示されます。

3 通信ごとに受付表を印刷するかを設定し、［OK］を押します。

項目名	機能説明
中継子局	親局から中継送信を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、［ON］を選択します。
ローカル	本機のメールボックスにローカルからの文書を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、［ON］を選択します。
リモート	本機のメールボックスに他の機からリモートで文書を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、［ON］を選択します。

■ リスト印刷

ネットワーク設定ページ、システム設定リスト、PS3とPCLフォントのリストを印刷します。

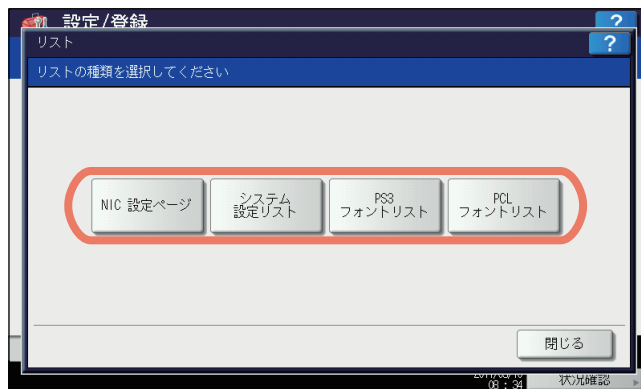
注 意

表示されるボタンはお使いの機種によって異なります。

＊ 各リストの印字例は、以下のページを参照してください。
P.162 「リスト印字例」

1 **リスト印刷／レポート設定メニューで、［リスト印刷］を押します。**

リスト画面が表示されます。

2 **リスト画面で、印刷したいリストのボタンを押します。**

選択したリストが印字されます。

プリンタ／ファイリングボックス

印刷ジョブまたはファイリングボックス文書の印刷に適用するプリンタ設定を設定します。

注 意

ファイリングボックス機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。

補 足

プリンタ／ファイリングボックス画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.51 「管理者設定メニューに入る」

設定画面は複数のページで構成されています。[∧] または [∨] を押すとページが切り替わります。

プリンタ／ファイリングボックス設定画面（1/2）

項目名	機能説明
オートカセットチェンジ	印刷を行う際に用紙の給紙元に特定のカセットを指定した場合にも、オートカセットチェンジ機能を有効にするか設定します。 ［ON］を選択すると、印刷中に用紙がなくなった場合に、別のカセットからサイズが同一の用紙を給紙します。
異方向用紙の許可 *	［ON］を選択すると、印刷中に用紙がなくなった場合に、別のカセットから向きの異なる同一サイズの用紙を給紙します。
ステイプル針無し時の印刷中断	サドルステッチ以外のステイプル処理を行っている際にステイプル針切れを起こした場合、印刷を中断するかを選択します。 • **ON**：印刷を中断します。 • **OFF**：ステイプルせずに印刷を続行します。 **注 意** サドルステッチの場合、ステイプル針切れを起こすと印刷は中断されます。
ジョブ強制続行（排紙先設定違い）	排紙先に出力できないサイズやタイプの用紙が印刷ジョブの2ページ目以降に含まれている場合、排紙先を自動的に切り替えて印刷を継続するかを選択します。 • **ON**：排紙先を自動的に切り替えて印刷を継続します。 • **OFF**：印刷を中断します。

＊　印刷中に用紙がなくなった場合の給紙動作は、以下のとおりです。
　　A4サイズの用紙に印刷中にオートカセットチェンジする場合の例です。

設定項目		給紙動作	
オートカセットチェンジ	異方向用紙の許可	［自動カセット選択］指定時	給紙元カセット指定時
ON	ON	A4およびA4-Rの用紙を給紙	A4およびA4-Rの用紙を給紙
ON	OFF	A4の用紙を給紙	A4の用紙を給紙
OFF	ON	−	−
OFF	OFF	−	−

注 意

以下の機種で600×1200 dpi（PS3）で印刷するときには、オートカセットチェンジは無効です。

- e-STUDIO2550C Series

プリンタ／ファイリングボックス設定画面（2/2）

項目名	機能説明
排紙トレイ自動切替 （カスケード印刷）	• **ON**：排紙トレイがいっぱいになった場合に排紙トレイを自動的に切り替えて印刷を継続します。 • **OFF**：排紙トレイがいっぱいになった場合に印刷を中断します。
ジョブ強制続行 （パンチ屑フル）	• **ON**：ホールパンチユニットのパンチ屑がフルになった場合でもホールパンチ処理を行わずに印刷を継続します。 • **OFF**：ホールパンチユニットのパンチ屑がフルになった場合、印刷を中断します。
プライベート印刷 /ホールド印刷 の自動リリース	本機へのログイン時に、プライベート印刷ジョブやホールド印刷ジョブを自動的に印刷するかを設定します。 • **ON**：本機にログインしたユーザのプライベート印刷ジョブやホールド印刷ジョブがログイン時に自動的に印刷されます。 • **OFF**：タッチパネルでの操作が必要です。 プライベート印刷やホールド印刷については、**印刷ガイド**の以下の章を参照してください。 • 第2章 Windowsアプリケーションから印刷する • 第3章 Macintoshアプリケーションから印刷する • 第4章 UNIX/Linux環境から印刷する • 第5章 操作パネルから印刷ジョブを管理する 補 足 この項目は、ユーザ認証が有効な場合に使用することができます。

無線LAN

無線LANモジュールが装着されている場合は、［無線LAN］から無線LANモジュールの設定を行うことができます。無線LAN設定については、**無線LANモジュール取扱説明書 第1章「無線LANの設定」**を参照してください。
このボタンは、一部の機種のみ表示されます。

補 足

無線LAN画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.51 「管理者設定メニューに入る」

ユーザパスワード変更

本機で内部認証機能を使用している際に、ユーザが設定されている認証パスワードを忘れてしまった場合などに、管理者メニューからそのユーザのパスワードを変更できます。

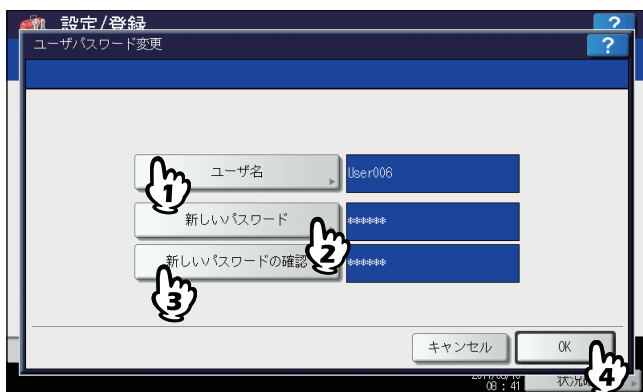
注 意

［ユーザパスワード変更］は、内部認証機能が有効な場合のみ使用できます。内部認証機能を有効に設定するには、TopAccessの管理者モードから操作します。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「［管理者］タブ」**を参照してください。

補 足

ユーザパスワード変更画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.51 「管理者設定メニューに入る」

1 ユーザパスワード変更画面で、ユーザパスワードを変更し、設定を保存します。

1）［ユーザ名］を押して、認証パスワードを変更するユーザ名を入力します。
2）［新しいパスワード］を押して、新しいパスワードを入力します。
3）［新しいパスワードの確認］を押して、新しいパスワードを再度入力します。
4）［OK］を押します。

ユーザパスワードが変更されます。

補 足

- 上記ボタン（［ユーザ名］、［新しいパスワード］および［新しいパスワードの確認］）を押すと、文字入力画面が表示されます。
  文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
  P.160 「文字入力画面」
- ［新しいパスワード］および［新しいパスワードの確認］ボックスに入力されたパスワードは、＊（アスタリスク）で表示されます。

IEEE 802.1X認証設定

有線LAN環境における802.1X認証を設定します。

本機が対応する認証方式は、以下のとおりです。

- EAP-MSCHAP v2
- EAP-MD5
- EAP-TLS
- PEAP *1
  内部認証方式には、以下のプロトコルが選択できます。
  - EAP-MSCHAP v2
- EAP-TTLS
  内部認証方式には、以下のプロトコルが選択できます。
  - PAP
  - CHAP
  - EAP-MSCHAP v2
  - EAP-MD5

＊1　Windows Server 2008では、PEAPは使用できません。

802.1X認証機能を使用するには、必要に応じてTopAccessで証明書を本機にインストールします。インストールが必要な証明書は以下のとおりです。

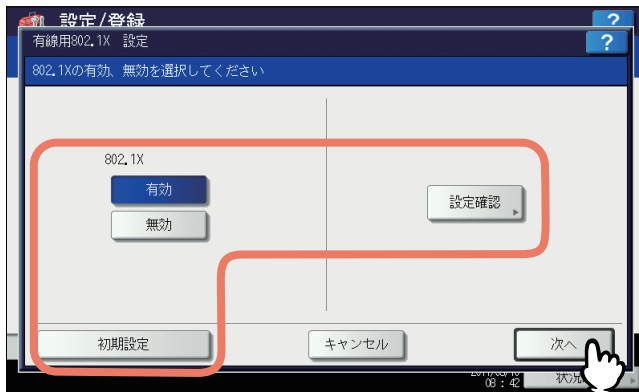
認証方式	内部認証方式	CA証明書	ユーザ証明書
EAP-MSCHAP v2	―	―	―
EAP-MD5	―	―	―
EAP-TLS	―	要 *1	要 *2
PEAP	EAP-MSCHAP v2	要 *1	―
EAP-TTLS	PAP	要 *1	―
	CHAP	要 *1	―
	EAP-MD5	要 *1	―
	EAP-MSCHAP v2	要 *1	―

＊1　認証機能を設定する前に、CA証明書を本機にインストールしてください。
＊2　認証機能を設定する前に、ユーザ証明書を本機にインストールしてください。

補 足

- 証明書のインストール方法については、**TopAccessガイド 第8章「[管理者] タブ」**を参照してください。
- 有線用802.1X設定画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
  📖 P.51 「管理者設定メニューに入る」

■ 802.1X認証をセットアップする

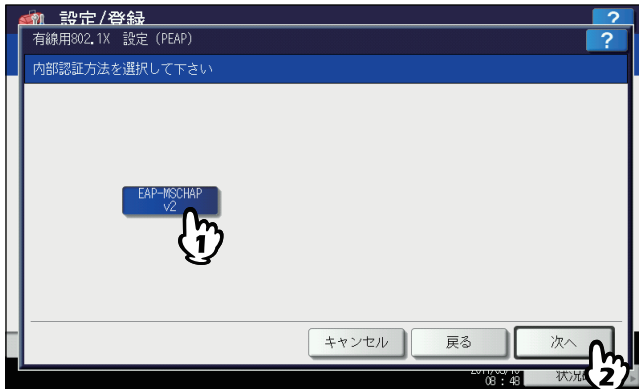
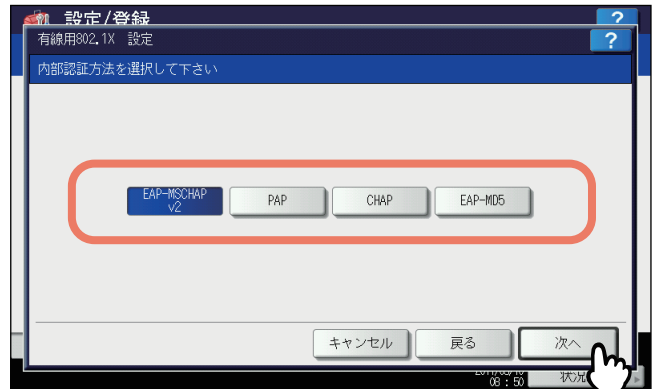
1 **有線用802.1X設定画面で、下記項目を設定し、［次へ］を押します。**

項目名	機能説明
802.1X	• **有効**：802.1X認証を使用します。 • **無効**：802.1X認証を使用しません。 補 足 802.1X認証を「有効」から「無効」に切り替えた場合は、［次へ］を押し、設定内容の確認画面で［更新］を押して、設定を終了してください。
設定確認	現在の設定と認証状態を確認します。 注 意 ［設定確認］は、802.1X認証を［有効］にすると使用できます。
初期設定	802.1Xの設定を工場出荷時の状態に戻します。

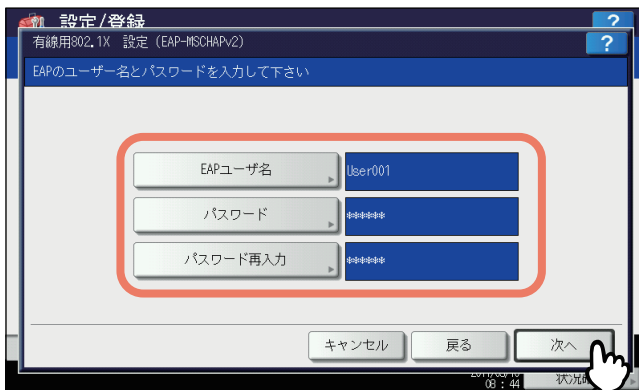
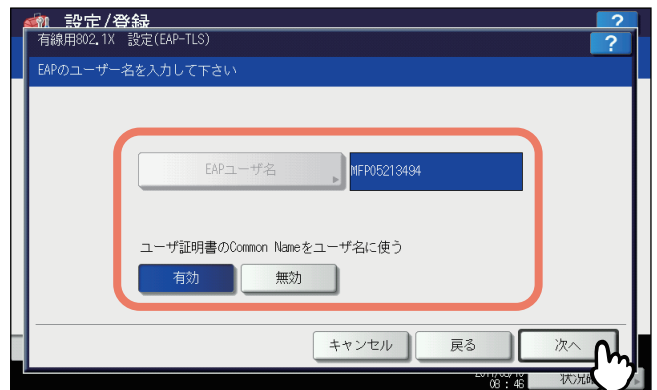
2 **設定したい802.1X認証に応じて、操作を続けます。**

［EAP-MSCHAPv2］、［EAP-MD5］、［EAP-TLS］を選択した場合は、手順5に進んでください。

3 内部認証方式を選択し、［次へ］を押します。

手順3で［PEAP］または［EAP-TTLS］を選択した場合のみ、内部認証方式の選択が必要になります。

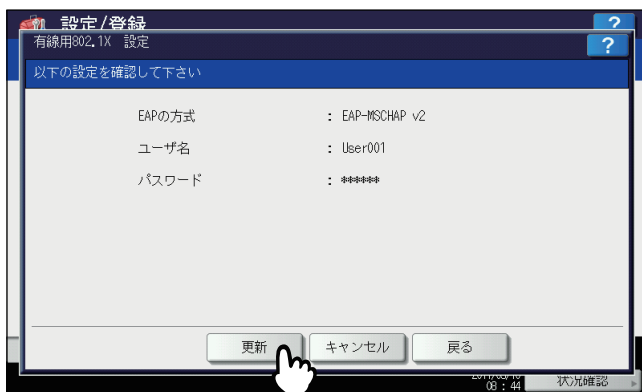
［PEAP］を選択した場合

［EAP-TTLS］を選択した場合

4 下記項目を設定し、［次へ］を押します。

［EAP-TLS］以外を選択した場合

［EAP-TLS］を選択した場合

項目名	機能説明
EAPユーザ名	EAPユーザ名を入力します。
パスワード	認証パスワードを入力します。
パスワード再入力	認証パスワードを再入力します。
ユーザ証明書のCommon Nameをユーザ名に使う	本機にインストールされているユーザ証明書のCommon Name（コモンネーム）をEAPユーザ名に設定する場合は、［有効］を押します。 **注 意** この項目を［有効］に設定すると、［EAPユーザ名］を入力することはできません。

補 足

「EAPユーザ名」「パスワード」「パスワード再入力」の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。

P.160 「文字入力画面」

5 **設定内容を確認し、［更新］を押します。**

画面左下に「ネットワーク準備中」と表示されます。設定が完了すると、「ネットワーク準備中」の表示が消えます。

■ エラーメッセージについて

802.1X認証に関して、以下のエラーメッセージがタッチパネルに表示される場合があります。

エラーメッセージ	原因
［802.1X］認証サーバかスイッチに接続できませんでした。	• RADIUSサーバーが停止している • RADIUSサーバーが正しく設定されていない • 認証スイッチなどのオーセンティケータの不具合
［802.1X］認証に失敗しました。	• 間違ったユーザ名やパスワードを入力した • アップロードされた証明書が間違っている
証明書の検証エラー	• 本機にCA証明書がインストールされていない • インストールされたCA証明書が正しくない • サーバ証明書が不正である

システムの初期化

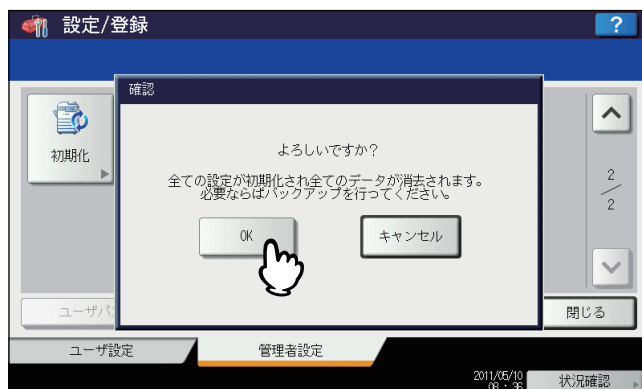
本機の設定を工場出荷時の状態に戻し、各種ユーザデータをクリアします。
この操作により工場出荷時の状態に戻るデータの詳細は、以下のとおりです。

設定データ		補足
セットアップ	一般	工場出荷時の状態に戻ります。
	ネットワーク	
	コピー	
	ファクス	
	共有フォルダに保管	
	Eメール	
	インターネットファクス	
	プリンタ/ファイリングボックス	
	プリンタ	
	プリントサービス	
	セキュリティ	

ユーザデータ		補足
ユーザ管理	ユーザアカウント	ユーザ管理データがクリアされると、LDAPマップ情報も同様にクリアされます。
	グループ管理	
	ロール管理	
	部門管理	
	割当管理	
カウンタ	ユーザカウンタ	クリアされます。
	部門カウンタ	
テンプレート		
アドレス帳		
Fコード/ファクス受信転送（振り分け）		
プリントデータコンバータ		
ICCプロファイル		
XMLフォーマットファイル		デフォルトのXMLにリセットされます。

補 足

初期化実行の確認画面を表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.51 「管理者設定メニューに入る」

1 初期化実行の確認画面で、［OK］を押します。

初期化を開始します。

注 意

- 初期化を実行する前に設定データやユーザデータをバックアップしたい場合は、クローニング機能を使ってファイルの複製を作成することができます。
  詳細は、以下のセクションを参照してください。
  P.74「クローニング」
- 本機の初期化に失敗すると、警告画面に「実行に失敗しました。」と表示されます。この場合には、［閉じる］を押して操作を再度実行してください。

2 ［OK］を押して、本機を再起動します。

本機が再起動します。

3

カウンタの管理

トータルカウンタ

この機能では、以下のトータルカウント値を表示します。

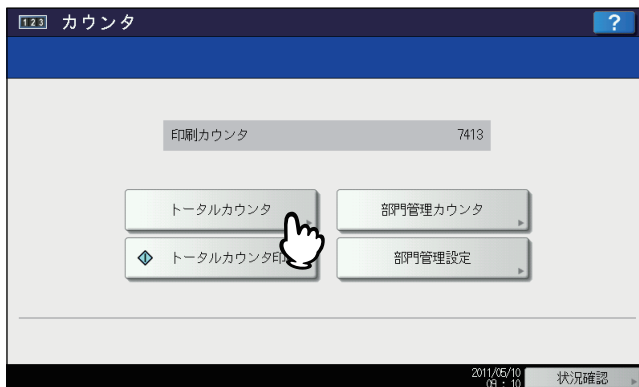
- **プリントカウンタ**
  本機の出力トータルカウント値を表示します。プリントカウンタには、以下のカウンタがあります。
  - **コピーカウンタ**：コピー操作で印刷された枚数を表示します。
  - **ファクスカウンタ**：ファクス受信で印刷した枚数を表示します。
  - **プリンタカウンタ**：印刷操作およびEメール受信（インターネットファクス受信）で印刷された枚数を表示します。
  - **リストカウンタ**：システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。

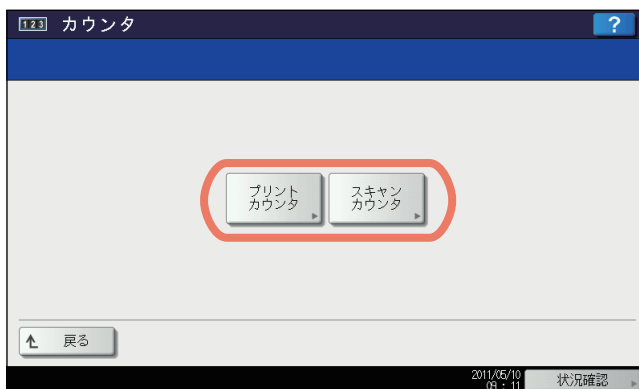
- **スキャンカウンタ**
  本機でスキャンした原稿のトータルカウント値を表示します。スキャンカウンタには、以下のカウンタがあります。
  - **コピーカウンタ**：コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
  - **ファクスカウンタ**：ファクス送信やインターネットファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示します。
  - **ネットワークカウンタ**：スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。

注 意

トータルカウンタをクリアすることはできません。

1 **操作パネルの［カウンタ］ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。**

2 **［トータルカウンタ］を押します。**

トータルカウンタメニューが表示されます。

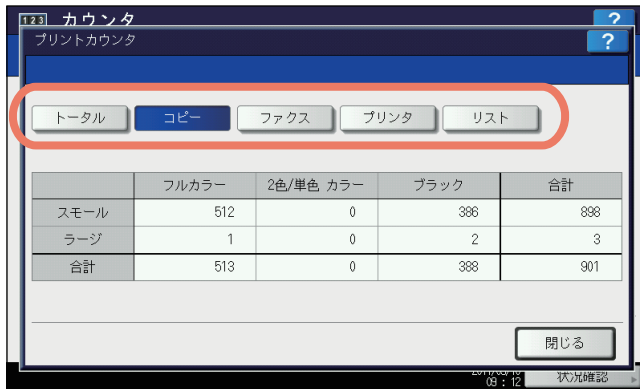
3 **表示したいカウンタに応じて、操作を続けます。**

P.137「プリントカウンタを表示する」
P.137「スキャンカウンタを表示する」

プリントカウンタを表示する

1 ［プリントカウンタ］を押します。

プリントカウンタ画面が表示されます。

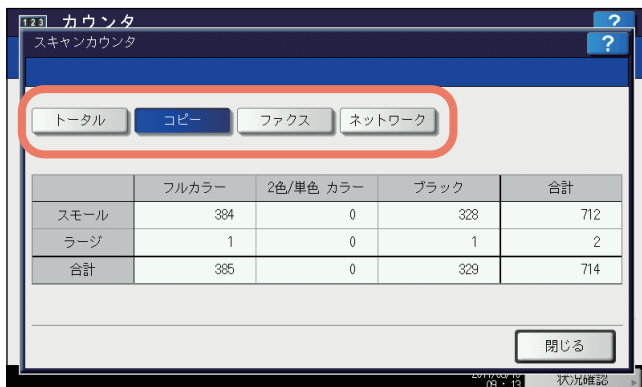
2 確認したいカウンタ値の種類のボタンを押します。（カラー印刷に対応した機種のみ）

注 意

カラー印刷に対応した機種とそれ以外の機種では、表示される項目が異なります。

スキャンカウンタを表示する

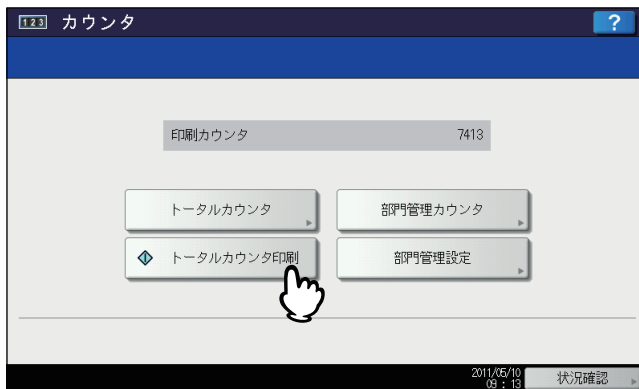
1 ［スキャンカウンタ］を押します。

スキャンカウンタ画面が表示されます。

2 確認したいカウンタ値の種類のボタンを押します。

トータルカウンタ印刷

トータルカウンタリストを印刷します。

1 **操作パネルの［カウンタ］ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。**

2 **［トータルカウンタ印刷］を押します。**

- 本機が部門管理されていない場合は、トータルカウンタリストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し［OK］を押すとトータルカウンタリストが印刷されます。

補 足

トータルカウンタリストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。

P.162 「トータルカウンタリスト」

部門管理カウンタ

この機能では、以下の部門管理カウンタ値を表示します。

注 意

部門管理カウンタは、部門管理機能を有効にしている場合に利用できます。
P.146 「部門管理の有効／無効」

- **部門プリントカウンタ**
  出力紙のカウント値を部門コードごとに表示します。プリントカウンタには、以下のカウンタがあります。
  - **コピーカウンタ**：コピー操作で印刷された枚数を表示します。
  - **ファクスカウンタ**：ファクスポーリング受信で印刷した枚数を表示します。
  - **プリンタカウンタ**：印刷操作およびEメール受信（インターネットファクス受信）で印刷された枚数を表示します。
  - **リストカウンタ**：システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。

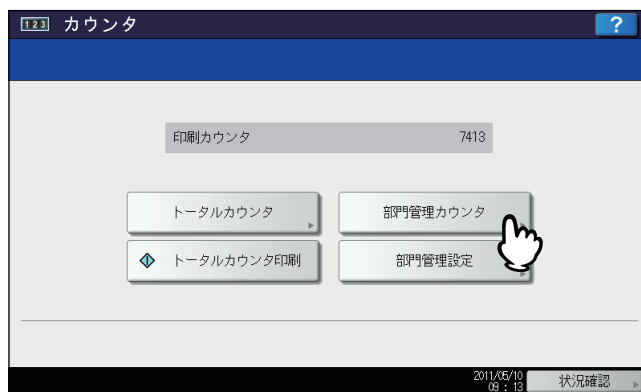
補 足

コピー／ファクス／プリンタ／スキャン／リスト印刷の部門管理機能を個別に無効に選択できます。詳細は、**TopAccessガイド 第8章「［管理者］タブ」**を参照してください。

- **部門スキャンカウンタ**
  本機でスキャンした原稿の枚数を部門コードごとに表示します。スキャンカウンタには、以下のカウンタがあります。
  - **コピーカウンタ**：コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
  - **ファクスカウンタ**：ファクス送信やインターネットファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示します。
  - **ネットワークカウンタ**：スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。

- **部門ファクス通信カウンタ**
  ファクス／インターネットファクス送信および受信の通信枚数を部門コードごとに表示します。ファクス通信カウンタには、以下のカウンタがあります。
  - **送信**：ファクス送信の通信枚数を表示します。
  - **受信**：ファクスポーリング受信の通信枚数を表示します。

1 操作パネルの［カウンタ］ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。

2 ［部門管理カウンタ］を押します。

部門コード画面が表示されます。

3 ［部門コード］を押します。

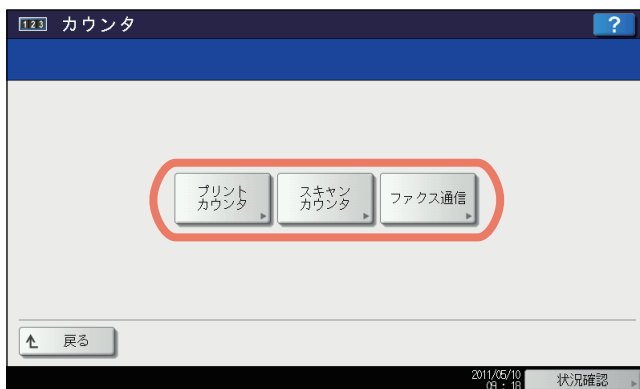
文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160 「文字入力画面」

4 部門コードを入力し［OK］を押します。

部門コード画面に戻ります。

5 ［OK］を押します。

カウンタ画面が表示されます。

6 表示したいカウンタに応じて、操作を続けます。

P.142 「部門プリントカウンタを表示する」
P.142 「部門スキャンカウンタを表示する」
P.143 「部門ファクス送信カウンタを表示する」

部門プリントカウンタを表示する

1 ［プリントカウンタ］を押します。

指定した部門のプリントカウンタ画面が表示されます。

2 確認したいカウンタ値の種類のボタンを押します。（カラー印刷に対応した機種のみ）

注 意

カラー印刷に対応した機種とそれ以外の機種では、表示される項目が異なります。

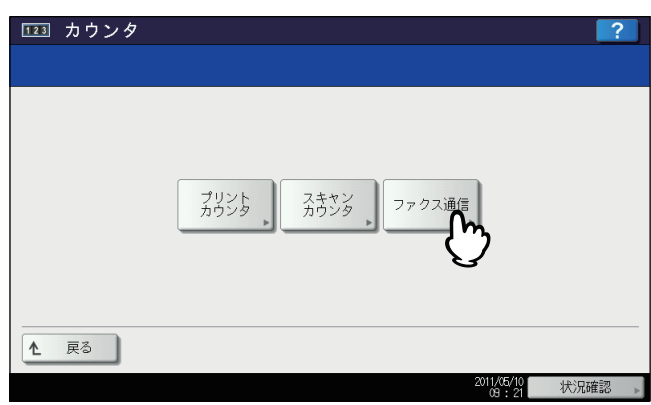
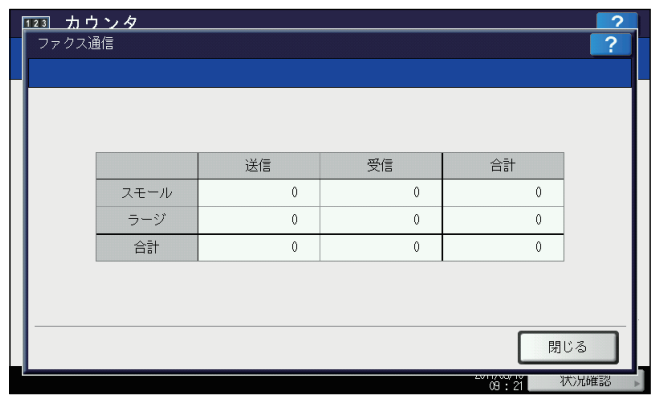
部門スキャンカウンタを表示する

1 ［スキャンカウンタ］を押します。

指定した部門のスキャンカウンタ画面が表示されます。

2 確認したいカウンタ値の種類のボタンを押します。

部門ファクス送信カウンタを表示する

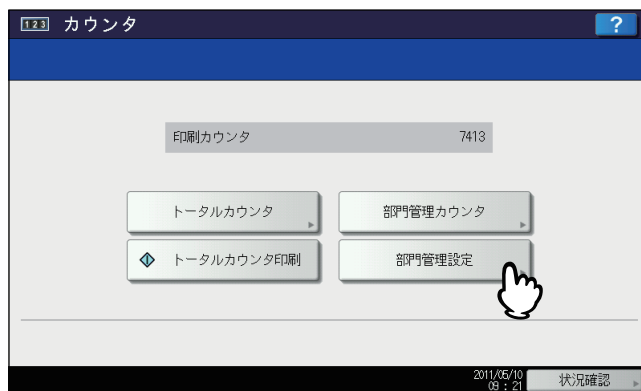
1 ［ファクス通信］を押します。

指定した部門のファクス通信画面が表示されます。

■ 部門管理設定メニューに入る

利用目的に応じた分類で部門コードを設定し、それぞれの部門のカウンタ値を管理することができます。1000部門（ハードディスクが装着されていない機体では50部門）まで登録することができます。
部門コードを管理するには本機の管理者パスワードを知っている必要がありますので、設置場所の管理責任者が部門コードの管理を行うことをお勧めします。

注 意

ユーザ管理設定が有効になっている場合、アカウントマネージャ権限を持ったユーザ名でログインすると管理者パスワード画面は表示されず、そのまま部門管理設定メニューが表示されます。

1 **操作パネルの［カウンタ］ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。**

2 **［部門管理設定］を押します。**

管理者パスワード画面が表示されます。

3 **［パスワード］を押します。**

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160 「文字入力画面」

4 **管理者パスワードを入力し［OK］を押します。**

部門管理設定メニューが表示されます。

補 足

- 管理者パスワードを変更したことがない場合は、工場出荷時のパスワード「123456」を入力します。
- 入力したパスワードは、＊（アスタリスク）で表示されます。

5 必要な操作を続けて行います。

📖 P.146 「部門管理リストの印刷」
📖 P.146 「部門管理の有効／無効」
📖 P.147 「新しい部門コードの登録」
📖 P.149 「部門コードの変更」
📖 P.151 「部門コードの削除」
📖 P.152 「部門カウンタのクリア」
📖 P.153 「全部門一括制限」
📖 P.154 「ブラック無制限」
📖 P.155 「コピー /プリント割当初期化」
📖 P.156 「全部門のカウンタのクリア」
📖 P.157 「全部門コードの削除」

注 意

- 「部門管理」および「部門管理登録」を除いたメニューは、1つ以上の部門コードを登録し、部門管理を有効に設定した後に使用できます。
- [ブラック無制限] は、カラー機をお使いの場合にのみ表示されます。

■ 部門管理リストの印刷

登録されている部門コードと各部門のカウンタ値を印刷します。
部門管理設定メニューで、［部門コードの印刷］を押します。

補 足

- 部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
  P.144 「部門管理設定メニューに入る」
- 部門管理リストの出力例については、以下のページを参照してください。
  P.163 「部門管理リスト」

■ 部門管理の有効／無効

工場出荷時の状態では、部門管理機能は無効に設定されています。部門ごとにカウンタを管理したい場合は、部門管理機能を有効に設定してください。この機能を有効にすると、操作パネルからコピーやスキャン、ファクス送信、ファイリングボックスの操作などを行うときに部門コードの入力画面が表示され、本機の操作を部門ごとに管理することができます。また、コンピュータからの印刷操作も部門ごとに管理されます。
部門ごとに管理できるカウンタの詳細は、以下のページを参照してください。
P.140 「部門管理カウンタ」

注 意

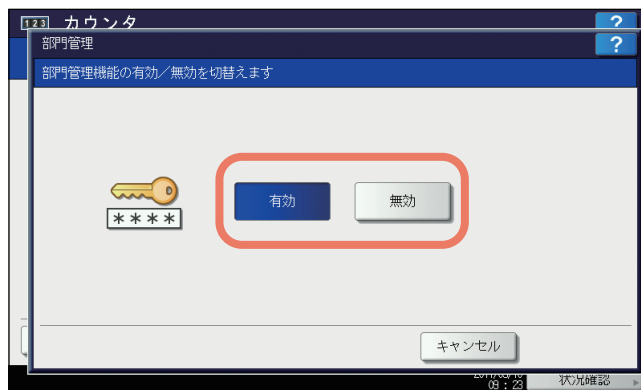
- ［部門管理］は、1 つ以上の部門コードを登録後に有効になります。部門管理機能を有効にする前に、必要な部門コードの登録を行ってください。
  P.147 「新しい部門コードの登録」
- コンピュータからの印刷を部門管理する場合、印刷時に部門コードの入力を必須にするか、または部門コードが入力されていなくても印刷を許可するかをTopAccessを使って設定することができます。TopAccessから印刷操作の部門管理強制を設定する方法については、**TopAccessガイド 第8章「［管理者］タブ」**を参照してください。
- 部門管理機能は、Web Serviceスキャンをサポートしていません。部門管理機能が有効なときに実行されたWeb Serviceスキャンジョブは、常に「部門カウンタの番号－1001、部門名称－未定義」にカウントされます。

1 部門管理設定メニューで、［部門管理］を押します。

部門管理画面が表示されます。

補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 部門管理機能を使用するときは［有効］を押します。使用しない場合は［無効］を押してください。

■ 新しい部門コードの登録

新しい部門コードを登録します。

注 意

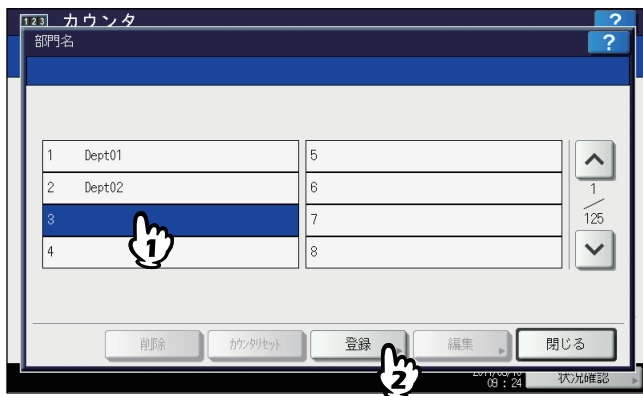
1つ以上の部門コードを登録してから部門管理設定を有効にしてください。
P.146 「部門管理の有効／無効」

1 **部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。**

部門名画面が表示されます。

補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 **部門を登録する空きボタンを押して、[登録] を押します。**

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160 「文字入力画面」

補 足

タッチパネルに部門を登録できる空きボタンがない場合は、[∨] を押して次の画面を表示します。

3 **部門名を入力し [OK] を押します。**

部門コードの登録画面が表示されます。

4 **[新しいコード] を押します。**

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160「文字入力画面」

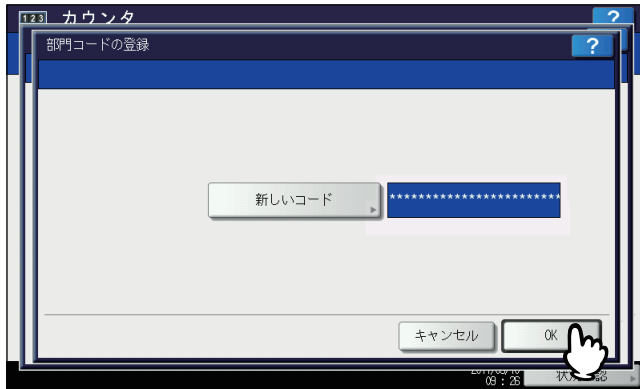
5 部門コードを入力し［OK］を押します。

部門コードの登録画面に戻ります。

補 足

部門コードは、63文字以内で入力することができます。入力可能な文字は、以下のとおりです。

- 英数字および -（ハイフン）_（アンダースコア）.（ピリオド）

6 ［OK］を押します。

割当画面が表示されます。

7 必要に応じて部門コードに出力の割当を設定し、［OK］を押します。

部門名画面に戻ります。

項目名	機能説明
割当管理	［ON］／［OFF］を押して割当の有効／無効を切り替えます。割当を有効にするときは、［ON］を押してから、割当と割当初期値を設定してください。(カラー印刷に対応した機種では、カラー出力とモノクロ出力の割当を別々に設定してください。) • **割当**：この部門コードで現在出力できる残数が表示されます。［割当初期値］ボックスに入力した値が、出力するごとに減算され、「0」になると出力が制限されます。 新しい部門コードの登録時は、［割当初期値］ボックスに入力した値がこのボックスに表示されます。 このボックスに表示されている割当は、手動で任意の値に変更することができます。 • **割当初期値**：この部門に設定する割当の初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。

注 意

印刷中に残数が「0」になった場合は、ジョブを即座に中止することができないため、割当設定を数枚超えて印刷される場合があります。

■ 部門コードの変更

登録済みの部門コードを編集します。

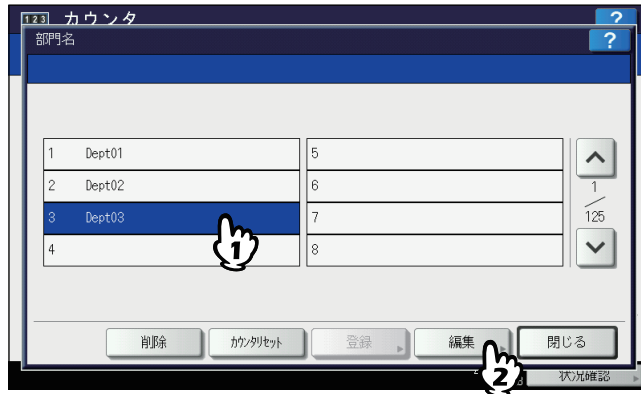
1 部門管理設定メニューから、[部門管理登録] を押します。

部門名画面が表示されます。

補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 編集したい部門ボタンを押して、[編集] を押します。

確認画面に「登録済みコードです。登録内容を変更しますか？」と表示されます。

補 足

タッチパネルに目的の部門ボタンがない場合は、[v] を押して次の画面を表示します。

3 [はい] を押します。

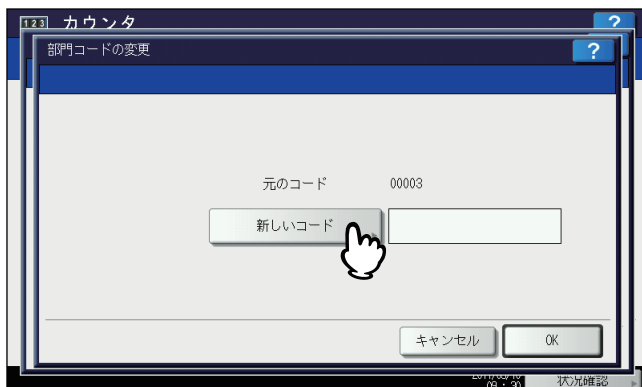
文字入力画面が表示されます。

文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。

📖 P.160 「文字入力画面」

4 部門名も変更する場合は、新しい部門名を入力し [OK] を押します。部門名を変更しない場合は、そのまま [OK] を押してください。

部門コードの変更画面に現在設定されている部門コードが表示されます。

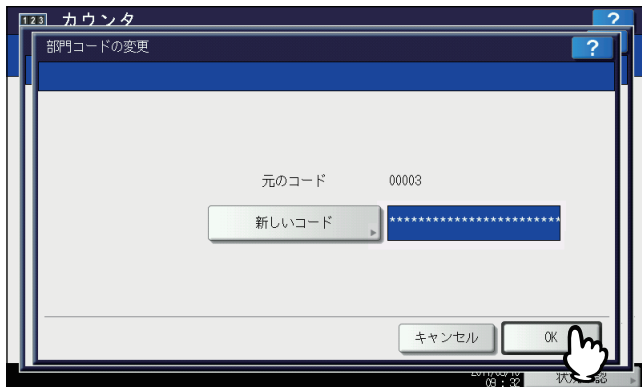
5 ［新しいコード］を押します。

文字入力画面が表示されます。
文字入力画面の詳細は、以下のページを参照してください。
P.160 「文字入力画面」

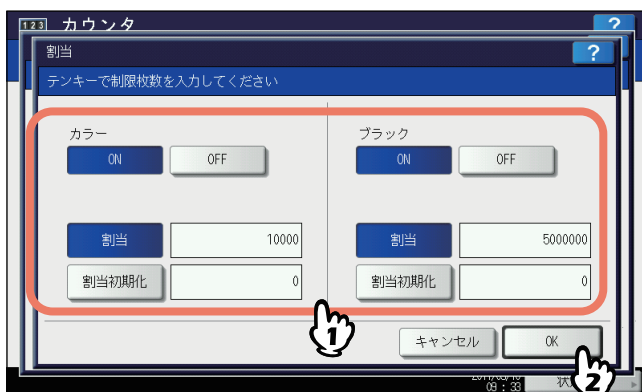
6 新しい部門コードを入力し［OK］を押します。

部門コードの変更画面に戻ります。

補 足

- 部門コードは、63文字以内で入力することができます。入力可能な文字は、以下のとおりです。
  - 英数字および - （ハイフン）_ （アンダースコア）. （ピリオド）
- コードをクリアし再度入力したい場合は、文字入力画面の［クリア］または操作パネルの［クリア］ボタンを押します。

7 ［OK］を押します。

割当画面が表示されます。

8 必要に応じて部門コードに出力の割当を設定し、［OK］を押します。

各項目の説明については、以下の操作の手順7を参照してください。
P.147 「新しい部門コードの登録」

■ 部門コードの削除

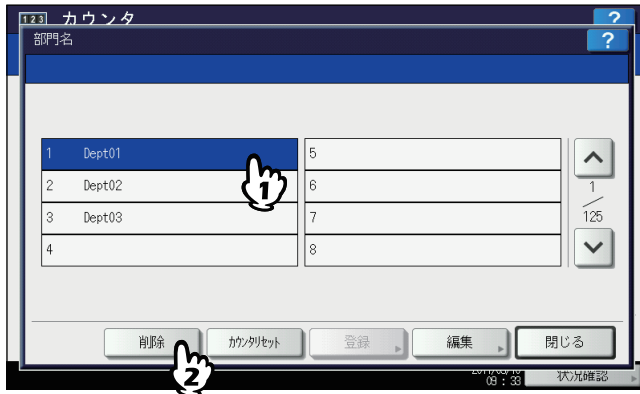
登録済みの部門コードを削除します。

1 **部門管理設定メニューで、［部門管理登録］を押します。**

部門名画面が表示されます。

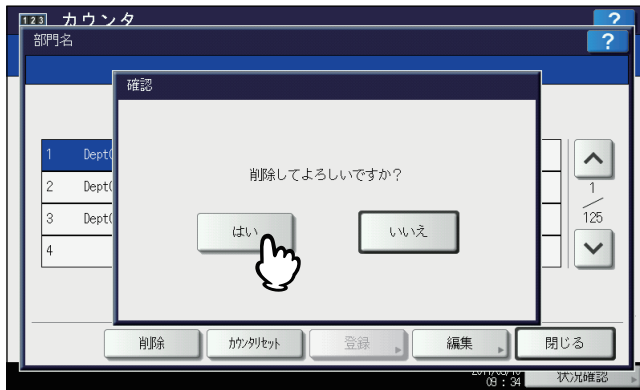
補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 **削除したい部門ボタンを押して［削除］を押します。**

確認画面に「削除してよろしいですか？」と表示されます。

補 足

タッチパネルに目的の部門がない場合は、[v] を押して次の画面を表示します。

3 **［はい］を押します。**

部門コードが削除されます。

補 足

部門コードの削除を中止するときは、［いいえ］を押します。

■ 部門カウンタのクリア

特定の部門コードのカウンタだけをリセットします。

1 **部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。**

部門名画面が表示されます。

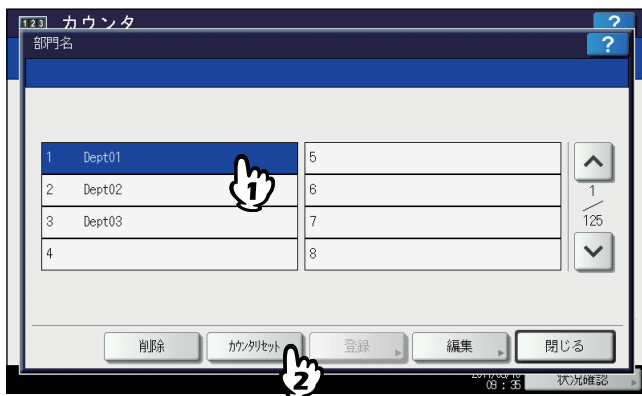
補 足

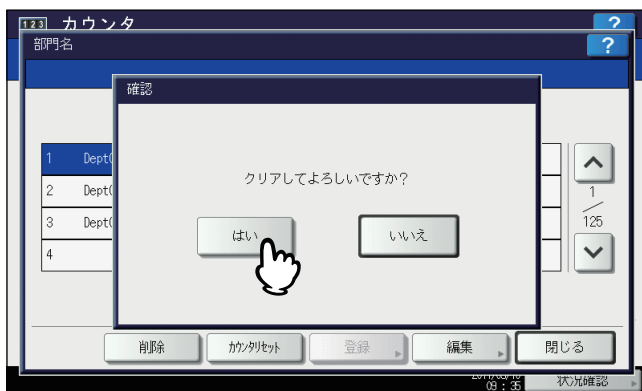
部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 **カウンタをクリアしたい部門ボタンを押して、[カウンタリセット] を押します。**

確認画面に「クリアしてよろしいですか？」と表示されます。

補 足

タッチパネルに目的の部門ボタンがない場合は、[∨] を押して次の画面を表示します。

3 **[はい] を押します。**

カウンタがクリアされます。

補 足

カウンタのクリアを中止するときは、[いいえ] を押します。

■ 全部門一括制限

全部門の出力制限を一括して設定します。出力制限を［ON］にした場合は、全部門から出力ができなくなります。出力制限を［OFF］にした場合は、全部門からの出力を無制限にします。

補 足

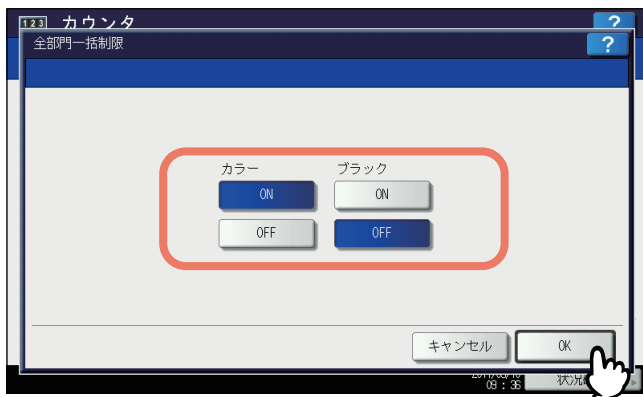
全部門一括制限で［ON］を選択した場合、全部門コードの出力の割当は「0」に設定されます。部門ごとに割当設定を変更したい場合は、割当設定を部門ごとに行ってください。
📖 P.149 「部門コードの変更」

1 部門管理設定メニューで、［全部門一括制限］を押します。

全部門一括制限画面が表示されます。

補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
📖 P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 全部門一括制限の有効／無効を切り替えてから、［OK］を押します。

［ON］／［OFF］を押して全部門一括制限の有効／無効を切り替えます。（カラー印刷に対応した機種では、カラー出力とモノクロ出力の制限を別々に設定してください。）
［OK］を押すと、全部門の制限設定が保存されます。設定が適用されるまでの間、タッチパネルには「おまちください」と表示されます。

注 意

- カラー印刷に対応した機種でブラック無制限（📖 P.154）が有効になっている場合は、一括制限を設定することはできません。
- 登録されている部門コードの数によって、設定が適用されるまで時間がかかることがあります。

■ ブラック無制限

ブラック無制限は、部門管理機能が有効な場合に部門コードを入力することなくモノクロコピーやモノクロプリントを許可する機能です。この機能を有効にすると、カラーコピーやカラープリントを行う場合にのみ部門コードの入力が必要となります。モノクロコピーやモノクロプリントは制限されないので、モノクロ出力のカウンタは部門コードごとにカウントされなくなります。
このメニューは、カラー印刷に対応した機種をお使いの場合にのみ表示されます。

補 足

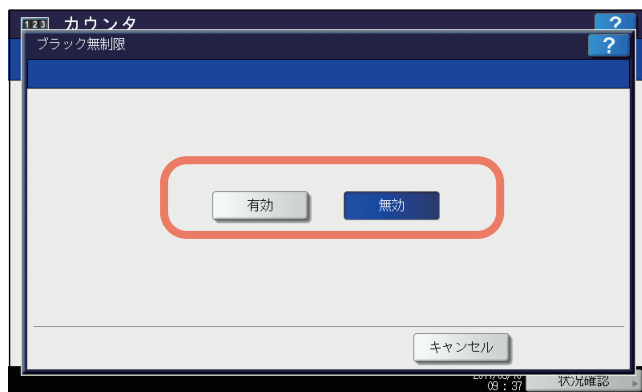
ユーザ管理設定が有効な場合には、ブラック無制限を有効にすることはできません。

1 **部門管理設定メニューで、［ブラック無制限］を押します。**

ブラック無制限画面が表示されます。

補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。
P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 **ブラック無制限を使用するときは［有効］を押します。使用しない場合は［無効］を押してください。**

ブラック無制限の設定が保存されます。

■ コピー /プリント割当初期化

すべての部門のコピー割当と印刷ジョブ割当を一括して初期値に戻します。

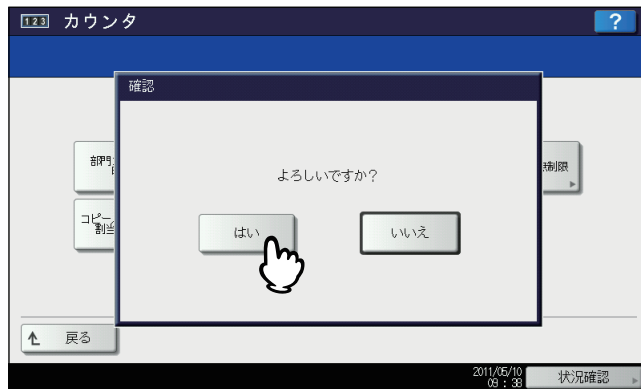
1 部門管理設定メニューで、［コピー /プリント割当初期化］を押します。

確認画面に「よろしいですか？」と表示されます。

補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 ［はい］を押します。

すべての部門の割当が初期値に戻ります。

補 足

割当の初期化を中止する場合は、［いいえ］を押してください。

■ 全部門のカウンタのクリア

すべての部門のカウンタ値をクリアします。

注 意

部門カウンタはクリアされますが、トータルカウンタはクリアされません。

1 **部門管理設定メニューで、［全部門のカウンタリセット］を押します。**

確認画面に「クリアしてよろしいですか？」と表示されます。

補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 **［はい］を押します。**

すべての部門のカウンタがクリアされます。

補 足

部門カウンタのクリアを中止するときは、［いいえ］を押します。

■ 全部門コードの削除

登録したすべての部門コードを削除します。

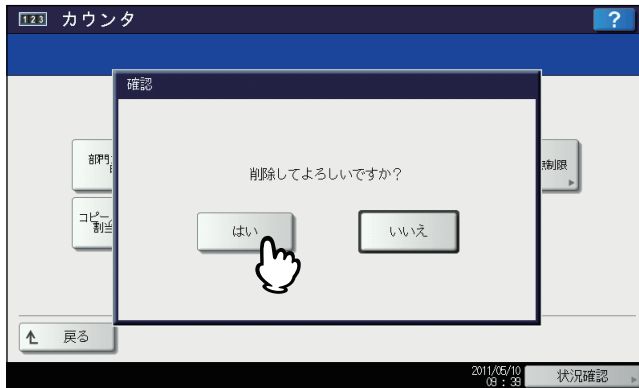
1 **部門管理設定メニューで、［全部門削除］を押します。**

確認画面に「削除してよろしいですか？」と表示されます。

補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

P.144 「部門管理設定メニューに入る」

2 **［はい］を押します。**

すべての部門コードが削除されます。

補 足

全部門コードの削除を中止するときは、［いいえ］を押します。

4

付録

文字入力のしかた

文字やダイヤル番号の入力が必要な場面では、入力用の画面が表示されます。画面上のボタンをタッチして入力してください。また、数字は操作パネル上のテンキーから入力することもできます。
入力後に［OK］を押すと、画面表示が切り替わります。

補足

本機は欧州言語の特殊文字に対応しています。

■ 文字入力画面

補足

- 以下は、ひらがな入力モードの画面です。入力モードによって画面構成は異なります。
- 入力できる文字種が英字と記号のみの場面では、入力モードはBasic（英字）モードと記号モードだけに制限されます。

	項目名	機能説明
1	［範囲］ボタン	変換候補が表示されているときに［範囲］ボタンを押し、← →ボタンを押して、文節の区切りを変更します。
2	← →ボタン	カーソルを左右に移動します。
3	［バックスペース］ボタン	カーソルの前の文字を1 文字ずつ削除します。
4	［クリア］ボタン	入力した文字をすべて削除します。
5	［確定］ボタン	変換した漢字に確定します。
6	［OK］ボタン	文書名、ファイル名などを設定するときに、必ず押してください。
7	［キャンセル］ボタン	文字入力を中止します。
8	◀ ▶ボタン	漢字に変換するときに、使いたい漢字を選びます。
9	［変換］ボタン	ローマ字入力モード、ひらがな入力モードおよび文字入力モードで、変換候補を表示します。
10	［スペース］ボタン	1 文字分空けます。
11	［無変換］ボタン	ローマ字入力モードまたはひらがな入力モードで、漢字に変換しないで入力した文字を確定します。
12	［区点入力］ボタン	文字入力モードに切り替えます。文字入力モードで使える文字と、区点コードの入力方法については、以下の参照先をご覧ください。 📖 P.188 「区点コード表」

	項目名	機能説明
13	入力モード切り替え プルダウンメニュー	入力モードを以下の5 つから選択し、切り替えます。 • ひらがな入力モード • カタカナ入力モード • ローマ字入力モード • 英字入力モード • 記号入力モード
14	変換候補表示エリア	ローマ字入力モードまたはひらがな入力モードで文字を入力し、［変換］ボタンを押すと、変換候補が表示されます。 ［変換］ボタンまたは◀ ▶ボタンを押して変換したい候補を選び、［確定］を押して、文字を確定します。

以下のボタンは文字を入力するときに、必要に応じて使います。

項目名	機能説明
［全角］ボタン	全角入力に切り替えます。カタカナ入力モードと英字入力モードで表示されます。
［半角］ボタン	半角入力に切り替えます。カタカナ入力モードと英字入力モードで表示されます。

補 足

「￥」はローマ字入力モードで［￥］を押した後に［変換］を押すと、変換候補から選択できます。

□ USBキーボードを使う

本機のUSB端子に市販のUSBキーボードを接続すると、文字入力画面のボタンの代わりにUSBキーボードから入力できます。（［Caps Lock］を除く。）
本機の管理者設定メニューの「キーボードレイアウト」の設定を、接続するキーボードと合わせてからお使いください。
P.80「キーボードレイアウト」

対応キーボードは以下のとおりです。
- 101キーボード（QWERTY配列）
- 102/105キーボード（QWERTZ配列）
- 102/105キーボード（AZERTY配列）

注 意

すべてのキーボードの動作を保証するものではありません。

■ 番号入力画面

ダイヤル番号の入力が必要なときに、以下の画面が表示されます。

ダイヤル番号は、通常「-」を含めずに入力してください。「-」を入力する場合は、［ポーズ］を押してください。（「-」を入れるとポーズが入り3秒間ダイヤルの間隔が空きます。）
ダイヤル番号の入力は、テンキーからも行えます。

リスト印字例

■ トータルカウンタリスト

トータルカウンタリストの出力例（カラー機とモノクロ機では内容が一部異なります。）

トータルカウンタリスト　S/N:CME000034　FIN S/N:FIN S/N-　TOTAL　:9999
2011-05-10 10:22　XXXXXXXX　XXXXXXXXXX　DF TOTAL :9999

プリントカウンタ
トータル

	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
コピー	99999	99999	99999	299996
ファクス	99999	99999	99999	299996
プリンタ	99999	99999	99999	299996
リスト	99999	99999	99999	299996
トータル	399996	399996	399996	1199988

コピー

	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	99999

ファクス

	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	99999

プリンタ

	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	99999

リスト

	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	

キャリブレーション　カウンタ：　1

■ 部門管理リスト

部門管理リストの出力例（カラー機とモノクロ機では内容が一部異なります。）

部門管理リスト

出力時刻　:　2011-05-10 08:31

部門番号	部門名	割当
D　1	01	999.00

プリントカウンタ

フルカラー

	コピー	プリンタ	トータル
スモール	99999	99999	199998
ラージ	99999	99999	199998
	199998	199998	399996

2色/単色 カラー

	コピー	プリンタ	トータル
スモール	99999	99999	199998
ラージ	99999	99999	199998
	199998	199998	399996

ブラック

	コピー	ファクス	プリンタ	リスト	トータル
スモール	99999	99999	99999	99999	399996
ラージ	99999	99999	99999	99999	399996
	199998	199998	199998	199998	799992

ファクス送受信

	送信	受信
スモール	99999	99999
ラージ	99999	99999
	199998	199998

スキャンカウンタ

	フルカラー		2色/単色 カラー	ブラック		
	コピー	ネットワーク	コピー	コピー	ファクス	ネットワーク
スモール	99999	99999	99999	99999	99999	99999
ラージ	99999	99999	99999	99999	99999	99999
	199998	199998	199998	199998	199998	199998

部門番号	部門名	割当
D　2	02	999.00

プリントカウンタ

フルカラー

	コピー	プリンタ	トータル

■ アドレス帳登録リスト

アドレス帳登録リスト出力例

アドレス帳登録リスト

出力時刻 : 2011-05-10 20:47
電話番号１ : 99999999999
電話番号２ : 99999999990
局名 : MFP_04998820

番号	宛先名	電話番号／Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	海外指定	送信方法	回線指定	ECM	ATT
001	User01	00000000001	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user01@example.com					
002	User02	00000000002	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user02@example.com					
003	User03	00000000003	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user03@example.com					
004	User04	00000000004	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user04@example.com					
005	User05	00000000005	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user05@example.com					
006	User06	00000000006	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user06@example.com					
007	User07	00000000007	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user07@example.com					
008	User08	00000000008	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user08@example.com					
009	User09	00000000009	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user09@example.com					
010	User10	00000000010	OFF	ﾒﾓﾘ		OFF	0
		user10@example.com					
011	User11	00000000011	OFF				
		user11@example.co					
	User12						

■ グループ登録リスト

グループ登録リストの出力例

グループ登録リスト

出力時刻　　: 2011-05-10 20:47
電話番号１　: 99999999999
電話番号２　: 99999999990
局名　　　　: MFP_00000186

番号	グループ名称	アドレス帳
001	Group01	001 ✉001 ✉002 ✉003 ✉004 005 ✉005 006 ✉006 ✉007 007 008 ✉008 009 ✉009 010 ✉010 ✉011 ✉012 ✉013 014 ✉014 015 ✉015 016 ✉016 017 ✉017 018 ✉018 019 ✉019 020 ✉020
002	Group02	005 007 009 ✉015 ✉060 ✉065
003	Group03	005 ✉005 ✉006 ✉006 ✉007 ✉009

■ システム設定リスト（ユーザ）

システム設定リスト（ユーザ）の出力例（カラー機とモノクロ機では内容が一部異なります。）

システム設定リスト

S/N	: CME000034	出力時刻	: 2010-05-10 20:47
F/W Ver.	: XXXXXXXXXXXX	電話番号１	: 99999999999
M-ROM Ver.	: 140M-015	電話番号２	: 99999999990
S-ROM Ver.	: 140S-01	局名	: MFP_04998820

一般

トータルカウンタ	: 9999
カセット	
1段目カセット	: A4
2段目カセット	: A3
3段目カセット	: A4-R
4段目カセット	: B5
オートクリア	: 45

コピー設定

濃度調整（カラー）	: 手動
濃度調整（ブラック）	: 自動
カラーモード	: ブラック
両面時の画像の向き	: 無効
手差し用紙	: 普通紙
カラー原稿モード	: 文字／写真
ブラック原稿モード	: 文字／写真
オートカラー時の原稿モード	: 文字／写真
白紙ページ除去判定レベル	: 0
オートカラー判定レベル	: 0
２ＩＮ１／４ＩＮ１	: 横書き
マガジンソート	: 左開き
ブック両面	: 左開き

スキャン設定

カラーモード	: ブラック
圧縮率	: 標準
オートカラー時モノクロページ濃度調整	: 3
画像回転	: 0
両面	: 片面
オートカラー時のブラック画質	: 標準
プレビュー表示設定	:
初期プレビュー表示設定	

補 足

システム設定リストに印字される各項目の説明は、下記のページを参照してください。

P.169 「システム設定リスト（管理者）」

■ ネットワーク設定ページ

ネットワーク設定ページの出力例

```
================================================================================

シリアル番号                 : CME000034          バージョン : XXXXXXXXXXXX
ネットワークアドレス          : 00:80:91:6B:EB:23
LAN規格                     : Ethernet           コネクター : RJ45
アドレス設定方法              : 自動

ノベルネットワーク情報                                    有効
    プリントサーバ名                  : MFP_04998820
    パスワードあり                    :
    サーチルート定義なし
    ディレクトリーサービスツリー        : ORG
    ディレクトリーサービスコンテキスト    : dept1.org
    スキャンレート                    : 5
    フレームタイプ                    : Auto Sense

TCP/IP IPv4ネットワーク情報                               有効
     アドレスモード                   : マニュアル
     IPアドレス                      : 10.10.70.120
     サブネットマスク                 : 255.255.255.0
     デフォルトゲートウェイ            : 10.10.70.1
     プライマリDNSサーバー             :
     DNS名                          :
     ホスト名                        : MFP07072547
     プライマリWINSサーバーアドレス     : 0.0.0.0
     NetBIOS名                      : MFP07072547

IPP印刷情報                                              有効
     IPP印刷  SSLなし                : http://MFP07072547:631/Print
     IPP印刷  SSLあり                : https://MFP07072547:443/Print

AppleTalkネットワーク情報                                 有効
     AppleTalkプリンタ名              : MFP07072547
     AppleTalkゾーン                 : *
     AppleTalkタイプ                 : LaserWriter

================================================================================

 ノベル接続情報
     ファイルシステムサーバー名          : NWSRV
     キュー名                         : MFP_QUEUE

 AppleTalk接続情報
     AppleTalkプリンタ名              : MFP07072547

 Rawソケット接続情報
     ポート番号
```

シリアル番号	本機のシリアル番号
バージョン	本機のシステムバージョン
ネットワークアドレス	本機のMACアドレス
LAN規格	ネットワークタイプ
コネクター	接続タイプ
アドレス設定方法	アドレスの設定方法
ノベルネットワーク情報	
プリントサーバ名	本機のNovellプリンタ名
パスワードあり	パスワード設定の有無
サーチルート	本機のサーチルート設定
ディレクトリーサービスツリー	本機のNDSツリー設定
ディレクトリーサービスコンテキスト	本機のNDSコンテキスト設定
スキャンレート	本機のスキャンレート設定
フレームタイプ	本機のフレームタイプ設定
TCP/IP IPv4ネットワーク情報	
アドレスモード	本機のTCP/IPアドレスモード設定

IPアドレス	本機のIPアドレス
サブネットマスク	本機のサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス
プライマリDNSサーバー	本機の優先DNSサーバーアドレス設定
DNS名	本機のDNS名
ホスト名	本機のホスト名
プライマリWINSサーバーアドレス	本機の優先WINSサーバーアドレス設定
NetBIOS名	本機のNetBIOS名
IPP印刷情報	
IPP印刷　SSLなし	本機のIPP印刷用URL
IPP印刷　SSLあり	本機のSSL対応IPP印刷用URL
AppleTalkネットワーク情報	
AppleTalkプリンタ名	本機のAppleTalkプリンタ名
AppleTalkゾーン	本機のAppleTalkゾーン設定
AppleTalkタイプ	本機のAppleTalkプリンタタイプ
ノベル接続情報	
ファイルシステムサーバー名	接続しているNetWareファイルサーバー名
キュー名	接続しているNetWareキュー名
AppleTalk接続情報	
AppleTalkプリンタ名	本機のAppleTalkプリンタ名
Rawソケット接続情報	
ポート番号	Raw印刷用のポート番号
TCP/IP IPv6ネットワーク情報	
LLMNR	LLMNR（Linklocal Multicast Name Resolution）プロトコル設定
リンクローカルアドレス	本機のリンクローカルアドレス
アドレスモード	本機のIPv6アドレスモード設定
IPアドレス	本機のIPv6アドレス
プレフィックス長	IPv6アドレスのプレフィックス
デフォルトゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス
プライマリDNSサーバーアドレス（IPv6）	プライマリDNSサーバーのIPv6アドレス
セカンダリDNSサーバーアドレス（IPv6）	セカンダリDNSサーバーのIPv6アドレス

■ システム設定リスト（管理者）

システム設定リスト（管理者）の出力例（カラー機とモノクロ機では内容が一部異なります。）

```
システム設定リスト
        S/N         : CME000034         出力時刻     : 2011-05-10 20:47
        F/W Ver.    : XXXXXXXXXXXX      電話番号１   : 99999999999
        M-ROM Ver.  : 140M-015          電話番号２   : 99999999990
        S-ROM Ver.  : 140S-01           局名         : MFP_04998820
一般
    トータルカウンタ                    :9999
    メインメモリ／ページメモリサイズ    :2048 MB / 512 MB
        1段目カセット                   :A4
        2段目カセット                   :A3
        3段目カセット                   :A4-R
        4段目カセット                   :B5
    オートクリア                        :45
    節電モード設定
        ウィークリータイマー             ON          OFF
            タイマ設定 日曜日           :00:00:00    24:00:00
            タイマ設定 月曜日           :00:00:00    24:00:00
            タイマ設定 火曜日           :00:00:00    24:00:00
            タイマ設定 水曜日           :00:00:00    24:00:00
            タイマ設定 木曜日           :00:00:00    24:00:00
            タイマ設定 金曜日           :00:00:00    24:00:00
            タイマ設定 土曜日           :00:00:00    24:00:00
            ウィークリータイマー使用    :無効
        自動節電時間                    :15
        自動オフ時間                    :60
        スーパースリープ                :無効
    サマータイム設定
        サマータイム使用                :無効
        標準時間との差                  :＋1：00
            開始                        :1月  1週  日曜日  0:0
            終了                        :1月  1週  日曜日  0:0
    データクローニング機能              :有効
    USBダイレクト印刷                   :有効
    機能設定
        ローカルHDDへ保存               :有効
        ファイリングボックス            :有効
        Eメール送信
        FTP保存
```

管理者設定メニューから出力したシステム設定リストには、すべての機能の設定一覧が印刷されます。次の表では、管理者のシステム設定リストに印刷される項目と説明、およびユーザのシステム設定リストにも印刷される項目を確認できます。（ハードディスクが装着されている機体と装着されていない機体では、印刷される項目が一部異なります。）

一般

リスト項目	説明	ユーザ
トータルカウンタ	トータルカウンタ値	○
メインメモリ／ページメモリサイズ	メインメモリ／ページメモリのサイズ	×
カセット-1段目カセット	1段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-2段目カセット	2段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-3段目カセット *1	3段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-4段目カセット *2	4段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-大容量給紙装置 *3	大容量給紙装置に設定された用紙サイズ	○
カセット-大容量給紙装置（外付け）*4	大容量給紙装置（外付け）に設定された用紙サイズ	○
オートクリア	一定時間操作されていない場合に、タッチパネルで行った操作をクリアし初期画面に戻す時間（秒）	○

一般

リスト項目	説明	ユーザ
節電モード設定-ウィークリータイマー	日曜日から土曜日までの各日の節電モードに入る時間、および節電モードから復帰する時間	×
節電モード設定-ウィークリータイマー使用	ウィークリータイマー機能の有効／無効	×
節電モード設定-自動節電時間	自動節電モードに入る時間（分）	×
節電モード設定-自動オフ時間	自動オフモードに入る時間（分）	×
節電モード設定-スーパースリープ	スーパースリープモードの有効／無効	×
節電モード設定-スリープ移行時間経過後のモード	スリープ移行時間経過後に移行するモード	×
サマータイム設定-サマータイム使用	サマータイム使用の有無	×
サマータイム設定-標準時間との差	現地標準時間との時間差	×
サマータイム設定-開始／終了	サマータイムの適用期間	×
データクローニング機能	データクローニング機能の有効／無効	×
USBダイレクト印刷	USBダイレクト印刷の有効／無効	×
機能設定-ローカルHDDへ保存	ローカルHDDへの保存の有効／無効	×
機能設定-ファイリングボックス	ファイリングボックス機能の有効／無効	×
機能設定-Eメール送信	Eメール送信の有効／無効	×
機能設定-FTP保存	FTP保存の有効／無効	×
機能設定-FTPS保存	FTPS保存の有効／無効	×
機能設定-USBメディアに保存	USBメディアに保存の有効／無効	×
機能設定-SMB保存	SMB保存の有効／無効	×
機能設定-NETWARE保存	NetWare保存の有効／無効	×
機能設定-インターネットファクス送信	インターネットファクス送信の有効／無効	×
機能設定-ファクス送信	ファクス送信の有効／無効	×
機能設定-WEB SERVICESスキャン	Webスキャンサービスの有効／無効	×
機能設定-TWAINスキャン	TWAINスキャンの有効／無効	×
機能設定-外部コントローラへのスキャン	外部コントローラへのスキャンの有効／無効	×
機能設定-ネットワークファクス	ネットワークファクスの有効／無効	×
機能設定-ネットワークインターネットファクス	ネットワークインターネットファクスの有効／無効	×
ロングファイル名表示設定	ロングファイル名の表示設定	×
ジョブスキップ設定-ジョブスキップ使用	ジョブスキップ機能の有効／無効	×
管理者によるアドレス帳操作制限	管理者によるアドレス帳操作の制限の有無	×
地紋印刷設定-コピー禁止	コピー禁止の有無	×
地紋印刷設定-スキャン禁止	スキャン禁止の有無	×
地紋印刷設定-ファクス禁止	ファクス禁止の有無	×
機密化設定-文書名	状況確認画面・プリント画面での文書名機密化の有効／無効	×
ポップアップ-カセット	カセットポップアップの有効／無効	×

一般

リスト項目	説明	ユーザ
ポップアップ-紙詰り解除後の印刷	紙づまり解除後の印刷ポップアップの有効／無効	×
ポップアップ-厚紙セット	厚紙1設定時の注意喚起ポップアップの有効／無効	×
メニュー設定 - メニュー画面初期表示設定	［メニュー］の初期画面として表示させるメニュー	×

＊1 「3段目カセット」は3段目カセットが装着されている場合のみ印字されます。
＊2 「4段目カセット」は4段目カセットが装着されている場合のみ印字されます。
＊3 「大容量給紙装置」は大容量給紙装置が装着されている場合のみ印字されます。
＊4 「大容量給紙装置（外付け）」は大容量給紙装置（外付け）が装着されている場合のみ印字されます。

コピー設定

リスト項目	説明	ユーザ
濃度調整（カラー）*1	カラーコピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
濃度調整（ブラック）*1	ブラックコピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
濃度調整 *2	コピー時に初期値として適用される濃度調整	○
カラーモード *1	コピー時に初期設定として適用されるカラーモード	○
両面時の画像の向き	両面時の画像の向き設定の有効／無効	○
手差し用紙	コピー時に初期設定として適用される手差しトレイの用紙タイプ	○
インサータ裏表紙の反転 *3	インサータ裏表紙の反転設定の有効／無効	○
タブ幅設定-カセット-タブ幅設定 *3	カセットのタブ幅設定	○
タブ幅設定-カセット-シフト幅 *3	カセットのシフト幅設定	○
タブ幅設定-手差し用紙-タブ幅設定 *3	手差し用紙のタブ幅設定	○
タブ幅設定-手差し用紙-シフト幅 *3	手差し用紙のシフト幅設定	○
カラー原稿モード *1	カラーコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
ブラック原稿モード	ブラックコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
オートカラー時の原稿モード *1	オートカラーコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
白紙ページ除去判定レベル	白紙除去判定レベルの設定値	○
オートカラー判定レベル *1	オートカラー判定レベルの設定値	○
2IN1/4IN1	2IN1/4IN1コピー時に初期設定として適用される2IN1/4IN1の設定	○
マガジンソート	マガジンソートコピー時初期設定として適用されるマガジンソートコピーの設定	○
ブック両面	ブック両面コピー時に初期設定として適用されるブック両面の設定	○
最大コピー部数	指定できる最大コピー部数	×
自動両面	コピー時に初期設定として適用される両面コピーの設定	×
ソートモード	コピー時に初期設定として適用されるソートモード	×
オートカラーの初期値 *1	オートカラーの初期値モード	×
オートカセットチェンジ	オートカセットチェンジ機能の有効／無効	×
異方向用紙の許可	異方向用紙の許可機能の有効／無効	×
排紙トレイ自動切替（カスケード印刷）	排紙トレイ自動切替の有効／無効	×
ステイプル針無し時の印刷中断	ステイプル切れ時の印刷中断機能の有効／無効	×

コピー設定

リスト項目	説明	ユーザ
パンチ屑フル時の印刷継続	パンチ屑フル時の印刷継続機能の有効／無効	×
原稿外消去	原稿外消去機能の有効／無効	×
原稿送り装置スジ低減	原稿送り装置スジ低減機能の設定	×

＊1　カラー機をお使いの場合にのみ印字されます。
＊2　モノクロ機をお使いの場合にのみ印字されます。
＊3　タブ紙へのコピーに対応している機種をお使いの場合にのみ印字されます。

スキャン設定

リスト項目	説明	ユーザ
カラーモード	スキャン時に初期設定として適用されるカラーモード	○
圧縮率	圧縮率の設定	○
オートカラー時モノクロページ濃度調整	スキャン時に初期設定として適用される閾値	○
画像回転	スキャン時に初期設定として適用される回転設定	○
両面	スキャン時に初期設定として適用される両面スキャン設定	○
オートカラー時のブラック画質	オートカラースキャン時に白黒スキャンに適用される画質モード	○
プレビュー表示設定 *1	プレビュー機能の有効／無効	○
初期プレビュー表示設定 *1	プレビュー画面の表示設定	○
白紙ページ除去判定レベル	白紙除去判定レベルの設定値	○
オートカラー判定レベル	オートカラー判定レベルの設定値	○
カラー - 解像度	カラースキャン時に初期設定として適用される解像度	○
カラー - 原稿モード	カラースキャン時に初期設定として適用される原稿モード	○
カラー - 濃度調整	カラースキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
カラー - 下地調整	カラースキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
グレースケール - 解像度	グレースケールスキャン時に初期設定として適用される解像度	○
グレースケール - 濃度調整	グレースケールスキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
グレースケール - 下地調整	グレースケールスキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
ブラック - 解像度	ブラックスキャン時に初期設定として適用される解像度	○
ブラック - 原稿モード	ブラックスキャン時に初期設定として適用される原稿モード	○
ブラック - 濃度調整	ブラックスキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
ブラック - 下地調整	ブラックスキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
原稿送り装置スジ低減	原稿送り装置スジ低減の有効／無効	×

＊1　カラー機およびe-STUDIO507 Series、e-STUDIO857 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

ファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
ファクスROMバージョン	ファクスROMのバージョン	○
解像度	ファクス／インターネットファクス送信時に初期設定として適用される解像度	○

ファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
原稿モード	ファクス／インターネットファクス送信時に初期設定として適用される原稿モード	○
濃度調整	ファクス／インターネットファクス送信時に初期設定として適用される濃度調整	○
送信方法 *1	ファクス送信時に初期設定として適用される送信方法	○
発信元記録	発信元記録の有効／無効	○
受信元記録	受信元記録の有効／無効	○
ECM *1	ECMの有効／無効	○
プレビュー表示設定 *3	プレビュー機能の有効／無効	×
初期プレビュー表示設定 *3	プレビュー画面の表示設定	×
初期設定-リンガ音量 *1	電話着信時のリンガ音量レベル	×
初期設定-モニタ音量 *1	ファクス通信時のモニタ音量レベル	×
初期設定-終了音量 *1	ファクス通信完了時の終了音量レベル	×
初期設定-受信方法 *1	ファクスの受信方法	×
初期設定-呼出し回数 *1	ファクス受信時の呼び出し回数	×
初期設定-リモート受信 *1	リモート受信の有効／無効	×
初期設定-ダイヤルタイプ *1	回線1のダイヤルタイプ	×
初期設定-ダイヤル（回線2）*2	回線2のダイヤルタイプ	×
初期設定-ダイヤルイン *1	ダイヤルインの有効／無効	×
初期設定-ファクス設定 *1	ダイヤルイン使用時の本機のファクス番号	×
初期設定-TEL *1	ダイヤルイン用電話番号	×
回線2設定 *2	回線2設定	×
回線2設定-開始時刻 *2	回線2の時刻指定使用時の開始時刻	×
回線2設定-終了時刻 *2	回線2の時刻指定使用時の終了時刻	×
記録モード-切り捨て印刷	切り捨て印刷の有効／無効	×
記録モード-縮小印刷	縮小印刷の有効／無効	×
記録モード-両面 *1	両面印刷の有効／無効	×
記録モード-縦横交互排紙 *1	縦横交互排紙の有効／無効	×
復活送信待ち *1	復活送信の有効／無効	×
復活送信-保持時刻 *1	復活送信有効時の保持時刻（時間）	×
ファクス受信転送-エージェント1 *1	ファクス受信転送のエージェント	×
ファクス受信転送-エージェント2 *1	ファクス受信転送のエージェント	×
ファクス受信転送（回線2）-エージェント1 *1	ファクス受信転送（回線2）のエージェント	×
ファクス受信転送（回線2）-エージェント2 *1	ファクス受信転送（回線2）のエージェント	×
機密受信-タイマ設定 *1	日曜日から土曜日までの各日の、ファクス機密受信モードに入る時刻と同モードを解除する時刻	×

ファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
機密受信-機密受信使用 *1	ファクス機密受信機能の有効／無効	×
複数宛先送信前確認	複数宛先指定時の送信前確認の有効／無効	○
送信品質改善	送信品質改善の有効／無効	○
受信速度制限（回線1）	回線1の受信速度制限の有効／無効	○
受信速度制限（回線2）	回線2の受信速度制限の有効／無効	○

＊1　FAXユニットが装着されている場合のみ印字されます。
＊2　FAXユニットおよび回線増設ユニットが装着されている場合のみ印字されます。
＊3　カラー機およびe-STUDIO507 Series、e-STUDIO857 Seriesをお使いの場合にのみ印字されます。

ボックス

リスト項目	説明	ユーザ
印刷画像モード *1	ファイリングボックス印刷に適用される印刷画質モード	○

＊1　カラー機をお使いの場合にのみ印字されます。

プリント

リスト項目	説明	ユーザ
USB印刷のカラーモード*1	USB印刷時に初期設定として適用されるカラーモード	○

＊1　カラー機をお使いの場合にのみ印字されます。

ファイル

リスト項目	説明	ユーザ
メンテナンス	メンテナンスの有効／無効	×
保存日数	メンテナンス有効時に適用される保存日数	×

Eメール設定

リスト項目	説明	ユーザ
分割送信サイズ	Eメール送信に適用される分割送信サイズ	×
送信者アドレス	Eメール送信に適用される送信者アドレス	×
送信者名	Eメール送信に適用される送信者名	×
宛先へ付加するドメイン名	宛先入力時にドメイン名を自動的に付加する機能の有効／無効	×
リトライ回数	Eメール送信に適用されるリトライ回数	×
リトライ間隔	Eメール送信に適用されるリトライ間隔	×
Bcc送信アドレス表示	Bccアドレス表示の有効／無効	×
件名変更	Eメール送信に適用される件名変更の有効／無効	×
件名日付設定	Eメール送信に適用される件名への日付時刻付加の有効／無効	×
件名（初期値）	Eメール送信に初期設定として適用される件名	×
URL送信設定-URL送信	URL送信の有効／無効	×
URL送信設定-添付ファイルからURLへの切り替えサイズ	URL送信有効時のファイル添付からURL送信に切り替えるファイルサイズ	×

Eメール設定

リスト項目	説明	ユーザ
URL送信設定-ダウンロードファイル保存期間	URL送信有効時のファイル保存期間	×
URL送信設定-期限切れダウンロードファイルの検索間隔	URL送信有効時のファイル保存期間切れを確認する間隔	×
URL送信設定-URLで送信するホスト名のフォーマット	URL送信有効時の送信するホスト名のフォーマット	×

インターネットファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
分割ページサイズ	インターネットファクス送信に適用される分割ページサイズ	×
本文送信	インターネットファクス送信時の本文送信の有効／無効	×
To/Bcc宛先	インターネットファクス送信時の宛先	×
送信者アドレス	インターネットファクス送信に適用される送信者アドレス	×
送信者名	インターネットファクス送信に適用される送信者名	×
宛先へ付加するドメイン名	宛先入力時にドメイン名を自動的に付加する機能の有効／無効	×
リトライ回数	インターネットファクス送信に適用されるリトライ回数	×
リトライ間隔	インターネットファクス送信に適用されるリトライ間隔	×
インターネットファクス受信転送-エージェント1	インターネットファクス受信転送のエージェント	×
インターネットファクス受信転送-エージェント2	インターネットファクス受信転送のエージェント	×

通信レポート設定

リスト項目	説明	ユーザ
通信管理記録設定-自動印刷	通信管理記録の自動出力の有効／無効	×
通信管理記録設定-送信管理記録	通信管理記録に印字される送信管理記録件数	×
通信管理記録設定-受信管理記録	通信管理記録に印字される受信管理記録件数	×
通信結果表-メモリ送信	メモリ送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-ダイレクト送信	ダイレクト送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-同報送信	同報送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-ポーリング	ポーリング通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継親局結果表	中継親局通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継子局	中継子局通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継孫局	中継孫局通信結果表の印字設定	×
通信受付表-ローカル	本機のメールボックスに文書を保管した際の通信受付表印刷の有無	×
通信受付表-リモート	他のデバイスから本機のメールボックスに文書を保管した際の通信受付表印刷の有無	×
通信受付表-中継子局	他のデバイスから本機のメールボックスに送られてきた文書を中継転送した際の通信受付表印刷の有無	×

プリンタ／ファイリングボックス設定

リスト項目	説明	ユーザ
オートカセットチェンジ	オートカセットチェンジの有効／無効	×
異方向用紙の許可	異方向用紙の許可の有効／無効	×
ジョブ強制続行（紙サイズ、紙タイプ違い）	ジョブ強制続行の有効／無効	×
排紙トレイ自動切替（カスケード印刷）	排紙トレイ自動切替の有効／無効	×
ステイプル針無し時の印刷中断	ステイプル切れ時の印刷中断の有効／無効	×
パンチ屑フル時の印刷継続	パンチ屑フル時の印刷継続の有効／無効	×

有線802.1X設定

リスト項目	説明	ユーザ
802.1X使用	有線802.1X認証の有効／無効	×
EAPメソッド	設定されているEAPメソッド	×

無線LAN設定

リスト項目	説明	ユーザ
無線LAN	無線LANの有効／無効	×

注 意

無線LAN設定は、無線LANモジュールが装着されている場合のみ印字されます。

ネットワーク設定 - ネットワーク製品名 - 一般

リスト項目	説明	ユーザ
ETHERNET通信速度　全／半二重設定	送信速度の設定	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - TCP/IP

リスト項目	説明	ユーザ
アドレス設定方法	IPアドレスの取得方法	×
ホスト名	本機の名称	×
IPアドレス	本機のIPアドレス	×
サブネットマスク	本機のサブネットアドレス	×
ゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - IPv6

リスト項目	説明	ユーザ
IPv6使用	IPv6の有効／無効	×
LLMNR	LLMNR（Linklocal Multicast Name Resolution）プロトコルの有効／無効	×
アドレス設定方法	IPv6アドレスの取得方法	×
リンクローカルアドレス	本機のリンクローカルアドレス	×
IPアドレス	本機のIPv6アドレス	×
プレフィックス長	IPv6アドレスのプレフィックス長	×
ゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - IPv6

リスト項目	説明	ユーザ
DHCPv6使用（設定取得）	DHCPv6使用（設定取得）の有効／無効	×
ステートレス使用（IPアドレス取得 Mフラグ）	ステートレス使用（IPアドレス取得 Mフラグ）の有効／無効	×
ステートレス使用（設定取得 Oフラグ）	ステートレス使用（設定取得 Oフラグ）の有効／無効	×
IPアドレス1	ルーターから通知された IPv6アドレス プレフィックス長 ゲートウェイ	×
プレフィックス長1		×
ゲートウェイ1		×
IPアドレス2		×
プレフィックス長2		×
ゲートウェイ2		×
IPアドレス3		×
プレフィックス長3		×
ゲートウェイ3		×
IPアドレス4		×
プレフィックス長4		×
ゲートウェイ4		×
IPアドレス5		×
プレフィックス長5		×
ゲートウェイ5		×
IPアドレス6		×
プレフィックス長6		×
ゲートウェイ6		×
IPアドレス7		×
プレフィックス長7		×
ゲートウェイ7		×
ステートフル使用（IPアドレス取得）	ステートフル使用（IPアドレス取得）の有効／無効	×
ステートフル使用（設定取得）	ステートフル使用（設定取得 ）の有効／無効	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - IPX/SPX

リスト項目	説明	ユーザ
IPX/SPX使用	IPX/SPXの有効／無効	×
フレームタイプ	フレームタイプ設定	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - APPLETALK

リスト項目	説明	ユーザ
APPLE TALK使用	AppleTalkの有効／無効	×
デバイス名	本機のAppleTalk名	×
ゾーン名	AppleTalkゾーン名	×

ネットワーク設定 - セッション - LDAPセッション

リスト項目	説明	ユーザ
LDAP使用	LDAPの有効／無効	×
付加情報1	LDAPサーバーの設定に対応するスキーマ名	×
付加情報2	LDAPサーバーの設定に対応するスキーマ名	×
検索方法	LDAP検索時の検索方法	×

ネットワーク設定 - セッション - DNSセッション

リスト項目	説明	ユーザ
DNS使用	DNSの有効／無効	×
プライマリDNSサーバーアドレス	プライマリDNSサーバーのIPアドレス	×
セカンダリDNSサーバーアドレス	セカンダリDNSサーバーのIPアドレス	×
プライマリDNSサーバーアドレス（IPv6）	プライマリDNSサーバーのIPv6アドレス	×
セカンダリDNSサーバーアドレス（IPv6）	セカンダリDNSサーバーのIPv6アドレス	×

ネットワーク設定 - セッション - DDNSセッション

リスト項目	説明	ユーザ
DDNS使用	DDNSの有効／無効	×
ホスト名	本機のホスト名	×
ドメイン名	本機のドメイン名	×
セキュリティ方式	本機のセキュリティ方式	×
プライマリログインネーム	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合のプライマリログインネーム	×
セカンダリログインネーム	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合のセカンダリログインネーム	×

ネットワーク設定 - セッション - SMBセッション

リスト項目	説明	ユーザ
SMBサーバプロトコル	SMBの有効／無効	×
制限	プリント共有／ファイル共有の機能制限の有無	×
NETBIOS名	本機のNetBIOS名	×
ログオン	ログオン設定	×
ワークグループ	本機のワークグループ	×
ドメイン	本機のドメイン名	×
プライマリドメインコントローラ	プライマリドメインコントローラのホスト名またはIPアドレス	×
バックアップドメインコントローラ	バックアップドメインコントローラのホスト名またはIPアドレス	×
デバイス名	本機のドメインデバイス名	×
プライマリWINSサーバーアドレス	プライマリWINSサーバーのIPアドレス	×
セカンダリWINSサーバーアドレス	セカンダリWINSサーバーのIPアドレス	×
SMBサーバのSMB署名	SMBサーバーのSMB署名の設定	×
SMBクライアントのSMB署名	SMBクライアントのSMB署名の設定	×

ネットワーク設定 - セッション - NETWAREセッション

リスト項目	説明	ユーザ
バインダリサーバー使用	バインダリモードの有効／無効	×
NDS使用	NDSモードの有効／無効	×
サービスコンテキスト	NDSコンテキスト	×
サービスツリー	NDSツリー	×
優先サーバ	優先サーバー名	×

ネットワーク設定 - セッション - BONJOURセッション

リスト項目	説明	ユーザ
BONJOUR使用	Bonjourの有効／無効	×
LINK-LOCALホスト名	本機のDNS名	×
サービス名	本機のBonjourサービス名	×

ネットワーク設定 - セッション - LLTDセッション

リスト項目	説明	ユーザ
LLTD使用	LLTD（Link Layer Topology Discovery）の有効／無効	×
デバイス名	ネットワークマップに表示されるデバイス名	×

ネットワーク設定 - セッション - SLPセッション

リスト項目	説明	ユーザ
SLP使用	SLP（Service Location Protocol）の有効／無効	×
TTL	サービスを提供するネットワークの範囲TTL（Time To Live）	×
スコープ	サービスを提供するグループを指定するためのスコープ	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - HTTPネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
HTTPサーバー使用	本機HTTPサーバーの有効／無効	×
プライマリポート番号	HTTPネットワークサービスのプライマリポート番号	×
セカンダリポート番号	HTTPネットワークサービスのセカンダリポート番号	×
SSL使用	HTTP SSLの有効／無効	×
SSLポート番号	HTTP SSLのポート番号	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SMTPクライアントネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SMTPクライアント使用	SMTPクライアント機能の有効／無効	×
認証	SMTP認証の有効／無効	×
POP BEFORE SMTP	POP Before SMTP機能の有効／無効	×
SMTPサーバーアドレス	SMTPサーバーのIPアドレス	×
ログイン名	SMTP認証に使用するログイン名	×
ポート番号	Eメールやインターネットファクスを SMTPサーバーに送る際に使用するポート番号	×
SSL使用	SMTP SSLの有効／無効	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SMTPクライアントネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SSL/TLS	SSLに使用されるプロトコル	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SMTPサーバーネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SMTPサーバー使用	SMTPサーバー機能の有効／無効	×
ポート番号	本機がSMTP受信する際に使用するポート番号	×
Eメール転送使用	オフランプゲートウェイの有効／無効	×
オフランプセキュリティ	オフランプセキュリティの有効／無効	×
オフランプ印刷	オフランプ印刷の有効／無効	×
Eメールアドレス	SMTPサーバー機能が有効の場合に適用する本機のEメールアドレス	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - IPセキュリティ

リスト項目	説明	ユーザ
IPセキュリティ使用	IPセキュリティ機能の有効／無効	×
ポリシー名	IPセキュリティに使用するポリシー	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - POP3ネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
POP3クライアント使用	POP3クライアント機能の有効／無効	×
POP3サーバーアドレス	POP3サーバーのホスト名またはIPアドレス	×
認証	POP3認証の有効／無効	×
ログインタイプ	POP3ログインタイプ	×
アカウント名	本機用Eメールアカウントのアカウント名	×
ポーリングレート	POP3サーバーに新着メッセージを確認する間隔（分）	×
ポート番号	POP3サーバーにアクセスする際に使用するポート番号	×
SSL使用	POP3 SSLの有効／無効	×
SSLポート番号	POP3 SSLのポート番号	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - FTPクライアントネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SSL設定	FTP SSLの設定	×
ポート番号（初期値）	本機からFTPサーバーにアクセスする際に初期設定として使用するポート番号	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - FTPサーバーネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
FTPサーバー使用	FTPサーバー機能の有効／無効	×
ポート番号（初期値）	本機でFTPを使用してデータを受信する際に初期設定として使用するポート番号	×
SSL使用	FTP SSLの有効／無効	×
SSLポート番号	FTP SSLのポート番号	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - WEB SERVICES設定

リスト項目	説明	ユーザ
SSL使用	Web Service SSLの有効／無効	×
フレンドリーネーム（表示名）	本機の表示名	×
WEB SERVICEプリント	Web Serviceプリントの有効／無効	×
プリンタ名	本機のプリンタ名	×
プリンタ情報	本機のプリンタ情報	×
WEB SERVICEスキャン	Web Serviceスキャンの有効／無効	×
スキャナ名	本機のスキャナ名	×
スキャナ情報	本機のスキャナ情報	×
PCからのスキャンでの認証	ジョブを受け付ける際の認証設定	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SNMPネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SNMP使用	SNMPの有効／無効	×
リードコミュニティ	リードコミュニティ名	×
SNMP V3使用	SNMP V3の有効／無効	×
SNMP V3トラップ使用	SNMP V3トラップの有効／無効	×
認証トラップ使用	認証トラップの有効／無効	×
警告トラップ使用	警告トラップの有効／無効	×
トラップ送信先1	トラップ送信先のIPアドレス（最大10先まで）	×
IPトラップコミュニティ	IPトラップコミュニティ名	×
IPXトラップアドレス	IPXトラップアドレス	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SNTP設定

リスト項目	説明	ユーザ
SNTP使用	SNTPの有効／無効	×
プライマリSNTPアドレス	プライマリSNTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	×
セカンダリSNTPアドレス	セカンダリSNTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	×
ポート番号	SNTPのポート番号	×
ポーリングレート	SNTPサーバーに時間設定を確認する間隔（時間）	×
NTP認証	NTP認証の有効／無効	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - TELNETサービス

リスト項目	説明	ユーザ
TELNET使用	TELNETサービスの有効／無効	×
ポート番号	TELNETサービスのポート番号	×
ユーザ名	TELNETサービスユーザ名	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - フィルタリング

リスト項目	説明	ユーザ
IPフィルタリング使用	IPフィルタリングの有効／無効	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - フィルタリング

リスト項目	説明	ユーザ
MACアドレスフィルタリング使用	MACアドレスフィルタリングの有効／無効	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - RAW TCP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
RAW TCP印刷使用	Raw TCP印刷の有効／無効	×
ポート番号	Raw TCP印刷のポート番号	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - LPD印刷

リスト項目	説明	ユーザ
LPD印刷使用	LPD印刷の有効／無効	×
ポート番号	LPD印刷のポート番号	×
LPDバナー	バナーページ印刷の有効／無効	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - IPP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
IPP印刷使用	IPP印刷の有効／無効	×
IPPポート80使用	ポート80を使用したIPP印刷の有効／無効	×
ポート番号	IPP印刷のポート番号	×
URL	IPP印刷用のURL	×
認証	IPP印刷時の認証の有効／無効	×
ユーザ名	認証に使用するユーザ名	×
SSL使用	IPP SSLの有効／無効	×
SSLポート番号	IPP SSLのポート番号	×
SSL URL	SSLを使用したIPP印刷用のURL	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - FTP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
FTP印刷使用	FTP印刷の有効／無効	×
ユーザ名	FTP印刷のユーザ名	×
パスワード	FTP印刷のパスワード	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - NETWARE印刷

リスト項目	説明	ユーザ
プリントサーバー名	本機のプリントサーバー名	×
パスワード	NetWareファイルサーバーのパスワード	×
印刷キューポーリングレート	NetWareファイルサーバーからの印刷ジョブの取得間隔（秒）	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - Eメール印刷

リスト項目	説明	ユーザ
ヘッダ印刷	Eメールヘッダの印刷の有無	×
本文印刷	Eメール本文の印刷の有無	×
Eメール本文最大印刷枚数	Eメール本文の最大印刷枚数	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - Eメール印刷

リスト項目	説明	ユーザ
エラーメッセージの出力	エラーメッセージ印刷の有効／無効	×
エラーメール転送をする	エラーメール転送の有効／無効	×
エラーメールの転送先アドレス	エラーメールが転送されるEメールアドレス	×
分割受信	分割受信したEメール印刷の有効／無効	×
分割受信待ち時間	分割受信したEメールを印刷する場合に印刷を開始する前に次の分割メッセージが届くまで待つ時間（分）	×
MDNリプライ	MDNリプライの有効／無効	×

プリントデータコンバータ

リスト項目	説明	ユーザ
プリントデータコンバータ使用	プリントデータコンバータの有効／無効	×

OFF DEVICE CUSTOMIZATION ARCHITECTURE

リスト項目	説明	ユーザ
ポート使用	ポートの有効／無効	×
ポート番号	ポート番号	×
SSL使用	SSLの有効／無効	×
SSLポート番号	SSLポート番号	×
セッションタイムアウト	外部環境との接続状態を継続する時間	×

セキュリティ設定 - 認証 - 部門設定

リスト項目	説明	ユーザ
部門コード使用	部門コード管理の有効／無効	×
部門コード（コピー）	部門管理（コピー）の有効／無効	×
部門コード（ファクス）	部門管理（ファクス）の有効／無効	×
部門コード（プリント）	部門管理（プリント）の有効／無効	×
部門コード（スキャン）	部門管理（スキャン）の有効／無効	×
部門コード（リスト）	部門管理（リスト）の有効／無効	×
設定/登録	部門コードの設定/登録	×
ユーザ登録時に部門コード入力を必須にする	ユーザ登録時の部門コード入力の有無	×
不正な部門コードの印刷ジョブ	不正な印刷ジョブの取り扱い	×

セキュリティ設定 - 認証 - ユーザ認証設定

リスト項目	説明	ユーザ
ユーザ認証使用	ユーザ認証の有効／無効	×
ユーザ認証設定（コピー）	ユーザ認証設定（コピー）の有効／無効	×
ユーザ認証設定（ファクス）	ユーザ認証設定（ファクス）の有効／無効	×
ユーザ認証設定（プリント）	ユーザ認証設定（プリント）の有効／無効	×
ユーザ認証設定（スキャン）	ユーザ認証設定（スキャン）の有効／無効	×
ユーザ認証設定（リスト）	ユーザ認証設定（リスト）の有効／無効	×

セキュリティ設定 - 認証 - ユーザ認証設定

リスト項目	説明	ユーザ
設定/登録	ユーザ認証の設定/登録	×
管理者の認証方法	管理者の認証方法	×
認証失敗時の印刷ジョブ	認証失敗時の印刷ジョブの取り扱い	×
ログオン時の自動リリース	ログオン時の自動リリースの有効／無効	×
ゲストユーザを有効にする	ゲストユーザによる操作の許可／不許可	×
認証方法	ユーザ認証方法	×

セキュリティ設定 - 認証 - Eメール送信のユーザ認証設定

リスト項目	説明	ユーザ
Eメール送信のユーザ認証	Eメール送信のユーザ認証の有効／無効	×

セキュリティ設定 - 認証 - Eメールアドレス設定

リスト項目	説明	ユーザ
送信者アドレス設定	送信者アドレスの設定	×
送信者名	送信者名の設定	×
Eメール宛先制限設定	Eメール宛先制限設定の有効／無効	×

セキュリティ設定 - 認証 - シングルサインオン設定

リスト項目	説明	ユーザ
Eメール送信のシングルサインオン	Eメール送信時のシングルサインオンの有効／無効	×

セキュリティ設定 - 認証 - ホームディレクトリ設定

リスト項目	説明	ユーザ
ホームディレクトリ使用	ホームディレクトリの有効／無効	×
ホームディレクトリサーバー	使用するホームディレクトリサーバー	×

セキュリティ設定 - 証明書管理

リスト項目	説明	ユーザ
デバイス証明書	デバイス証明書の種類	×

セキュリティ設定 - パスワードポリシー - ユーザパスワードポリシー

リスト項目	説明	ユーザ
パスワード最小桁数	許可するパスワード最小桁数	×
文字列の制限	使用禁止の文字列の有無	×
ロックアウト設定	ロックアウト機能の有効／無効	×
リトライ回数	許可するパスワード入力リトライ回数	×
ロックアウト時間	ロックアウト時間（分）	×
有効期間設定	パスワードの有効期間設定の有無	×
有効期間	パスワードの有効期間（日）	×

セキュリティ設定 - パスワードポリシー - 管理者、監査者パスワードポリシー

リスト項目	説明	ユーザ
パスワード最小桁数	許可するパスワード最小桁数	×
文字列の制限	使用禁止の文字列の有無	×
ロックアウト設定	ロックアウト機能の有効／無効	×
リトライ回数	許可するパスワード入力リトライ回数	×
ロックアウト時間	ロックアウト時間（分）	×
有効期間設定	パスワードの有効期間設定の有無	×
有効期間	パスワードの有効期間（日）	×

セキュリティ設定 - パスワードポリシー - ファイリングボックス、テンプレートグループ、テンプレート、暗号化PDF、SNMP v3、クローニング、機密受信-パスワードポリシー

リスト項目	説明	ユーザ
パスワード最小桁数	許可するパスワード最小桁数	×
文字列の制限	使用禁止の文字列の有無	×
ロックアウト設定	ロックアウト機能の有効／無効	×
リトライ回数	許可するパスワード入力リトライ回数	×
ロックアウト時間	ロックアウト時間（分）	×

■ PS3フォントリスト

PS3フォントリストの出力例

XXXXXXX XXXXXXXXXXXXX

Internal PS Font List Page:1

Font	Sample
AlbertusMT-Light	The quick brown fox jumps over the lazy dog
AlbertusMT	The quick brown fox jumps over the lazy dog
AlbertusMT-Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
AntiqueOlive-Roman	The quick brown fox jumps over the lazy dog
AntiqueOlive-Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
AntiqueOlive-Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
AntiqueOlive-Compact	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
Apple-Chancery	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
ArialMT	The quick brown fox jumps over the lazy dog
Arial-ItalicMT	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
Arial-BoldMT	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
Arial-BoldItalicMT	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
AvantGarde-Book	The quick brown fox jumps over the lazy dog
AvantGarde-BookOblique	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
AvantGarde-Demi	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
AvantGarde-DemiOblique	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
Bodoni	The quick brown fox jumps over the lazy dog
Bodoni-Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
Bodoni-Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
Bodoni-BoldItalic	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
Bodoni-Poster	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
Bodoni-PosterCompressed	The quick brown fox jumps over the lazy dog
Bookman-Light	The quick brown fox jumps over the lazy dog
Bookman-LightItalic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
Bookman-Demi	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
Bookman-DemiItalic	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
Candid	
Chicago	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
Clarendon-Light	The quick brown fox jumps over the lazy dog
Clarendon	The quick brown fox jumps over the lazy dog
Clarendon-Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
CooperBlack	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
CooperBlack-Italic	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
Copperplate-ThirtyTwoBC	THE QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG
Copperplate-ThirtyThreeBC	THE QUICK BROWN FOX JUMPS OVER THE LAZY DOG
Coronet-Regular	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
Courier	The quick brown fox jumps over the lazy dog
Courier-Oblique	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
Courier-Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
Courier-BoldOblique	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
Eurostile	The quick brown fox jumps over the lazy dog
Eurostile-Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
Eurostile-ExtendedTwo	The quick brown fox jumps
Eurostile-BoldExtendedTwo	**The quick brown f**
Geneva	The quick brown f
GillSans-Light	The quick
GillSans-LightItalic	

■ PCLフォントリスト

PCLフォントリストの出力例

XXXXXXX　XXXXXXXXXXXXX

Internal PCL Font List　Page:1

No.	Font	Sample
0	Courier	The quick brown fox jumps over the lazy dog
1	CG-Times	The quick brown fox jumps over the lazy dog
2	CG-Times Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
3	CG-Times Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
4	CG-Times Bold Italic	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
5	CG Omega	The quick brown fox jumps over the lazy dog
6	CG Omega Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
7	CG Omega Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
8	CG Omega Bold Italic	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
9	Coronet	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
10	Clarendon Condensed	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
11	Univers Medium	The quick brown fox jumps over the lazy dog
12	Univers Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
13	Univers Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
14	Univers Bold Italic	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
15	Univers Medium Condensed	The quick brown fox jumps over the lazy dog
16	Univers Condensed Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
17	Univers Medium Condensed Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
18	Univers Condensed Bold Italic	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
19	Antique Olive	The quick brown fox jumps over the lazy dog
20	Antique Olive Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
21	Antique Olive Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
22	Garamond Antiqua	The quick brown fox jumps over the lazy dog
23	Garamond Halbfett	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
24	Garamond Kursiv	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
25	Garamond Kursiv Halbfett	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
26	Marigold	The quick brown fox jumps over the lazy dog
27	Albertus Medium	The quick brown fox jumps over the lazy dog
28	Albertus Extra Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
29	Arial	The quick brown fox jumps over the lazy dog
30	Arial Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
31	Arial Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
32	Arial Bold Italic	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
33	Times New Roman	The quick brown fox jumps over the lazy dog
34	Times New Roman Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
35	Times New Roman Italic	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
36	Times New Roman Bold Italic	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
37	Helvetica	The quick brown fox jumps over the lazy dog
38	Helvetica-Bold	**The quick brown fox jumps over the lazy dog**
39	Helvetica-Oblique	*The quick brown fox jumps over the lazy dog*
40	Helvetica-BoldOblique	***The quick brown fox jumps over the lazy dog***
41	Helvetica-Narrow	The quick brown fox jumps over the lazy dog
42	Helvetica-Narrow-Bold	**The quick brown fox jumps over th**
43	Helvetica-Narrow-Oblique	*The quick brown fox jum*
44	Helvetica-Narrow-BoldOblique	***The quick br***
45	Palatino-Roman	
	Palatino-Bold	

区点コード表

以下の表に記載されているコードが本機で使用できる区点コードです。
文字入力画面で［区点コード］を押すと「?」が入力されますので、続いて目的の文字の区点コードを入力してください。
区点コードは、以下の表の左行と横列の番号を組み合わせた桁の番号から成ります。
例）院：［区点コード］を押し「1701 」と入力して、［変換］を押す。

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	010			、	。	，	．	・	：	；	？
	011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
	012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
	013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
	014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
	019	★	○	●	◎	◇					
	020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	021	→	←	↑	↓	〓					
数字	031							0	1	2	3
	032	4	5	6	7	8	9				
アルファベット	033				A	B	C	D	E	F	G
	034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	036						a	b	c	d	e
	037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	039	z									
ひらがな	040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	048	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
	057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
ギリシャ文字	060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロシア文字	070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
	071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	073	Ь	Э	Ю	Я						
	074										а
	075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	078	ю	я								
あ	160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	164	鞍	杏								
い	164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	169	引	飲	淫	胤	蔭					
	170		院	陰	隠	韻	吋				
う	170							右	宇	烏	羽
	171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	173	云	運	雲							
え	173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	178								於	汚	甥
	179	凹	央	奥	往	応					
	180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か	182									下	化
	183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	189	恢	懐	戒	拐	改					
	190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	199	噛	鴨	栢	茅	萱					
	200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	207	贋	雁	頑	顔	願					
き	207						企	伎	危	喜	器
	208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	209	旗	既	期	棋	棄					
	210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	219	禦	魚	亨	享	京					
	220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	226										九
	227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	229	串	櫛	釧	屑	屈					
	230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	232	郡									
け	232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	239	建	憲	懸	拳	捲					
	240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	243	絃	舷	言	諺	限					
こ	243						乎	個	古	呼	固
	244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	249	効	勾	厚	口	向					
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	259	忽	惚	骨	狛	込					
	260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	261										些
	262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	269	鮭	笹	匙	冊	刷					
	270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し	273								仕	仔	伺
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	279	字	寺	慈	持	時					
	280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	289	綬	需	囚	収	周					

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	299	恕	鋤	除	傷	償					
	300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	309	醸	錠	嘱	埴	飾					
	310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す	315									笥	諏
	316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	319	椙	菅	頗	雀	裾					
	320		澄	摺	寸						
せ	320					世	瀬	畝	是	凄	制
	321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	329	煽	旋	穿	箭	線					
	330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	332	全	禅	繕	膳	糎					
そ	332						噌	塑	岨	措	曾
	333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	339	霜	騒	像	増	憎					
	340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た	343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	349	諾	茸	凧	蛸	只					
	350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	354	暖	檀	段	男	談					

	1～3桁目	4桁目									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ち	354						値	知	地	弛	恥
	355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	359	丁	兆	凋	喋	寵					
	360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363								津	墜	椎
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	366							亭	低	停	偵
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	369	艇	訂	諦	蹄	逓					
	370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と	373									兎	吐
	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	379	答	筒	糖	統	到					
	380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	386	頓	呑	曇	鈍						
な	386					奈	那	内	乍	凪	薙
	387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	388	軟	難	汝							
に	388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	389	虹	廿	日	乳	入					
	390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬねの	390									濡	禰
	391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	393	脳	膿	農	覗	蚤					
は	393						巴	把	播	覇	杷
	394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	399	爆	縛	莫	駁	麦					
	400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ	405										匪
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	409	枇	毘	琵	眉	美					
	410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻

	1～3桁目	4桁目									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	415	敏	瓶								
ふ	415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	419	伏	副	復	幅	服					
	420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	422							丙	併	兵	塀
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	426	鞭									
ほ	426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	429	抱	捧	放	方	朋					
	430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	436	本	翻	凡	盆						
ま	436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	439	繭	麿	万	慢	満					
	440		漫	蔓							
みむ	440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務
	442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	442										冥
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も	444							摸	模	茂	妄
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	447	紋	門	匁							
や	447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	449	鑓									
ゆ	449		愉	愈	油	癒					
	450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	452										予
	453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	458									利	吏
	459	履	李	梨	理	璃					
	460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
るれ	466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
	467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	469	漣	煉	簾	練	聯					
	470		蓮	連	錬						

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ろ	470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	473	肋	録	論							
わ	473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	475	碗	腕								
第2水準漢字	480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
	481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
	482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
	483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
	484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
	485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
	486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
	487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
	488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
	489	傀	傚	傅	傴	傲					
	490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
	491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
	492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
	493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
	494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
	495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
	496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
	497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
	498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
	499	劒	剱	劈	劑	辨					
	500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
	501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
	502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
	503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
	504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
	505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
	506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
	507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
	508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
	509	咥	咬	哄	哈	咨					
	510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
	511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
	512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
	513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
	514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
	515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
	516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
	517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
	518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
	519	囹	圀	囿	圄	圉					
	520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
	521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
	522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
	523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
	524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
	525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
	526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
	527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
	528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
	529	奢	奠	奧	奬	奩					
	530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
	531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
	532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
	533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
	534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
	535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
	536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
	537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
	538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
	539	尹	屁	屆	屎	屓					
	540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
	541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
	543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
	544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
	545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
	546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
	547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
	548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
	549	廁	廂	廈	廐	廏					
	550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
	551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
	552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
	553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
	554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
	555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
	556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
	557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
	558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
	559	悁	悍	惧	悃	悚					
	560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
	561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
	562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
	563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
	564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
	565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
	566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
	567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
	568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
	569	戉	戍	戌	戔	戛					
	570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
	571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
	572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
	573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
	574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
	575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
	576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
	577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
	578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
	579	撓	撥	撩	撈	撼					
	580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
	581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
	582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
	583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
	584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
	585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
	586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
	587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
	588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
	589	曁	暹	曉	暾	暼					
	590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
	591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
	592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
	593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
	594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
	595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
	596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
	597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
	598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
	599	椢	椦	棡	椌	棍					
	600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
	601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
	602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
	603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
	604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
	605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
	606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
	607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
	608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
	609	檍	檠	檄	檢	檣					
	610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞

1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					

1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
749	褸	襌	禪	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	覀	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀

1～3桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

索引

わ

FC-5540C/6540C/6550C
FC-2540C/3540C/4540C
DP-2530/3590/4590/5010
DP-6560/8560
FC-2050C
FC-2555C/3555C/4555C/5055C
DP-3030
DP-3031
FC-5560C/6560C/6570C
DP-2572/3572/4572/5072
DP-6570/8570
OMJ120015F0